

令和 8 年度

参 考 図 書

事 業 名 : 公共下水道事業

工 事 場 所 : 竹原市 田ノ浦

工 事 名 : 田ノ浦地区下水道（面整備）工事 R8-2

建設リサイクル法 12 条 13 条対象

【添付書類】

- 総括情報表
- 工事費内訳表 施工単価表
- 数量計算書

等

総括情報表

頁0 -0001

変更回数	0		
適用単価地区	50 竹原市		
単価適用日	00-08.04.01(0)		
諸経費体系	1 公共(一般)		
		当世代	前世代
工種	31 下水道工事(2)		
施工地域・工事場所区分	04 一般交通影響有り(2)		
復興補正区分	00 補正なし		
週休補正区分	00 補正なし		
現場事務所等の貸与区分	00 補正なし		
ICT補正区分	00 補正なし		
冬期補正係数	00 補正なし		
緊急工事区分	00 通常工事 0%		
前払金支出割合区分	00 補正無し		
契約保証区分	01 金銭的保証(0.04%)		
<p>建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額、労務管理費、安全訓練等に要する費用等）が必要であり、本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。</p>			

<<凡例>>
 Co・・・コンクリート As・・・アスファルト
 DT・・・ダンプトラック BH・・・バックホウ
 CC・・・クローラクレーン TC・・・トラッククレーン
 RTC・・・ラフテレーンクレーン

本工事費 内訳表

頁0 -0002

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
管路施設(開削工法)					Y1101 レベル1
管きょ工(開削)	1	式			Y110101 レベル2
管路土工	1	式			Y11010101 レベル3
管路掘削	1	式			Y1101010101 レベル4
機械掘削工(バックホウ)					SG1D0001002 00
管路埋戻	630	m3			単第0 -0001 表 Y1101010102 レベル4
機械投入埋戻工(バックホウ)					SG1D0002003 00
発生土処理 現場から仮置場	430	m3			単第0 -0003 表 Y1101010103 レベル4
	1	式			

本工事費 内訳表

頁0 -0003

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
発生土運搬工(4t積級, 2t積級, 機械積込み)					SG1F0003002 00
	630	m3			単第0 -0005 表
埋戻土運搬 仮置場から現場					Y1101010104レベル4
	1	式			
積込(ルーズ) 土砂 土量50,000m3未満					SPK25040007 00
	470	m3			単第0 -0007 表
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間有り 距離0.5km以下(0.3km超)					SPK25040002 00
	470	m3			単第0 -0008 表
発生土処理 仮置場から処分場					Y1101010103レベル4
	1	式			
積込(ルーズ) 土砂 土量50,000m3未満					SPK25040007 00
	150	m3			単第0 -0007 表
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間有り 距離3.0km以下(2.0km超)					SPK25040002 00
	150	m3			単第0 -0009 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
再生資源化施設受入費 土砂					F000000100 00
	150	m3			

本工事費 内訳表

頁0 -0004

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
管布設工					Y11010102 レベル3
	1	式			
リップ付硬質塩化ビニル管 【管径 200mm】					Y1101010205レベル4
	344.9	m			
リップ付硬質塩化ビニル管設置工 管径 200mm					SG1D0700002 00
	344.9	m			単第0 -0010 表
自在曲管5°					F000000300 00
	5	本			
マンホール用可とう継手 貼付タイプ 塩ビ管径150mm					TH011024 00
	26	組			
埋設標識テープ					Y1101010216レベル4
	344.9	m			
埋設標識シート					F000000400 00
	344.9	m			
管基礎工					Y11010103 レベル3
	1	式			
碎石基礎 【RC-40】					Y1101010302レベル4
	344.9	m			

本工事費 内訳表

頁0 -0005

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
砕石基礎工(機械施工)					SG1D0020002 00
管路土留工	117	m3			単第0 -0011 表 Y11010105 レベル3
軽量鋼矢板土留	1	式			Y1101010503レベル4
軽量鋼矢板建込工(両側分) 矢板長 2.0m	1	式			SG1D0033001 00
軽量鋼矢板引抜工(両側分) 矢板長 2.0m	96.3	m			単第0 -0012 表
軽量鋼矢板建込工(両側分) 矢板長 2.5m	96.3	m			SG1D0033002 00
軽量鋼矢板引抜工(両側分) 矢板長 2.5m	170.5	m			単第0 -0013 表
軽量鋼矢板建込工(両側分) 矢板長 2.5m	170.5	m			SG1D0033001 00
軽量鋼矢板引抜工(両側分) 矢板長 2.5m	170.5	m			単第0 -0014 表
軽量鋼矢板建込工(両側分) 矢板長 3.0m	58.0	m			SG1D0033002 00
軽量鋼矢板引抜工(両側分) 矢板長 3.0m	58.0	m			単第0 -0015 表
軽量鋼矢板建込工(両側分) 矢板長 3.0m	58.0	m			SG1D0033001 00
軽量鋼矢板引抜工(両側分) 矢板長 3.0m	58.0	m			単第0 -0016 表
軽量鋼矢板建込工(両側分) 矢板長 3.0m	58.0	m			SG1D0033002 00
軽量鋼矢板引抜工(両側分) 矢板長 3.0m	58.0	m			単第0 -0017 表

本工事費 内訳表

頁0 -0006

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
軽量鋼矢板賃料及び修理損耗費					V000000100 00
土留支保工(軽量金属支保工) 1段 設置	1	式			単第0 -0018 表
土留支保工(軽量金属支保工) 1段 撤去	129.4	m			SG1D0033008 00
土留支保工(軽量金属支保工) 1段 撤去	129.4	m			単第0 -0019 表
土留支保工(軽量金属支保工) 2段 設置	195.4	m			SG1D0033008 00
土留支保工(軽量金属支保工) 2段 撤去	195.4	m			単第0 -0020 表
土留支保工(軽量金属支保工) 2段 撤去	195.4	m			SG1D0033008 00
土留支保工(軽量金属支保工) 2段 撤去	195.4	m			単第0 -0021 表
切梁・腹起し等賃料					V000000200 00
開削水替工	1	式			単第0 -0022 表
開削水替	1	式			Y11010109 レベル3
開削水替	1	式			Y1101010901レベル4
ポンプ運転工					SG1D0042001 00
ポンプ運転工	26	日			単第0 -0023 表
ポンプ運転工	26	日			SG1D0042001 00
ポンプ運転工	26	日			単第0 -0024 表

本工事費 内訳表

頁0 -0007

費目・工種・施工名称など 据付・撤去工	数量	単位	単価	金額	備考
					SG1D0042002 00
マンホール工	13	現場			単第0 -0026 表 Y110102 レベル2
組立マンホール工	1	式			Y11010202 レベル3
組立0号マンホール	1	式			Y1101020201 レベル4
	5	箇所			
円形0号(内径750)I種 斜壁 600×750×300	1	個			TH003034 00
円形0号(内径750)I種 斜壁 600×750×450	3	個			TH003036 00
円形0号(内径750)I種 斜壁 600×750×600	1	個			TH003038 00
円形0号(内径750)I種 直壁 750×300	1	個			TH003040 00
円形0号(内径750)I種 直壁 750×600	1	個			TH003042 00

本工事費 内訳表

頁0 -0008

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
円形0号(内径750)I種 管取付け壁 750×900	1	個			TH003054 00
円形0号(内径750)I種 管取付け壁 750×1200	3	個			TH003056 00
円形0号(内径750)I種 管取付け壁 750×1500	1	個			TH003058 00
円形0号(内径750)I種 底版	5	個			TH003062 00
マンホール付属品 調整リング 600×50	2	個			TH003098 00
マンホール付属品 調整リング 600×100	1	個			TH003100 00
マンホール付属品 調整リング 600×150	2	個			TH003102 00
マンホール付属品 調整金具 調整高25mmまで	3	組			TH003104 00
マンホール付属品 調整金具 調整高45mmまで	2	組			TH003106 00

本工事費 内訳表

頁0 -0009

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
下水道用マンホールふた 有効径φ600 浮上防止型、かぎ付、耐荷重T-14	5	組			TH003184 00
転落防止はしご	3	個			F000000500 00
マンホール削孔費 0・1号(1種) 塩ビ管用、径150用	1	個所			TH003128 00
マンホール削孔費 0・1号(1種) 塩ビ管用、径200用	5	個所			TH003130 00
底部工(組立式)(組立0号マンホール)	5	箇所			SG1D0052001 00
組立0号マンホール 0号(内径750mm)、楕円 深さ2m超～3m以下	5	箇所			SG1D0052002 00 単第0 -0027 表
組立1号マンホール	11	箇所			Y1T01020202レベル4 単第0 -0029 表
円形1号(内径900)I種 斜壁 600×900×450	7	個			TH003066 00
円形1号(内径900)I種 斜壁 600×900×600	4	個			TH003068 00

本工事費 内訳表

頁0 -0010

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
円形1号(内径900)I種 直壁 900×300	1	個			TH003070 00
円形1号(内径900)I種 直壁 900×600	3	個			TH003072 00
円形1号(内径900)I種 直壁 900×900	4	個			TH003074 00
円形1号(内径900)I種 管取付け壁 900×1200	4	個			TH003090 00
円形1号(内径900)I種 管取付け壁 900×1500	6	個			TH003092 00
円形1号(内径900)I種 管取付け壁 900×1800	1	個			TH003094 00
円形1号(内径900)I種 底版 H=130	11	個			TH003096 00
マンホール付属品 調整リング 600×50	3	個			TH003098 00
マンホール付属品 調整リング 600×100	4	個			TH003100 00

本工事費 内訳表

頁0 -0011

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
マンホール付属品 調整リング 600×150	4	個			TH003102 00
マンホール付属品 調整金具 調整高25mmまで	5	組			TH003104 00
マンホール付属品 調整金具 調整高45mmまで	6	組			TH003106 00
下水道用マンホールふた 有効径φ600 浮上防止型,かぎ付,耐荷重T-25	4	組			TH003182 00
カラーマンホール塗装	1	組			F000003900 00
下水道用マンホールふた 有効径φ600 浮上防止型,かぎ付,耐荷重T-14	7	組			TH003184 00
転落防止はしご	7	個			F000000500 00
マンホール削孔費 0・1号(1種) 塩ビ管用,径150用	1	箇所			TH003128 00
マンホール削孔費 0・1号(1種) 塩ビ管用,径200用	10	箇所			TH003130 00

本工事費 内訳表

頁0 -0012

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
底部工(組立式)(組立1号マンホール)	11	箇所			SG1D0053001 00 単第0 -0030 表
組立1号マンホール 1号(内径900mm) 深さ3m以下	7	箇所			SG1D0053002 00 単第0 -0032 表
組立1号マンホール 1号(内径900mm) 深さ3m超~4m以下	4	箇所			SG1D0053002 00 単第0 -0033 表
内副管	3	箇所			Y1101020208レベル4
内副管取付工	2	箇所			SG1D0051002 00 単第0 -0034 表
副管材料 200-150	1	式			V000000300 00 単第0 -0035 表
内副管取付工	1	箇所			SG1D0051002 00 単第0 -0036 表
副管材料 150-100	1	式			V000000301 00 単第0 -0037 表
小型マンホール工	1	式			Y11010203 レベル3

本工事費 内訳表

頁0 -0013

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
小型マンホール(塩化ビニル製)					Y1101020301 レベル4
	2	箇所			
小型マンホール工(塩化ビニル製) マンホール径300mm 起点および中間形式 深さ2m以下 本管径150mm~200mm					SG1D0057001 00
	2	箇所			単第0 -0038 表
小型マンホール蓋					F000000600 00
	2	組			
取付管およびます工					Y110104 レベル2
	1	式			
管路土工					Y11010401 レベル3
	1	式			
管路掘削					Y1101040101 レベル4
	1	式			
機械掘削工(バックホウ)					SG1D0001002 00
	29	m3			単第0 -0001 表
管路埋戻					Y1101040102 レベル4
	1	式			
機械投入埋戻工(バックホウ)					SG1D0002003 00
	23	m3			単第0 -0003 表

本工事費 内訳表

頁0 -0014

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
発生土処理 現場から仮置場					Y1101040103 レベル4
	1	式			
発生土運搬工(4t積級, 2t積級, 機械積込み)					SG1E0003002 00
	29	m3			単第0 -0005 表
埋戻土運搬 仮置場から現場					Y1101040104 レベル4
	1	式			
積込(ルーズ) 土砂 土量50,000m3未満					SPK25040007 00
	26	m3			単第0 -0007 表
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) D1D区間有り 距離0.5km以下(0.3km超)					SPK25040002 00
	26	m3			単第0 -0008 表
発生土処理 仮置場から処分場					Y1101040103 レベル4
	1	式			
積込(ルーズ) 土砂 土量50,000m3未満					SPK25040007 00
	3	m3			単第0 -0007 表
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) D1D区間有り 距離3.0km以下(2.0km超)					SPK25040002 00
	3	m3			単第0 -0009 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱による					#0041

本工事費 内訳表

頁0 -0015

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
再生資源化施設受入費 土砂					F000000100 00
ます設置工	3	m ³			Y11010402 レベル3
ます(塩化ビニル製)	1	式			Y1101040202レベル4
ます設置工(塩化ビニル製) ます径 200mm	16	箇所			SG1D0088004 00
取付管布設工	16	箇所			単第0 -0039 表 Y11010403 レベル3
取付管(硬質塩化ビニル管)	1	式			Y1101040302レベル4
取付管布設および支管取付工 管径 150mm	16	箇所			SG1D0089002 00
取付管布設および支管取付工 管径 150mm	13	箇所			単第0 -0040 表 SG1D0089002 00
取付管布設および支管取付工 管径 150mm	3	箇所			単第0 -0041 表
管路土留工	1	式			Y11010404 レベル3

本工事費 内訳表

頁0 -0016

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
軽量鋼矢板土留					Y1101040401レベル4
軽量鋼矢板建込工(両側分)	1	式			SG1D0033001 00
軽量鋼矢板引抜工(両側分)	2.9	m			単第0 -0042 表 SG1D0033002 00
軽量鋼矢板建込工(両側分)	2.9	m			単第0 -0043 表
軽量鋼矢板引抜工(両側分)	3.4	m			SG1D0033001 00 単第0 -0044 表
軽量鋼矢板引抜工(両側分)	3.4	m			SG1D0033002 00 単第0 -0045 表
軽量鋼矢板賃料及び修理損耗費 取付管	1	式			V000000400 00 単第0 -0046 表
土留支保工(軽量金属支保工) 設置 L=2.0m	2.9	m			SG1D0033008 00 単第0 -0047 表
土留支保工(軽量金属支保工) 撤去 L=2.0m	2.9	m			SG1D0033008 00 単第0 -0048 表
土留支保工(軽量金属支保工) 設置 L=3.0m	3.4	m			SG1D0033008 00 単第0 -0049 表

本工事費 内訳表

頁0 -0017

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
土留支保工(軽量金属支保工) 撤去 L=3.0m	3.4	m			SG1D0033008 00 単第0 -0050 表
切梁・腹起し等賃料 取付管	1	式			V000000500 00 単第0 -0051 表
付帯工	1	式			Y110106 レベル2
舗装撤去工	1	式			Y11010601 レベル3
舗装版切断	180	m			Y1101060101 レベル4
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	180	m			SPK25040307 00 単第0 -0052 表
舗装版破砕	86	m ²			Y1101060102 レベル4
舗装版破砕 アスファルト舗装版 障害等無し 舗装版厚15cm以下	86	m ²			SPK25040306 00 単第0 -0053 表
殻運搬処理	6	m ³			Y1101060105 レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0018

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
殻運搬 舗装版破砕 D/D区間有り 運搬距離6.0km以下(3.5km超)	6	m ³			SPK25040155 00 単第0 -0054 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
再生資源化施設受入費 As	13	t			F000000200 00
インターロッキングブロック撤去	327	m ²			Y1A01141201 レベル4
インターロッキングブロック工(撤去再使用) 再使用目的の撤去 [規]100m ² 未満	248	m ²			SS000117 00 単第0 -0055 表
インターロッキングブロック工(撤去再使用) 再使用目的の撤去 [規]100m ² 未満	79	m ²			SS000117 00 単第0 -0055 表
殻運搬処理	20	m ³			Y1101060105 レベル4
殻運搬 Co(無筋)構造物とこわし D/D区間有り 運搬距離1.6km以下	20	m ³			SPK25040155 00 単第0 -0056 表
舗装仮復旧工	1	式			Y11010604 レベル3

本工事費 内訳表

頁0 -0019

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
下層路盤(車道・路肩部)					Y1101060402レベル4
	86	m2			
下層路盤(車道・路肩部) 全仕上り厚100mm 1層施工 RC-40	59	m2			SPK25040235 00 単第0 -0057 表
下層路盤(車道・路肩部) 全仕上り厚300mm 2層施工 RC-40	27	m2			SPK25040235 00 単第0 -0058 表
下層路盤(歩道部)					Y1101060403レベル4
	248	m2			
下層路盤(歩道部) 全仕上り厚50mm 1層施工 RC-40	248	m2			SPK25040236 00 単第0 -0059 表
上層路盤(車道・路肩部)					Y1101060404レベル4
	86	m2			
上層路盤(車道・路肩部) RM-30 全仕上り厚120mm 1層施工	59	m2			SPK25040237 00 単第0 -0060 表
上層路盤(車道・路肩部) RM-30 全仕上り厚170mm 2層施工	27	m2			SPK25040237 00 単第0 -0061 表
上層路盤(歩道部)					Y1101060405レベル4
	248	m2			

本工事費 内訳表

頁0 -0020

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
上層路盤(歩道部) 全仕上り厚160mm 2層施工 RM-30	248	m2			SPK25040238 00 単第0 -0062 表
表層(車道・路肩部)					Y1101060408レベル4
	86	m2			
表層(車道・路肩部) 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 1層当り平均仕上厚30mm	86	m2			SPK25040244 00 単第0 -0063 表
表層(歩道部)					Y1101060409レベル4
	248	m2			
表層(歩道部) 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 1層当り平均仕上厚30mm	248	m2			SPK25040247 00 単第0 -0064 表
管路施設(推進工法)(小口径推進)					Y1102 レベル1
	1	式			
管きょ工(小口径推進)					Y110201 レベル2
	1	式			
低耐力力泥土圧推進工					Y11020110 レベル3
	1	式			
推進用硬質塩化ビニル管 低耐力力泥土圧					Y1102011001レベル4
	28.6	m			

本工事費 内訳表

頁0 -0021

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
推進工法用硬質塩ビ管 SUSR VPφ200 L=1.00m 先頭管、標準管	28	本			F000004100 00
推進工法用硬質塩ビ管 VPφ200 L=1.00 最終管	1	本			F000004200 00
推進工 低耐荷力泥土圧	28.6	m			SG1D0404001 00 単第0 -0065 表
スクリーコンベヤ類撤去工 低耐荷力泥土圧 呼び径 200~450mm	28.6	m			SG1D0404002 00 単第0 -0069 表
添加材注入工 低耐荷力泥土圧	28.6	m			SG1D0404003 00 単第0 -0070 表
発生土処理	1	式			Y1102011002レベル4
汚泥吸排車運転費	1	m ³			V000000600 00 単第0 -0072 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
建設汚泥処理費	1	m ³			F000007900 00

本工事費 内訳表

頁0 -0022

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
立坑内管布設工	1	式			Y11020112 レベル3
硬質塩化ビニル管 【φ200】	0.6	m			Y1102011202レベル4
硬質塩化ビニル管布設工 呼び径 200mm	0.6	m			SG1D0006001 00 単第0 -0073 表
仮設備工(小口径)	1	式			Y11020113 レベル3
坑口(小口径)	2	箇所			Y1102011301レベル4
坑口工 低耐荷力泥土圧推進	2	箇所			SG1D0098008 00 単第0 -0074 表
鏡切り	2	箇所			Y1102011303レベル4
鏡切り工	2.4	m			SG1E0100001 00 単第0 -0078 表
推進設備等設置撤去	1	箇所			Y1102011304レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0023

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
推進設備工 低耐荷力泥土圧	1	箇所			SG1D0101022 00 単第0 -0079 表
先導体据付撤去工 低耐荷力泥土圧	1	箇所			SG1D0101024 00 単第0 -0080 表
推進水替工	1	式			Y11020116 レベル3
推進用水替	1	式			Y1102011601レベル4
ポンプ運転工 排水量 0(m3/h)以上40(m3/h)未満 作業時排水	14	日			SG1D0107001 00 単第0 -0081 表
据付・撤去工	1	現場			SG1D0042002 00 単第0 -0026 表
補助地盤改良工	1	式			Y11020117 レベル3
薬液注入	1	式			Y1102011701レベル4
薬液注入工(二重管ストレーナ) 複相方式 (2セット) 総削孔長=3. 7m	2	本			S0740 00 M-131坑口 (上流側) 単第0 -0082 表

本工事費 内訳表

頁0 -0024

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
薬液注入工(二重管ストレーナ) 複相方式 (2セット) 総削孔長=4. 3m	4	本			S0740 00 M-132坑口 (下流側) 単第0 -0083 表
注入設備据付・解体工(車上)	1	現場			SG1D0039004 00 単第0 -0084 表
立坑工	1	式			Y110202 レベル2
管路土工	1	式			Y11020201 レベル3
管路理戻	1	式			Y1102020102レベル4
機械投入埋戻工(バックホウ)	3	m3			SG1D0002003 00 単第0 -0003 表
機械投入埋戻工(バックホウ)	6	m3			SG1D0002003 00 単第0 -0087 表
発生土処理 現場から仮置場	1	式			Y1102020103レベル4
発生土運搬工(4t積級, 2t積級, 機械積込み)	16	m3			SG1E0003002 00 単第0 -0005 表

本工事費 内訳表

頁0 -0025

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
発生土処理 仮置場から処分場	1	式			Y1102020103レベル4
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間有り 距離3.0km以下(2.0km超)	16	m3			SPK25040002 00 単第0 -0009 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
再生資源化施設受入費 土砂	16	m3			F000000100 00
埋戻土運搬 購入先から現場	1	式			Y1102020104レベル4
購入土	4	m3			F000008000 00
積込(ルーズ) 土砂 土量50,000m3未満	3	m3			SPK25040007 00 単第0 -0007 表
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間有り 距離7.0km以下(5.5km超)	3	m3			SPK25040002 00 単第0 -0088 表
鋼製ケーシング式土留工及び土工	1	式			Y11020204 レベル3

本工事費 内訳表

頁0 -0026

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
鋼製ケーシング圧入掘削	5.3	m			Y1102020401レベル4
圧入掘削積込み工 呼び径 2,000mm 砂質土	5.3	m			SG1D0602001 00 単第0 -0089 表
ケーシング溶接工 呼び径 2,000mm	1	箇所			SG1D0602002 00 単第0 -0092 表
ケーシング引上げ工 呼び径 2,000mm 引上げ延長	1	箇所			SG1D0602003 00 単第0 -0094 表
ケーシング撤去工 呼び径 2,000mm	1	箇所			SG1D0602004 00 単第0 -0096 表
【機器単体費】 共通仮設費[対象外], 現場管理費[対象外] 一般管理費[対象外]					#0046
鉄屑(ヘビーH)	-0.9	t			T100E007 00
底盤コンクリート	1	箇所			Y1102020402レベル4
底盤コンクリート打設工	3	m3			SG1D0603001 00 単第0 -0099 表

本工事費 内訳表

頁0 -0027

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
調整コンクリート 調整Co	1	箇所			Y1102020402レベル4
底盤コンクリート打設工	0.2	m3			SG1D0603001 00 単第0 -0099 表
圧入掘削設備	1	箇所			Y1102020403レベル4
機械設置撤去工 呼び径 2,000mm	1	回			SG1D0604001 00 単第0 -0100 表
鋼製ケーシング存置	3.0	m			Y1102020404レベル4
刃先製作取付費 呼び径2000	1	個			F000005200 00
鋼製ケーシング存置 呼び径2000	3.0	m			F000005300 00
仮設ケーシング損料	1	式			Y1102020405レベル4
仮設ケーシング損料 呼び径2000	1	回			F000005400 00

本工事費 内訳表

頁0 -0028

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
立坑排水	1	箇所			Y1102020406レベル4
うわ水排水工	1	箇所			SG1D0607001 00 単第0 -0101 表
排水運搬処理	1	箇所			Y1102020407レベル4
スライム処理工	1	箇所			SG1D0608001 00 単第0 -0102 表
汚泥吸排車運転費	1	m3			V00000600 00 単第0 -0072 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
建設汚泥処理費	1	m3			F000007900 00
円形覆工板	1	箇所			Y1102020408レベル4
円形覆工板設置工 呼び径 2,000mm M-132	1	箇所			SG1D0609001 00 単第0 -0103 表

本工事費 内訳表

頁0 -0029

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
円形覆工板撤去工 呼び径 2,000mm M-132	1	箇所			SG1D0609002 00 単第0 -0104 表
円形覆工板閉閉工 呼び径 2,000mm M-132	14	回			SG1D0609003 00 単第0 -0105 表
円形覆工板, 修理費及び損耗費	1	式			V000000700 00 【M-132】 単第0 -0106 表
管路施設(推進工法)(小口径推進)	1	式			Y1102 レベル1
管きょ工(小口径推進)	1	式			Y110201 レベル2
鋼製さや管Br(一重ケーシング)推進工	1	式			Y11020106 レベル3
推進用鋼管	45.5	m			Y1102010601 レベル4
推進用鋼管	45.5	m			V000002600 00 単第0 -0107 表
発生土処理	1	式			Y1102010602 レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0030

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
汚泥吸排車運転費	6	m3			V000000600 00 単第0 -0072 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
建設汚泥処理費	6	m3			F000007900 00
挿入用塩ビ管	47.2	m			Y1102010603 レベル4
推進工法用硬質塩ビ管 SUSR VPφ200 L=1.00m 先頭菅、標準管	47	本			F000004100 00
推進工法用硬質塩ビ管 VPφ200 L=1.00 最終菅	1	本			F000004200 00
スパーサー 鋼管φ400用	37	個			F000007500 00
塩ビ管挿入工 塩ビ管呼び径 200mm	47.2	m			SG1D0407001 00 単第0 -0113 表
中込め	3.8	m3			Y1102010604 レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0031

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
中込め注入工					SG1D0408001 00
立坑内管布設工	3.8	m3			単第0 -0116 表
硬質塩化ビニル管 【φ200】	1	式			Y11020112 レベル3
硬質塩化ビニル管布設工 呼び径 200mm	1.7	m			Y1102011202レベル4
仮設備工(小口径)	1.7	m			SG1D0006001 00
坑口(小口径)	1	式			単第0 -0073 表
坑口工 鋼製さや管ボーリング(一重ケーシング)推進	4	箇所			Y11020113 レベル3
鏡切り	4	箇所			Y1102011301レベル4
鏡切り工 鋼製さや管ボーリング(一重ケーシング)推進	4	箇所			SG1D0098009 00
	4	箇所			単第0 -0117 表
	4	箇所			Y1102011303レベル4
	4	箇所			SG1D0100011 00
	4	箇所			単第0 -0118 表

本工事費 内訳表

頁0 -0032

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
推進設備等設置撤去					Y1102011304レベル4
推進用機械据付撤去工	1	箇所			V000001000 00
推進用機器据換工	1	箇所			単第0 -0119 表
先導体据付工	1	箇所			V000002100 00
先導体搬出工	2	台			単第0 -0120 表
中込め注入設備工	1	台			V000001100 00
中込め注入設備工 鋼製さや管ボーリング(一重ケーシング)	1	箇所			単第0 -0121 表
送・排泥設備工	1	台			V000001200 00
送・排泥設備(小口径泥水)	1	式			単第0 -0122 表
	1	式			Y11020114 レベル3
	1	式			Y1102011401レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0033

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
送排泥管設置撤去工					V000001300 00
	1	式			単第0 -0124 表
送泥ポンプ据付撤去工					V000001400 00
	1	台			単第0 -0125 表
排泥ポンプ据付撤去工					V000001500 00
	1	台			単第0 -0126 表
計測機器類設置撤去工 小口径泥水					SG1D0104004 00
	1	箇所			単第0 -0127 表
ポンプ及び計測機器類機械器具損料等					V000001700 00
	1	式			単第0 -0128 表
泥水処理設備工					Y11020115 レベル3
	1	式			
泥水処理設備(小口径泥水)					Y1102011501 レベル4
	1	式			
泥水処理プラント据付撤去工					V000001800 00
	1	箇所			単第0 -0129 表
処理設備付帯作業工					V000001900 00
	1	箇所			単第0 -0130 表

本工事費 内訳表

頁0 -0034

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
処理設備機械器具損料等					V000002000 00
	1	式			単第0 -0131 表
作泥材					V000002200 00
	1	式			単第0 -0132 表
補助地盤改良工					Y11020117 レベル3
	1	式			
薬液注入					Y1102011701 レベル4
	1	式			
薬液注入工(二重管ストレーナ) 複相方式(2セット) 総削孔長=3.7m					S0740 00
	2	本			M-130坑口(上流側) 単第0 -0133 表
薬液注入工(二重管ストレーナ) 複相方式(2セット) 総削孔長=4.1m					S0740 00
	4	本			M-131坑口(下流側) 単第0 -0134 表
薬液注入工(二重管ストレーナ) 複相方式(2セット) 総削孔長=4.1m					S0740 00
	4	本			M-131坑口(上流側) 単第0 -0135 表
薬液注入工(二重管ストレーナ) 複相方式(2セット) 総削孔長=4.4m					S0740 00
	2	本			M-155坑口(下流側) 単第0 -0136 表
注入設備据付・解体工(車上)					SG1D0039004 00
	1	現場			単第0 -0137 表

本工事費 内訳表

頁0 -0035

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
立坑工					Y110202 レベル2
	1	式			
管路土工					Y11020201 レベル3
	1	式			
管路埋戻					Y1102020102レベル4
	1	式			
機械投入埋戻工(バックホウ)					SG1D0002003 00
	5	m3			単第0 -0003 表
機械投入埋戻工(バックホウ)					SG1D0002003 00
	10	m3			単第0 -0087 表
埋戻土運搬					Y1102020104レベル4
	1	式			
購入土					F000008000 00
	7	m3			
積込(ルーズ) 土砂 土量50,000m3未満					SPK25040007 00
	5	m3			単第0 -0007 表
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間有り 距離7.0km以下(6.0km超)					SPK25040002 00
	5	m3			単第0 -0138 表

本工事費 内訳表

頁0 -0036

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
鋼製ケーシング式土留工及び土工					Y11020204 レベル3
	1	式			
鋼製ケーシング圧入掘削					Y1102020401レベル4
	4.5	m			
ケーシング撤去工 呼び径 1,500mm					SG1D0602004 00
	2	箇所			単第0 -0139 表
ケーシング撤去工 呼び径 2,000mm					SG1D0602004 00
	1	箇所			単第0 -0140 表
【機器単体費】 共通仮設費[対象外], 現場管理費[対象外] 一般管理費[対象外]					#0046
鉄屑(ヘビーH1) 厚さ6mm以上, 幅高500mm以下 長さ1,200mm以下, 質量1,000kg以下					T100E007 00
	-2.3	t			
円形覆工板					Y1102020408レベル4
	3	箇所			
円形覆工板撤去工 呼び径 1,500mm M-130, M-155					SG1D0609002 00
	2	箇所			単第0 -0141 表
円形覆工板撤去工 呼び径 2,000mm M-131					SG1D0609002 00
	1	箇所			単第0 -0142 表

本工事費 内訳表

頁0 -0037

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
円形覆工板開閉工 呼び径 1,500mm M-130, M-155	2	回			SG1D0609003 00 単第0 -0143 表
円形覆工板開閉工 呼び径 2,000mm M-131	25	回			SG1D0609003 00 単第0 -0144 表
円形覆工板, 修理費及び損耗費 φ1500 T-15 供用日12カ月以下	1	式			V000002400 00 【M-130】 単第0 -0145 表
円形覆工板, 修理費及び損耗費 φ1500 T-15 供用日12カ月以下	1	式			V000002400 00 【M-155】 単第0 -0145 表
円形覆工板, 修理費及び損耗費 φ2000 T-25 供用日12カ月以下	1	式			V000002300 00 【M-131】 単第0 -0146 表
全工種共通仮設					Y1J01 レベル1
仮設工	1	式			Y1J0101 レベル2
交通管理工	1	式			Y1J010121 レベル3
交通誘導警備員	1	式			Y1J01012101 レベル4
	438	人			

本工事費 内訳表

頁0 -0038

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
交通誘導警備員B 開削部分					R0369 00
	243	人			
交通誘導警備員B 推進 (鋼製さや)					R0369 00
	128	人			
交通誘導警備員B 推進 (低耐荷力)					R0369 00
	67	人			
直接工事費 #0020計=支給品等(材料), 無償貸付					
役務費					Z0003
役務費					YZZ03 レベル2
	1	式			
役務費					YZZ03001 レベル3
	1	式			
借地料 土地の借上げ等に要する費用					YZZ03001001 レベル4
	1	式			
借地料					F000008500 00
	1	式			

本工事費 内訳表

頁0 -0039

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
運搬費					Z0004
運搬費	1	式			YZZ04 レベル2
運搬費	1	式			YZZ04001 レベル3
仮設材運搬費 開削部	20.7	t			YZZ04001004レベル4
仮設材等(鋼矢板, H鋼, 覆工板, 敷鉄板等)運搬 運搬距離 10km 製品長 12m以内	1	式			S1000007 00 単第0 -0147 表
仮設材運搬費 推進部	3.3	t			YZZ04001004レベル4
仮設材等(鋼矢板, H鋼, 覆工板, 敷鉄板等)運搬 運搬距離 10km 製品長 12m以内	1	式			S1000007 00 単第0 -0150 表
技術管理費					Z0006
技術管理費	1	式			YZZ06 レベル2

本工事費 内訳表

頁0 -0040

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
技術管理費					YZZ06001 レベル3
施工調査費	1	式			YZZ06001006レベル4
本管テレビカメラ車調査	1	式			V000002900 00
共通仮設費率分	421.2	m			Z0019 単第0 -0153 表
計算情報…… 対象額…… 率……					
** 共通仮設費計 **					
** 純工事費 **					
現場管理費 計算情報…… 対象額…… 率……					
** 工事原価 **					

施工単価表

ダンプトラック運転
011_オンロードディーゼル

SM2203010

単第0 -0006 表

頁0 -0047

4t積級

1

日 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
運転手(一般)	1.00	人			
軽油 バトロール給油, 2~4KL積載車給油	32.00	L			
ダンプトラック オンロード・ディーゼル 4t積級	1.29	供用日			
タイヤ損耗費 ダンプトラック 4t (良)	1.29	供用日			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	日			
A=1 011_オンロードディーゼル C=1 運転労務数量(人/日) E=1.29 機械損料数量(供用日/日)			B=2 4t積級 D=32 燃料消費量(L/日) F=1 路面状況:良好		

施工単価表

積込(ルーズ)

SPK25040007

単第0 -0007 表

頁0 -0048

土砂 土量50,000m3未満 標準単価: 1 m3 当り 240.90000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排2014 山積0.8/平積0.6m3	42.39%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排2014 山積0.8/平積0.6m3		MTPC00153 MTPT00153
運転手(特殊)	38.74%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 バトロール給油, 2~4KL積載車給油	18.87%		軽油バトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂			B=1 土量50,000m3未満		

施工単価表

頁0 -0049

土砂等運搬

SPK25040002

単第0 -0008 表

標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間有り 距離0.5km以下(0.3km超)

1

m3 当り

機械構成比: 44.67% 労務構成比: 40.44%

材料構成比: 14.89%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

437.65000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	44.67%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	40.44%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油, 2~4kl積載車給油	14.89%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 標準 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) E=3 距離0.5km以下(0.3km超)			B=1 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) D=2 DID区間有り		

施工単価表

頁0 -0050

土砂等運搬

SPK25040002

単第0 -0009 表

標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間有り 距離3.0km以下(2.0km超)

1

m3 当り

機械構成比: 44.67% 労務構成比: 40.44%

材料構成比: 14.89%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

758.59000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	44.67%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	40.44%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油, 2~4kl積載車給油	14.89%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 標準 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) E=9 距離3.0km以下(2.0km超)			B=1 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) D=2 DID区間有り		

施工単価表

軽量鋼矢板建込工(両側分)
矢板長 2.0m

SG1D0033001

単第0 -0012 表

頁0 -0053

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.0	人			
特殊作業員	2.0	人			
普通作業員	6.0	人			
機-01_バックホウ運転 113_標準型 排2 山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	11.6	時間			単第0-0002 表
諸雑費	1	式			
1m当り(計/100m)					
*** 単位当たり ***	1	m			
A=3 山積0.28m ³			B=2 掘削深	2.0m以下	

施工単価表

軽量鋼矢板引抜工(両側分)
矢板長 2.0m

SG1D0033002

単第0 -0013 表

頁0 -0054

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.9	人			
特殊作業員	0.9	人			
普通作業員	2.7	人			
<作>トラッククレーン(油圧伸縮ジブ型) 4.9t吊, オペレータ付	1.0	日			
諸雑費	1	式			
1m当り(計/100m)					
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 TC4.9t吊			B=2 掘削深	2.0m以下	

施工単価表

軽量鋼矢板建込工(両側分)
矢板長 2.5m

SG1D0033001

単第0 -0014 表

頁0 -0055

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.4	人			
特殊作業員	2.4	人			
普通作業員	7.2	人			
機-01_バックホウ運転 113_標準型 排2 山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	12.5	時間			単第0-0002 表
諸雑費	1	式			
1m当り(計/100m)					
*** 単位当たり ***	1	m			
A=3 山積0.28m ³			B=3 掘削深	2.5m以下	

施工単価表

軽量鋼矢板引抜工(両側分)
矢板長 2.5m

SG1D0033002

単第0 -0015 表

頁0 -0056

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.9	人			
特殊作業員	0.9	人			
普通作業員	2.7	人			
<作>トラッククレーン(油圧伸縮ジブ型) 4.9t吊, オペレータ付	1.0	日			
諸雑費	1	式			
1m当り(計/100m)					
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 TC4.9t吊			B=3 掘削深	2.5m以下	

施工単価表

軽量鋼矢板建込工(両側分)
矢板長 3.0m

SG1D0033001

単第0 -0016 表

頁0 -0057

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.8	人			
特殊作業員	2.8	人			
普通作業員	8.4	人			
機-01_バックホウ運転 113_標準型 排2 山積0.28m ³ (平積0.2m ³)	13.4	時間			単第0-0002 表
諸雑費	1	式			
1m当り(計/100m)					
*** 単位当たり ***	1	m			
A=3 山積0.28m ³			B=4 掘削深	3.0m以下	

施工単価表

軽量鋼矢板引抜工(両側分)
矢板長 3.0m

SG1D0033002

単第0 -0017 表

頁0 -0058

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.0	人			
特殊作業員	1.0	人			
普通作業員	3.0	人			
<作>トラッククレーン(油圧伸縮ジブ型) 4.9t吊, オペレータ付	1.1	日			
諸雑費	1	式			
1m当り(計/100m)					
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 TC4.9t吊			B=4 掘削深	3.0m以下	

施工単価表

軽量鋼矢板賃料及び修理損耗費

V000000100

単第0 -0018 表

頁0 -0059

1 式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
軽量鋼矢板賃料 L=2.0 1段	1	式			
軽量鋼矢板修理費及び損耗費 L=2.0m 1段	1	式			
軽量鋼矢板賃料 L=2.5m 1段	1	式			
軽量鋼矢板修理費及び損耗費 L=2.5m 1段	1	式			
軽量鋼矢板賃料 L=2.5m 2段	1	式			
軽量鋼矢板修理費及び損耗費 L=2.5m 2段	1	式			
軽量鋼矢板賃料 L=3.0m 2段	1	式			
軽量鋼矢板修理費及び損耗費 L=3.0m 2段	1	式			
*** 単位当たり ***	1	式			

施工単価表

土留支保工(軽量金属支保工)

SG1D0033008

単第0 -0019 表

頁0 -0060

1段 設置 1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.6	人			
特殊作業員	0.6	人			
普通作業員	1.8	人			
諸雑費	1	式			
1m当り(計/100m)					
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 設置 C=1 水圧式パイプサポート H=1 -			B=1 設置段数 1段(掘削深2.0m以下) D=1 - L=1 -		

施工単価表

土留支保工(軽量金属支保工)
1段

SG1D0033008

単第0 -0020 表

頁0 -0061

撤去

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.5	人			
特殊作業員	0.5	人			
普通作業員	1.5	人			
諸雑費	1	式			
1m当り(計/100m)					
*** 単位当たり ***	1	m			
A=2 撤去 C=1 水圧式パイプサポート			B=1 設置段数	1段(掘削深2.0m以下)	

施工単価表

土留支保工(軽量金属支保工)
2段

SG1D0033008

単第0 -0021 表

頁0 -0062

設置

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.2	人			
特殊作業員	1.2	人			
普通作業員	3.6	人			
諸雑費	1	式			
1m当り(計/100m)					
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 設置 C=1 水圧式パイプサポート H=1 -			B=2 設置段数 D=1 - L=1 -	2段(掘削深3.5m以下)	

施工単価表

土留支保工(軽量金属支保工)
2段

SG1D0033008

単第0 -0022 表

頁0 -0063

撤去

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.0	人			
特殊作業員	1.0	人			
普通作業員	3.0	人			
諸雑費	1	式			
1m当り(計/100m)					
*** 単位当たり ***	1	m			
A=2 撤去 C=1 水圧式パイプサポート			B=2	設置段数 2段(掘削深3.5m以下)	

施工単価表

切梁・腹起し等賃料

V000000200

単第0 -0023 表

頁0 -0064

1 式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
腹起し材賃料 1段支保	1	式			
水圧サポート賃料 1段	1	式			
水圧ポンプ賃料 1段	1	式			
1段支保基本料	1	式			
腹起し材賃料 2段	1	式			
水圧サポート賃料 2段	1	式			
水圧ポンプ賃料 2段	1	式			
2段支保基本料	1	式			
*** 単位当たり ***	1	式			

施工単価表

底部工(組立式)(組立1号-マンホール)

SG1D0053001

単第0 -0030 表

頁0 -0071

1

箇所 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
再生クラッシュヤラン 40~0mm	0.228	m3			
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB バックホウ(クレーン機能付)打設	0.180	m3			単第0-0031 表
*** 単位当たり ***	1	箇所			
A=2 RC=40 D=0.2 砕石厚(m) F=0.18 インパットコンクリート工使用数量(m3)			C=0.95 砕石面積(m2) E=1 - G=1 無筋・鉄筋構造物		
H=2 バックホウ(クレーン機能付)打設 L=2 一般養生 Q=1 -			I=2 18-8-40BB P=1 -		

施工単価表

コンクリート

SPK25040157

単第0 -0031 表

頁0 -0072

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 3.50% 労務構成比: 34.96% 材料構成比: 61.54% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 36,531.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<貸>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1~3, 2011, 2014	3.31%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	10.07%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	9.38%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	7.04%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	6.40%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディミクストコンクリート指定品 呼び強度18, スランプ8, 粗骨材40 W/C(60%), 種別(高炉)	59.80%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	1.65%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

軽量鋼矢板引抜工(両側分)

SG1D0033002

単第0 -0043 表

頁0 -0085

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.9	人			
特殊作業員	0.9	人			
普通作業員	2.7	人			
<作>トラッククレーン(油圧伸縮ジブ型) 4.9t吊, オペレータ付	1.0	日			
諸雑費	1	式			
1m当り(計/100m)					
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 TC4.9t吊			B=2 掘削深	2.0m以下	

施工単価表

軽量鋼矢板建込工(両側分)

SG1D0033001

単第0 -0044 表

頁0 -0086

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.8	人			
特殊作業員	2.8	人			
普通作業員	8.4	人			
機-01/バックホウ運転 113 標準型 排2 山積0.28m3(平積0.2m3)	13.4	時間			単第0-0002 表
諸雑費	1	式			
1m当り(計/100m)					
*** 単位当たり ***	1	m			
A=3 山積0.28m3			B=4 掘削深	3.0m以下	

施工単価表

切梁・腹起し等賃料
取付管

V000000500

単第0 -0051 表

頁0 -0093

1 式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
腹起し材賃料 取付管 L=2.0m	1	式			
水圧サポート賃料 取付管 L=2.0m	1	式			
水圧ポンプ賃料 取付管 L=2.0m	1	式			
支保基本料 取付管 L=2.0m	1	式			
腹起し材 取付管 L=3.0	1	式			
水圧サポート賃料 取付管 L=3.0m	1	式			
水圧ポンプ賃料 取付管 L=3.0	1	式			
支保基本料 取付管 L=3.0m	1	式			
*** 単位当たり ***	1	式			

施工単価表

舗装版切断

SPK25040307

単第0 -0052 表

頁0 -0094

アスファルト舗装版

アスファルト舗装版厚15cm以下

1 m 当り

機械構成比: 15.05% 労務構成比: 58.43% 材料構成比: 26.52% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 700.44000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッター バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm	10.24%		コンクリートカッター バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm		MTPC00164 MTPT00164
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	19.96%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	10.88%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	8.92%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッターブレード 自走式切断機用 径45cm(18インチ)	22.39%		コンクリートカッターブレード 径18インチ		TTPC00394 TTPT00394
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	2.81%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

頁0 -0099

殻運搬 SPK25040155 単第0 -0056 表
 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間有り 運搬距離1.6km以下 1 m3 当り
 機械構成比: 40.77% 労務構成比: 44.82% 材料構成比: 14.41% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1,105.90000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	40.77%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	44.82%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 バトロール給油, 2~4kl積載車給油	14.41%		軽油バトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=7 運搬距離1.6km以下		

施工単価表

頁0 -0100

下層路盤(車道・路肩部) SPK25040235 単第0 -0057 表
 全仕上り厚100mm 1層施工 RC-40 1 m2 当り
 機械構成比: 5.72% 労務構成比: 18.33% 材料構成比: 75.95% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1,289.30000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m	3.95%		モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m		MTPC00176 MTPT00176
<貸>ロードローラ(マカダム) 質量10~12t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	0.49%		ロードローラ [マカダム]質量10t~12t		KTPC00047 KTPT00047
<貸>タイヤローラ 質量13~14t 排出ガス対策型(2014年規制)普通・超低騒音	0.49%		<貸>タイヤローラ 質量13~14t		KTPC00074 KTPT00074
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	8.06%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	2.95%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	2.63%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	2.16%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

頁0 -0101

下層路盤(車道・路肩部)

SPK25040235

単第0 -0057 表

全仕上り厚100mm 1層施工

RC-40

1

m2 当り

機械構成比: 5.72%

労務構成比: 18.33%

材料構成比: 75.95%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,289.30000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生クラッシュラン 40~0mm	74.21%		クラッシュラン 40~0mm [標準数量]全仕上り厚150mm		TTPC00008 TTPT00346
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	1.50%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=100 全仕上り厚(mm) D=1 -(全ての費用)			B=4 RC-40		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):100.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0102

下層路盤(車道・路肩部)

SPK25040235

単第0 -0058 表

全仕上り厚300mm 2層施工

RC-40

1

m2 当り

機械構成比: 6.54%

労務構成比: 20.94%

材料構成比: 72.52%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,261.70000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m	4.52%		モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m		MTPC00176 MTPT00176
<貸>ロードローラ(マカダム) 質量10~12t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	0.56%		ロードローラ [マカダム]質量10t~12t		KTPC00047 KTPT00047
<貸>タイヤローラ 質量13~14t 排出ガス対策型(2014年規制)普通・超低騒音	0.56%		<貸>タイヤローラ 質量13~14t		KTPC00074 KTPT00074
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	9.23%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	3.36%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	3.00%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	2.46%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

頁0 -0103

下層路盤(車道・路肩部)
全仕上り厚300mm 2層施工
機械構成比: 6.54% 労務構成比:

RC-40

SPK25040235

単第0 -0058 表

1

m2 当り

材料構成比: 72.52% 市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,261.70000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生クラッシュラン 40~0mm	70.53%		クラッシュラン 40~0mm [標準数量]全仕上り厚250mm		TTPC00008 TTPT00347
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	1.72%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=300 全仕上り厚(mm) D=1 -(全ての費用)			B=4 RC-40		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):300.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0104

下層路盤(歩道部)
全仕上り厚50mm 1層施工
機械構成比: 5.00% 労務構成比:

RC-40

SPK25040236

単第0 -0059 表

1

m2 当り

材料構成比: 19.85% 市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

857.31000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小型バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・超低騒音型・排3 山積0.09/平積0.07m3	2.99%		小型バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・超低騒音型・排3 山積0.09/平積0.07m3		MTPC00169 MTPT00169
<貸>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3~4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.78%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3~4t		KTPC00009 KTPT00009
その他(機械)			その他(機械)		ER009
運転手(特殊)	27.03%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	15.84%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	15.70%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	13.01%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシュラン 40~0mm	17.77%		再生クラッシュラン RC-40 [標準数量]全仕上り厚100mm		TTPC00008 TTPT00352

施工単価表

頁0 -0105

下層路盤(歩道部) SPK25040236 単第0 -0059 表 1 m2 当り
 全仕上り厚50mm 1層施工 RC-40
 機械構成比: 5.00% 労務構成比: 75.15% 材料構成比: 19.85% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 857.31000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
軽油 バトロール給油, 2~4KL積載車給油	1.99%		軽油バトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=50 全仕上り厚(mm) D=1 -(全ての費用)			B=4 RC-40		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):50.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0106

上層路盤(車道・路肩部) SPK25040237 単第0 -0060 表 1 m2 当り
 RM-30 全仕上り厚120mm 1層施工
 機械構成比: 11.57% 労務構成比: 37.08% 材料構成比: 51.35% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 637.83000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m	7.99%		モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m		MTPC00176 MTPT00176
<貸>ロードローラ(マカダム) 質量10~12t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	1.00%		ロードローラ [マカダム]質量10t~12t		KTPC00047 KTPT00047
<貸>タイヤローラ 質量13~14t 排出ガス対策型(2014年規制)普通・超低騒音	0.99%		<貸>タイヤローラ 質量13~14t		KTPC00074 KTPT00074
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	16.31%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	5.97%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	5.32%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	4.37%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

頁0 -0107

上層路盤(車道・路肩部)

SPK25040237

単第0 -0060 表

RM-30

全仕上り厚120mm 1層施工

1

m2 当り

機械構成比: 11.57%

労務構成比: 37.08%

材料構成比: 51.35%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

637.83000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生粒度調整碎石 30~0mm	47.84%		再生粒度調整碎石 RM-40 [標準数量]全仕上り厚150mm		TTPC00010 TTPT00357
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	3.03%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=5 RM-30 H=1 -(全ての費用)			E=120 全仕上り厚(mm)		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):120.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0108

上層路盤(車道・路肩部)

SPK25040237

単第0 -0061 表

RM-30

全仕上り厚170mm 2層施工

1

m2 当り

機械構成比: 13.80%

労務構成比: 44.18%

材料構成比: 42.02%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,074.30000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m	9.53%		モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m		MTPC00176 MTPT00176
<貸>ロードローラ(マカダム) 質量10~12t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	1.19%		ロードローラ [マカダム]質量10t~12t		KTPC00047 KTPT00047
<貸>タイヤローラ 質量13~14t 排出ガス対策型(2014年規制)普通・超低騒音	1.18%		<貸>タイヤローラ 質量13~14t		KTPC00074 KTPT00074
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	19.50%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	7.09%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	6.32%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	5.19%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

頁0 -0109

上層路盤(車道・路肩部)

SPK25040237

単第0 -0061 表

RM-30

全仕上り厚170mm 2層施工

1

m2 当り

機械構成比:

13.80%

労務構成比:

44.18%

材料構成比:

42.02%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

1,074.30000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生粒度調整碎石 30~0mm	37.83%		再生粒度調整碎石 RM-40 [標準数量]全仕上り厚200mm		TTPC00010 TTPT00358
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	3.62%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=5 RM-30 H=1 -(全ての費用)			E=170 全仕上り厚(mm)		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):170.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0110

上層路盤(歩道部)

SPK25040238

単第0 -0062 表

全仕上り厚160mm 2層施工

RM-30

1

m2 当り

機械構成比:

4.40%

労務構成比:

66.09%

材料構成比:

29.51%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

1,949.60000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小型バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・超低騒音型・排3 山積0.09/平積0.07m3	2.63%		小型バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・超低騒音型・排3 山積0.09/平積0.07m3		MTPC00169 MTPT00169
<貸>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3~4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.56%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3~4t		KTPC00009 KTPT00009
その他(機械)			その他(機械)		ER009
運転手(特殊)	23.77%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	13.93%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	13.81%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	11.44%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生粒度調整碎石 30~0mm	27.68%		再生粒度調整碎石 RM-30 [標準数量]全仕上り厚250mm		TTPC00010 TTPT00361

施工単価表

頁0 -0111

上層路盤(歩道部)

SPK25040238

単第0 -0062 表

全仕上り厚160mm 2層施工

RM-30

1

m2 当り

機械構成比: 4.40%

労務構成比: 66.09%

材料構成比: 29.51%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,949.60000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	1.75%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=160 全仕上り厚(mm) D=1 -(全ての費用)			B=1 RM-30		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):160.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0112

表層(車道・路肩部)

SPK25040244

単第0 -0063 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当り平均仕上厚30mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.43%

労務構成比: 44.34%

材料構成比: 55.23%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,891.10000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5~0.6t	0.24%		振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5~0.6t		MTPC00047 MTPT00047
振動コンパクト 前進型 運転質量40~60kg	0.13%		振動コンパクト 前進型 運転質量40~60kg		MTPC00049 MTPT00049
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	19.57%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	14.05%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	4.28%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(13)	50.52%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPC00024 TTPT00284
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用	4.48%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026

施工単価表

頁0 -0113

表層(車道・路肩部) SPK25040244 単第0 -0063 表
 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 1層当り平均仕上厚30mm 1 m2 当り
 機械構成比: 0.43% 労務構成比: 44.34% 材料構成比: 55.23% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 2,891.10000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.17%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.03%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=1 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) C=7 再生密粒度アスファルト混合物(13) G=1 - I=1 -(全ての費用)			B=30 1層当り平均仕上り厚(mm) E=2 PK-3 H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):30.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0114

表層(歩道部) SPK25040247 単第0 -0064 表
 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 1層当り平均仕上厚30mm 1 m2 当り
 機械構成比: 0.46% 労務構成比: 52.19% 材料構成比: 47.35% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 2,244.10000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5~0.6t	0.31%		振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5~0.6t		MTPC00047 MTPPT00047
振動コンパクト 前進型 運転質量40~60kg	0.08%		振動コンパクト 前進型 運転質量40~60kg		MTPC00049 MTPPT00049
その他(機械)			その他(機械)		ER009
特殊作業員	20.25%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	18.10%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	5.52%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(13)	41.40%		再生密粒度As混合物(13) [標準数量]平均仕上り厚40mm		TTPC00024 TTPT00293
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用	5.78%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026

施工単価表

頁0 -0115

表層(歩道部)

SPK25040247

単第0 -0064 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当り平均仕上厚30mm

1 m2 当り

機械構成比: 0.46% 労務構成比: 52.19%

材料構成比: 47.35%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,244.10000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.10%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.04%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=1 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) C=7 再生密粒度アスコン(13) G=1 - I=1 -(全ての費用)			B=30 1層当り平均仕上り厚(mm) E=2 PK-3 H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):30.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0116

推進工

SG1D0404001

単第0 -0065 表

低耐荷力泥土圧

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.0	人			
特殊作業員	2.0	人			
普通作業員	2.0	人			
滑剤 硬質塩化ビニル管用	123.000	L			8.2*15
機-18_トラック運転 02Lクレーン装置付 ベーストラック4t級 吊能力2.9t	1.0	日			単第0-0066 表
推進工機械器具損料(1)	1	日			単第0-0067 表
推進工機械器具損料(2)	1	日			単第0-0068 表
諸雑費	20	%			#09
1m当り(計/推進日進量)					
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 土質(N値) N≤15 C=3700 【F】滑材(L) E=3900 【F】推進器具類損料(固定部)(式)			B=1 呼び径 200mm D=3800 【F】推進機等損料(日) F=4000 【F】推進器具類損料(変動部)(m)		
G=28.55 1推進区間の推進延長(m)					

施工単価表

坑口工
低耐荷力泥土圧推進

SG1D0098008

単第0 -0074 表

頁0 -0125

1

箇所 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.2	人			
溶接工	0.2	人			
普通作業員	0.2	人			
止水器 呼び径200	1	組			
鋼材溶接工	1.9	m			単第0-0075 表
鋼材切断工	3.8	m			単第0-0076 表
機-18_トラック(クレーン装置付)運転 ベーストラック4~4.5t積_吊能力2.9t	0.2	日			単第0-0077 表
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	箇所			
A=1 呼び径 200mm C=4700 【F】 電力料(kWh)			B=4600 【F】 止水器(組)		

施工単価表

鋼材溶接工

SG1E0098001

単第0 -0075 表

頁0 -0126

1

m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.010	人			
溶接工	0.076	人			
普通作業員	0.021	人			
電力料	2.7	kWh			
被覆アーク溶接棒 高張力鋼用(JISZ3211)E4916 棒径5.0mm	0.4	kg			
電気溶接機 交流アーク式(手動・電撃防止器内蔵型) 定格電流250A	0.076	日			
諸雑費	30	%			#09
*** 単位当たり ***	1	m			
A=4700 電力料【登録単価CODE】(kWh)					

施工単価表

薬液注入工(二重管ストレーナ)
複相方式(2セット)

S0740
総削孔長=3.7m

M-131坑口(上流側)

単第0-0082 表

頁0-0133

1 本 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.078	人			1*0.0784
特殊作業員	0.235	人			3*0.0784
普通作業員	0.157	人			2*0.0784
土質安定注入薬剤 溶液型無機瞬結タイプ	342.000	L			
ボーリングマシン 油圧式 5.5kW級	0.157	日			2*0.0784
薬液注入施工機器 薬液注入ポンプ 吐出量5~20L/min×2圧力9.8MPa	0.157	日			2*0.0784
諸雑費	22	%			#09
*** 単位当たり ***	1	本			
A=3 複相方式(2セット) C=3.7 砂質土の削孔長(m) E=342 1本当り注入量(Qs)(L/本)			B=0 礫質土の削孔長(m) D=0 粘性土の削孔長(m) F=18.9 削孔時間(T2)(分)		
G=2.5 土被り長(L2)(m) I=1 総注入量:500k1以下			H=4800 【F】注入材料(L) J=1 -		

施工単価表

薬液注入工(二重管ストレーナ)
複相方式(2セット)

S0740
総削孔長=4.3m

M-132坑口(下流側)

単第0-0083 表

頁0-0134

1 本 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.083	人			1*0.0834
特殊作業員	0.250	人			3*0.0834
普通作業員	0.167	人			2*0.0834
土質安定注入薬剤 溶液型無機瞬結タイプ	342.000	L			
ボーリングマシン 油圧式 5.5kW級	0.167	日			2*0.0834
薬液注入施工機器 薬液注入ポンプ 吐出量5~20L/min×2圧力9.8MPa	0.167	日			2*0.0834
諸雑費	22	%			#09
*** 単位当たり ***	1	本			
A=3 複相方式(2セット) C=4.3 砂質土の削孔長(m) E=342 1本当り注入量(Qs)(L/本)			B=0 礫質土の削孔長(m) D=0 粘性土の削孔長(m) F=21.7 削孔時間(T2)(分)		
G=3 土被り長(L2)(m) I=1 総注入量:500k1以下			H=4800 【F】注入材料(L) J=1 -		

施工単価表

頁0 -0139

土砂等運搬

SPK25040002

単第0 -0088 表

小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間有り 距離7.0km以下(5.5km超)

1

m3 当り

機械構成比: 26.52% 労務構成比: 61.90%

材料構成比: 11.58% 市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,287.80000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	26.52%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00017T1 MTPT00017T1
運転手(一般)	61.90%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 バトロール給油, 2~4kl積載車給油	11.58%		軽油バトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 小規模 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=31 距離7.0km以下(5.5km超)			B=5 バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3) D=2 DID区間有り		

施工単価表

頁0 -0140

圧入掘削積込み工

SG1D0602001

単第0 -0089 表

呼び径 2,000mm

砂質土

1

m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.150	人			
特殊作業員	0.150	人			
普通作業員	0.300	人			
機-01_圧入機運転 揺動圧入機 呼び径 2,000mm	0.9	時間			単第0-0090 表
機-01_ドラグライン及びクラムシエル運転 06L_油圧クラムシエル テレスコピック バケット容量(平積0.6m3)	0.474	時間			単第0-0091 表 0.9/1.9
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 16t吊, オペレータ付 排1~3, 2011, 2014	0.150	日			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=2 砂質土 C=3 呼び径 2,000mm E=5100 【F】 圧入機損料(時間)			B=3 適用範囲 N≤30 D=1 揺動圧入機 F=7.4 圧入機の燃料消費量(L/時間)		

施工単価表

ケーシング撤去工
呼び径 2,000mm

SG1D0602004

単第0 -0096 表

頁0 -0147

1

箇所 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.07	人			
特殊作業員	0.07	人			
普通作業員	0.07	人			
トラック運転 021_クレーン装置付 ベーストラック4t級 吊能力2.9t	0.53	時間			単第0-0097 表
ケーシング切断工	12.043	m			単第0-0098 表
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	箇所			
A=3 呼び径 2,000mm			B=1.44	ケーシング撤去長(m)	

施工単価表

トラック運転
021_クレーン装置付

SM0103020

ベーストラック4t級 吊能力2.9t

単第0 -0097 表

頁0 -0148

1

時間 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
運転手(特殊)	0.17	人			
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	5.30	L			
トラック クレーン装置付 ベーストラック4~4.5t積吊能力2.9t	1.00	時間			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	時間			
A=2 021_クレーン装置付 C=0.17 運転労務数量(人/時間) E=1 機械損料数量			B=14 D=5.3	ベーストラック4t級 吊能力2.9t 燃料消費量(L/時間)	

施工単価表

ケーシング切斷工

SG1E0602003

単第0 -0098 表

頁0 -0149

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.14	人			
溶接工	0.14	人			
普通作業員	0.14	人			
諸雑費	9	%			#09
1m当り					
*** 単位当たり ***	1	m			

施工単価表

底盤コンクリート打設工

SG1D0603001

単第0 -0099 表

頁0 -0150

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.26	人			
特殊作業員	0.26	人			
普通作業員	0.52	人			
水中コンクリート 30-18-20N	10.4	m3			
諸雑費	2	%			#09
1m3当り					
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=2 地下水位以下等の場合 C=1 -			B=8100 水中コンクリート【登C】(m3)		

施工単価表

電力料

V00000901

単第0 -0112 表

頁0 -0163

1 式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
電力料 掘進機 TRW-400A	1	式			
電力料 油圧駆動機 TR-7.5	1	式			
電力料 滑剤注入プラント TSM-300	1	式			
*** 単位当たり ***	1	式			

施工単価表

塩ビ管挿入工

SG1D0407001

単第0 -0113 表

頁0 -0164

塩ビ管呼び径 200mm

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.0	人			
特殊作業員	2.0	人			
普通作業員	1.0	人			
機-18_トラック運転 02Lクレーン装置付 ベーストラック4t級 吊能力2.9t	1.0	日			単第0-0066 表
塩ビ管挿入工機械器具損料	1	日			単第0-0114 表
機-16_発動発電機(ディーゼル発電機)運転 定格容量45kVA	1.0	日			単第0-0115 表
諸雑費	1	式			
1m当り (計/塩ビ管挿入標準日進量)					
*** 単位当たり ***	1	m			
A=2 塩ビ管呼び径 200mm					

施工単価表

中込め注入工

SG1D0408001

単第0 -0116 表

頁0 -0167

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.0	人			
特殊作業員	2.0	人			
普通作業員	1.0	人			
グラウトポンプ 二筒複動ピストン式 吐出量37~100L/min	1	日			
グラウトミキサ 並列2槽式 攪拌容量200L×2槽	1	日			
機-16_発動発電機(ディーゼル発電機)運転 定格容量45kVA	1.0	日			単第0-0115 表
中込め注入剤 SAパウダー	2.2	m3			
諸雑費	15	%			#09
1m3当り(計/日当り標準注入量)					
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=1 呼び径 250mm~400mm			B=80	【F】 注入材料費(m3)	

施工単価表

坑口工

SG1D0098009

単第0 -0117 表

頁0 -0168

鋼製さや管ボーリング(一重ケーシング)推進

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
普通作業員	1.4	人			
坑口止水版 鋼製さや管工法用	1	個			
鋼材溶接工	2.6	m			単第0-0075 表
鋼材切断工	5.3	m			単第0-0076 表
機-18_トラック(クレーン装置付)運転 ベーストラック4~4.5t積_吊能力2.9t	0.2	日			単第0-0077 表
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	箇所			
A=4 呼び径 400mm C=4700 【F】 電力料(kWh)			B=81	【F】 止水器(組)	

施工単価表

送排泥管設置撤去工

V000001300

単第0 -0124 表

頁0 -0175

1 式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
配管工	1.9	人			
配管工	1.9	人			
普通作業員	1.9	人			
普通作業員	1.9	人			
配管材損料 50 (2B)	1	現場			
配管材損料 50 (2B)	45.5	m			
配管材損料 50 (2B)	30	m			
*** 単位当たり ***	1	式			

施工単価表

送泥ポンプ据付撤去工

V000001400

単第0 -0125 表

頁0 -0176

1 台 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.5	人			
特殊作業員	0.5	人			
配管工	0.5	人			
普通作業員	1	人			
電工	0.5	人			
機-18_トラック(クレーン装置付)運転 ベーストラック4~4.5t積_吊能力2.9t	0.3	日			単第0-0077 表
*** 単位当たり ***	1	台			

施工単価表

作泥材

V00002200

単第0 -0132 表

頁0 -0183

1 式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
粘土 メッシュ200	1.2	t			
ベントナイト メッシュ200 25kg/袋	8	袋			
CMC	4.0	kg			
*** 単位当たり ***	1	式			

施工単価表

薬液注入工(二重管ストレーナ)
複相方式(2セット)

S0740

総削孔長=3.7m

M-130坑口(上流側)

単第0 -0133 表

頁0 -0184

1 本 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.077	人			1*0.0773
特殊作業員	0.232	人			3*0.0773
普通作業員	0.155	人			2*0.0773
土質安定注入薬剤 溶液型無機瞬結タイプ	342.000	L			
ボーリングマシン 油圧式 5.5kW級	0.155	日			2*0.0773
薬液注入施工機器 薬液注入ポンプ 吐出量5~20L/min×2圧力9.8MPa	0.155	日			2*0.0773
諸雑費	22	%			#09
*** 単位当たり ***	1	本			
A=3 複相方式(2セット) C=3.7 砂質土の削孔長(m) E=342 1本当り注入量(Qs)(L/本)			B=0 礫質土の削孔長(m) D=0 粘性土の削孔長(m) F=18.3 削孔時間(T2)(分)		
G=2.4 土被り長(L2)(m) I=1 総注入量:500k1以下			H=4800 【F】注入材料(L) J=1 -		

施工単価表

頁0 -0185

薬液注入工(二重管ストレーナ)
複相方式(2セット)

S0740
総削孔長=4.1m

M-131坑口(下流側)

単第0 -0134 表

1 本 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.081	人			1*0.0811
特殊作業員	0.244	人			3*0.0811
普通作業員	0.162	人			2*0.0811
土質安定注入薬剤 溶液型無機瞬結タイプ	342.000	L			
ボーリングマシン 油圧式 5.5kW級	0.162	日			2*0.0811
薬液注入施工機器 薬液注入ポンプ 吐出量5~20L/min×2圧力9.8MPa	0.162	日			2*0.0811
諸雑費	22	%			#09
*** 単位当たり ***	1	本			
A=3 複相方式(2セット) C=4.1 砂質土の削孔長(m) E=342 1本当り注入量(Qs)(L/本)			B=0 礫質土の削孔長(m) D=0 粘性土の削孔長(m) F=20.4 削孔時間(T2)(分)		
G=2.8 土被り長(L2)(m) I=1 総注入量:500k1以下			H=4800 【F】注入材料(L) J=1 -		

施工単価表

頁0 -0186

薬液注入工(二重管ストレーナ)
複相方式(2セット)

S0740
総削孔長=4.1m

M-131坑口(上流側)

単第0 -0135 表

1 本 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.081	人			1*0.081
特殊作業員	0.243	人			3*0.081
普通作業員	0.162	人			2*0.081
土質安定注入薬剤 溶液型無機瞬結タイプ	342.000	L			
ボーリングマシン 油圧式 5.5kW級	0.162	日			2*0.081
薬液注入施工機器 薬液注入ポンプ 吐出量5~20L/min×2圧力9.8MPa	0.162	日			2*0.081
諸雑費	22	%			#09
*** 単位当たり ***	1	本			
A=3 複相方式(2セット) C=4.1 砂質土の削孔長(m) E=342 1本当り注入量(Qs)(L/本)			B=0 礫質土の削孔長(m) D=0 粘性土の削孔長(m) F=20.3 削孔時間(T2)(分)		
G=2.8 土被り長(L2)(m) I=1 総注入量:500k1以下			H=4800 【F】注入材料(L) J=1 -		

施工単価表

薬液注入工(二重管ストレーナ)
複相方式(2セット)

S0740
総削孔長=4.4m

M-155坑口(下流側)

単第0-0136 表

頁0-0187

1 本 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.084	人			1*0.0843
特殊作業員	0.253	人			3*0.0843
普通作業員	0.169	人			2*0.0843
土質安定注入薬剤 溶液型無機瞬結タイプ	342.000	L			
ボーリングマシン 油圧式 5.5kW級	0.169	日			2*0.0843
薬液注入施工機器 薬液注入ポンプ 吐出量5~20L/min×2圧力9.8MPa	0.169	日			2*0.0843
諸雑費	22	%			#09
*** 単位当たり ***	1	本			
A=3 複相方式(2セット) C=4.4 砂質土の削孔長(m) E=342 1本当り注入量(Qs)(L/本)			B=0 礫質土の削孔長(m) D=0 粘性土の削孔長(m) F=22.2 削孔時間(T2)(分)		
G=3.1 土被り長(L2)(m) I=1 総注入量:500kl以下			H=4800 【F】注入材料(L) J=1 -		

施工単価表

注入設備据付・解体工(車上)

SG1D0039004

単第0-0137 表

頁0-0188

1 現場 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.0	人			
特殊作業員	2.6	人			
普通作業員	3.7	人			
機=01Lトラック(クレーン装置付)運転 ベーストラック4~4.5t積_吊能力2.9t	14.5	時間			単第0-0085 表
トラック 普通型 4~4.5t積	3.000	日			2*1.5 供用日の割増率 α
諸雑費	1	式			
トラック損料(注入時)	1.385	日			単第0-0086 表
*** 単位当たり ***	1	現場			
A=4.106 総注入量(kL) C=13 1日当り施工本数(本)			B=0.342 1本当り注入量(kL/本) D=1.5 供用日の割増率 α		

施工単価表

土砂等運搬 SPK25040002 単第0 -0138 表 頁0 -0189
 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間有り 距離7.0km以下(6.0km超) 1 m3 当り
 機械構成比: 44.67% 労務構成比: 40.44% 材料構成比: 14.89% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1,400.50000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	44.67%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	40.44%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 バトロール給油, 2~4kl積載車給油	14.89%		軽油バトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 標準 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) E=22 距離7.0km以下(6.0km超)			B=1 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) D=2 DID区間有り		

施工単価表

ケーシング撤去工 SG1D0602004 単第0 -0139 表 頁0 -0190
 呼び径 1,500mm 1 箇所 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.07	人			
特殊作業員	0.07	人			
普通作業員	0.07	人			
トラック運転 02Lクレーン装置付 ベーストラック4t級 吊能力2.9t	0.53	時間			単第0-0097 表
ケーシング切断工	10.672	m			単第0-0098 表
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	箇所			
A=1 呼び径 1,500mm			B=1.49 ケーシング撤去長(m)		

数量総括表

(補助：開削)

項目 (レベル1)	工種 (レベル2)	種別 (レベル3)	細別 (レベル4)	細別 (レベル5)	積算要素 (レベル6)	単位	計算数量	設計数量	備考
(開削工法) 管路施設									
	管きょ工								
		管路土工							
			管路掘削	機械掘削工	BH0.28m3	m3	626.6	630	
			管路埋戻	機械投入埋戻工	流用土 BH0.28+タンパ	m3	427.1	430	
			発生土処理	発生土運搬工	現場から仮置場 BH0.28+DT4t	m3	626.6	630	
			埋戻土運搬工	積込		m3	474.5	470	
				土砂等運搬	10t	m3	474.5	470	
			発生土運搬	積込み	土砂	m3	152.1	150	
				土砂等運搬		m3	152.1	150	
				処分費	土砂	m3	152.1	150	
		管布設工							
			リップ付硬質塩化ビニル管	リップ付硬質塩化ビニル管設置工	管径200mm	m	344.9	344.9	
				曲管5° 5/8		本	5.0	5	
				マンホール可とう継手	PRP200	個	26.0	26	
			埋設標識テープ	埋設標識シート	150mm×50m シングル 水抜き穴無し	m	344.9	344.9	
		管基礎工							
			砕石基礎	砕石基礎設置工	砕石基礎設置 [機械施工]	m3	116.5	117	31.7+84.8
		管路土留工							
			軽量鋼矢板土留	軽量鋼矢板建込工 (両側分)	矢板長 (2.0m)	m	96.30	96.3	
				軽量鋼矢板引抜工 (両側分)	矢板長 (2.0m)	m	96.30	96.3	
				軽量鋼矢板建込工 (両側分)	矢板長 (2.5m)	m	170.50	170.5	
				軽量鋼矢板引抜工 (両側分)	矢板長 (2.5m)	m	170.50	170.5	
				軽量鋼矢板建込工 (両側分)	矢板長 (3.0m)	m	58.00	58.0	
				軽量鋼矢板引抜工 (両側分)	矢板長 (3.0m)	m	58.00	58.0	
				軽量鋼矢板 賃料及び修理損耗費		式	1	1	
				土留支保工設置	軽量金属支保工 1段	m	129.40	129.4	
				土留支保工撤去	軽量金属支保工 1段	m	129.40	129.4	
				土留支保工設置	軽量金属支保工 2段	m	195.40	195.4	
				土留支保工撤去	軽量金属支保工 2段	m	195.40	195.4	
				切梁・腹起し等賃料	軽量金属支保工 1段・2段	式	1	1	

数量総括表

(補助：開削)

項目 (レベル1)	工種 (レベル2)	種別 (レベル3)	細別 (レベル4)	細別 (レベル5)	積算要素 (レベル6)	単位	計算数量	設計数量	備考
		開削水替工							
			開削水替	作業時排水	ポンプ運転工	日	26.0	26	
					据付・撤去工	現場	13.0	13	
	マンホール工								
		組立マンホール工							
			組立0号マンホール	円形0号 (内径750) 1種	斜壁 600×750×300	個	1.0	1	
				円形0号 (内径750) 1種	斜壁 600×750×450	個	3.0	3	
				円形0号 (内径750) 1種	斜壁 600×750×600	個	1.0	1	
				円形0号 (内径750) 1種	直壁 750×300	個	1.0	1	
				円形0号 (内径750) 1種	直壁 750×600	個	1.0	1	
				円形0号 (内径750) 1種	管取付け壁 750×900	個	1.0	1	
				円形0号 (内径750) 1種	管取付け壁 750×1200	個	3.0	3	
				円形0号 (内径750) 1種	管取付け壁 750×1500	個	1.0	1	
				円形0号 (内径750) 1種	底版	個	5.0	5	
				マンホール付属品	調整リング 600×50	個	2.0	2	
				マンホール付属品	調整リング 600×100	個	1.0	1	
				マンホール付属品	調整リング 600×150	個	2.0	2	
				マンホール付属品	調整金具 調整高25mmまで	組	3.0	3	
				マンホール付属品	調整金具 調整高45mmまで	組	2.0	2	
				下水道用マンホールふた	有効径φ600 <small>浮上防止型、かざ付、耐荷重T-14</small>	組	5.0	5	
					転落防止はしご	個	3.0	3	
				マンホール削孔費	0・1号 (I種) 塩ビ管用, 径150用	箇所	1.0	1	
				マンホール削孔費	0・1号 (I種) 塩ビ管用, 径200用	箇所	5.0	5	
					底部工	箇所	5.0	5	
				組立0号マンホール	0号 (内径750mm) 深さ3m以下	箇所	5.0	5	

数量総括表

(補助：開削)

項目 (レベル1)	工種 (レベル2)	種別 (レベル3)	細別 (レベル4)	細別 (レベル5)	積算要素 (レベル6)	単位	計算数量	設計数量	備考
			組立1号マンホール	円形1号 (内径900) 1種	斜壁 600×900×450	個	7.0	7	
				円形1号 (内径900) 1種	斜壁 600×900×600	個	4.0	4	
				円形1号 (内径900) 1種	直壁 900×300	個	1.0	1	
				円形1号 (内径900) 1種	直壁 900×600	個	3.0	3	
				円形1号 (内径900) 1種	直壁 900×900	個	4.0	4	
				円形1号 (内径900) 1種	管取付け壁 900×1200	個	4.0	4	
				円形1号 (内径900) 1種	管取付け壁 900×1500	個	6.0	6	
				円形1号 (内径900) 1種	管取付け壁 900×1800	個	1.0	1	
				円形1号 (内径900) 1種	底版	個	11.0	11	
				マンホール付属品	調整リング 600×50	個	3.0	3	
				マンホール付属品	調整リング 600×100	個	4.0	4	
				マンホール付属品	調整リング 600×150	個	4.0	4	
				マンホール付属品	調整金具 調整高25mmまで	組	5.0	5	
				マンホール付属品	調整金具 調整高45mmまで	組	6.0	6	
				下水道用マンホールふた	有効径φ600 <small>浮上防止型、かざ付、耐荷重T-25</small>	組	4.0	4	
				カラーマンホール塗装	有効径φ600	組	1.0	1	
				下水道用マンホールふた	有効径φ600 <small>浮上防止型、かざ付、耐荷重T-14</small>	組	7.0	7	
					転落防止はしご	個	7.0	7	
				マンホール削孔費	0・1号 (I種) 塩ビ管用, 径150用	箇所	1.0	1	
				マンホール削孔費	0・1号 (I種) 塩ビ管用, 径200用	箇所	10.0	10	
					底部工	箇所	11.0	11	
				組立1号マンホール	1号 (内径900mm) 深さ3m以下	箇所	7.0	7	
				組立1号マンホール	1号 (内径900mm) 深さ3m超～4m以下	箇所	4.0	4	

数量総括表

(補助：開削)

項目 (レベル1)	工種 (レベル2)	種別 (レベル3)	細別 (レベル4)	細別 (レベル5)	積算要素 (レベル6)	単位	計算数量	設計数量	備考
			内副官	内副官取付工 φ150	段差1.0m未満	箇所	2.0	2	
				副官材料	ブレーンエンド直管	m	1.6	1.6	1本
					内副官継手	個	2.0	2	
					90° 曲管	個	2.0	2	
					止金具	個	4.0	4	
				内副官取付工 φ100	段差1.5m～2.0m	箇所	1.0	1	
				副官材料	ブレーンエンド管	m	1.6	2	1本
					内副官継手	個	1.0	1	
					90° 曲管	個	1.0	1	
					止金具	個	3.0	3	

数量総括表

(補助：開削)

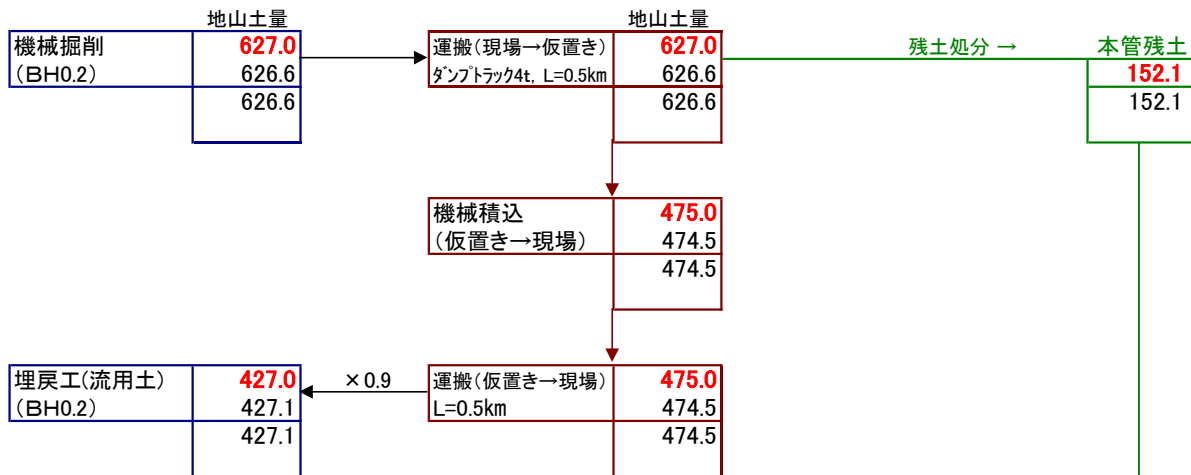
項目 (レベル1)	工種 (レベル2)	種別 (レベル3)	細別 (レベル4)	細別 (レベル5)	積算要素 (レベル6)	単位	計算数量	設計数量	備考
			小型マンホール工						
				塩ビマンホール		箇所	2.0	2	
				蓋設置工	T-14	組	2.0	2	
	取付管及びます工								
		管路土工							
			管路掘削	機械掘削工		m3	29.0	29	
			管路埋戻	機械投入埋戻工		m3	23.4	23	
			発生土処理	発生土運搬工	現場から仮置場	m3	29.0	29	
			埋戻土運搬	積込		m3	26.0	26	
				土砂等運搬	10t	m3	26.0	26	
			発生土	積込み		m3	3.0	3	
				土砂運搬		m3	3.0	3	
				処分費	10t	m3	3.0	3	
		ます設置工							
			ます (塩化ビニル製)	ます設置工 (塩化ビニル製)	ます径200mm	箇所	16.0	16	
		取付管布設工							
			取付管 (硬質塩化ビニル管)	取付管布設および 支管取付工	管径150mm	箇所	13.0	13	
			取付管 (硬質塩化ビニル管)	取付管布設および 支管取付工	管径150mm 3m以上	箇所	3.0	3	
		管路土留工							
			軽量鋼矢板土留	軽量鋼矢板建込工 (両側分)	矢板長 (2.0m)	m	2.92	2.9	

【補助】本管土工配分表 (BH0.2)

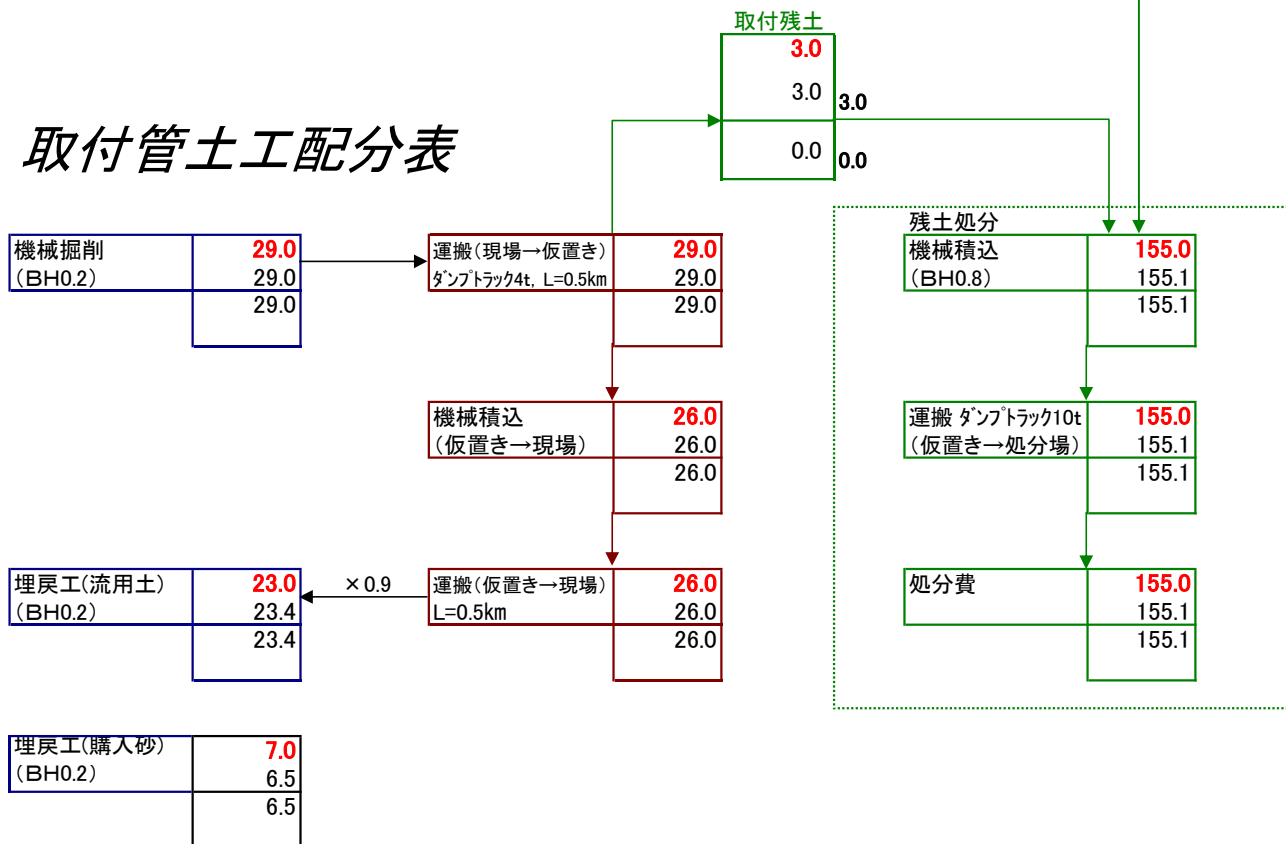
全体: 赤色(上段)

φ200: 黒色(中段)

φ150: 黒色(下段)



取付管土工配分表



数量総括表

200mmリップ付硬質塩化ビニル管布

工区:

2工区 補助

名称	種別	規格	単位	数量	備考
リップ付200mm硬質塩化ビニル管布設工					
管布設工					
区間延長			m	356.80	
管布設延長	PRPφ200		m	344.89	
上流用マンホール継手	"	L=0.50m/本	本	13	
下流用マンホール継手	"	L=0.50m/本	本	13	
リップマンホール 合流サドル	PRPφ200		個	0	
可とう継手	φ200		個	26	
内副管継手					
片受直管	PRPφ200	L=4m/本	本	83	
曲管5° 5/8	PRPφ200		本	5	
曲管22° 1/2	PRPφ200		本	0	
土工					
掘削土量			m ³	626.58	
砕石基礎	再生材		m ³	31.69	
中詰砕石	再生材		m ³	84.78	
発生土埋戻			m ³	427.06	
土留工					
軽量鋼矢板設置撤去	LSP- I L=2.0		m	96.30	
軽量鋼矢板設置撤去	LSP- I L=2.5		m	33.10	
軽量鋼矢板設置撤去	LSP- I L=3.0		m	137.40	
支保工設置	1段 2.0m以下		m	129.40	
支保工設置	2段 2.0m以上		m	195.40	

数量総括表

舗装工

工区： 2工区 補助

名称	種別	規格	単位	本管部	備考
舗装工					
仮舗装					
舗装切断	t=10cm以下		m ²	713.60	
舗装取壊し			m ²	337.06	
舗装仮復旧			m ²	683.94	
舗装取壊し	仮舗装		m ²	683.94	
舗装の為の掘削			m ³	9.20	
本舗装					
舗装本復旧			m ²		別途計算

路線 番号	区間		マンホール種別		区間		マンホール減長		管体・布設			管 材 延 長			リブ管材						備考
	下流	上流	下流	上流	延長	下流	上流	延長	上流用継手	下流用継手	直管延長	片受直管	上流用	下流用	曲管 5°	曲管	リブマンホール	可とう			
												本数	継手	継手	5/8	22° 1/2	合流サドル	継手			
					L	l1	l2	L1				4.0m/本	0.5m/本	0.5m/本							
					m	m	m	m	m	m	m	本	本	本	本	本	個	個			
2278-2	M-7	M-8	1号	1号	3.50	0.450	0.450	2.60	0.50	0.50	1.60	1	1	1					2		
2238	M-8	M-9	1号		3.20	0.450		2.75	0.50		2.25	1	1						1		
					7.80			7.80			7.80	2									
			1号		2.00		0.450	1.55		0.50	1.05	1		1					1		
2236	M-9	M-10	1号		1.00	0.450		0.55	0.50		0.05	1		1					1		
			0号		26.00		0.375	25.63		0.50	25.13	7	1						1		
	M-10	M-11	0号	塩ビST	28.00	0.375	0.320	27.31	0.50		26.81	7	1		1				1		
	M-11	M-12	塩ビST	0号	30.00	0.200	0.375	29.43		0.50	28.93	8		1	1				1		
	M-12	M-13	0号	0号	28.00	0.375	0.375	27.25	0.50	0.50	26.25	7	1	1	1				2		
	M-13	M-14	0号		27.00	0.375		26.63	0.50		26.13	7	1		1				1		
			1号		1.00		0.450	0.55		0.50	0.05	1		1					1		
2225	M-14	M-15	1号		3.40	0.450		2.95	0.50		2.45	1	1		1				1		
			0号		28.60		0.375	28.23		0.50	27.73	7		1					1		
	M-15	M-16	0号		49.00	0.375		48.63	0.50		48.13	13	1						1		
			0号		1.00		0.375	0.63		0.50	0.13	1		1					1		
2224	M-16	M-17	0号		4.30	0.375		3.93	0.50		3.43	1	1						1		
					41.00			41.00			41.00	11									
			1号		1.00		0.450	0.55		0.50	0.05	1		1					1		
2218	M-17	M-18	1号	1号	4.50	0.450	0.450	3.60	0.50	0.50	2.60	1	1	1					2		
2235	M-14	M-38	1号	1号	4.30	0.450	0.450	3.40	0.50	0.50	2.40	1	1	1					2		
2233	M-38	M-39	1号	1号	24.00	0.450	0.450	23.10	0.50	0.50	22.10	6	1	1					2		
2231	M-39	M-40-1	1号	塩ビ	36.60	0.450	0.320	35.83	0.50	0.50	34.83	9		1					1		
	M-40-1	M-40	塩ビ	0号	1.60	0.200	0.375	1.03		0.50	0.53	1	1						1		
	合計				356.80			344.89	6.50	7.00	331.39	96	13	13	5	0	0	0	26		

331.39 ÷ 4m/本 = 83 (片受直管本数)

組立マンホール 減長

マンホール	減長
0号	0.375
1号	0.450
2号	0.600

リブ塩ビマンホール 減長

下流	上流
L=0.20m ST、15	L=0.32m KT、ST
L=0.21m 30	L=0.33m 15、30
L=0.21m 45	L=0.34m 45
L=0.22m 60	L=0.35m 60
L=0.23m 70	L=0.36m 75
L=0.22m 90	L=0.37m 90
L=0.20m サドル	L=0.37m マルチ(段差)
L=0.14m(上) L=0.22(横)	L=0.32m 90Y

- ※片受け直管本数は合計直管延長÷4m/本で算出
- ※塩ビマンホールには上(下)流用継手、可とう継手は設置しない。
- ※組立マンホールには上(下)流用継手、可とう継手を設置する。
- ※マンホール上流用継手(下流用) L=0.50m
- ※副管用支管控除長はL=0m とする。

路線 番号	区間		区間 延長 L m	管体 延長 L1 m	掘削深			舗装厚 t1 m	掘削深 h1 m	掘削 方法	掘削 勾配	掘削幅			碎石基礎		中詰碎石				発生土埋戻			舗装厚 As+路盤 t3 m	備考
	下流	上流			下流 m	上流 m	平均 m					上部 b1 m	底部 B m	掘削土量 V1 m ³	b2 m	V2 m ³	h3 m	b3 m	管控除		h2 m	b4 m	V4 m ³		
																			A1 m ²	V3 m ³					
2278-2	M-7	M-8	3.50	2.60	2.16	2.23	2.20	0.1	2.10	直掘	0.00	0.95	0.95	6.98	0.95	0.25	0.30	0.95	0.031	0.66	1.30	0.95	4.32	0.5	As5-5-10-30
2238	M-8	M-9	3.20	2.75	2.21	1.86	2.04	0.1	1.94	直掘	0.00	0.95	0.95	5.90	0.95	0.26	0.30	0.95	0.031	0.70	1.14	0.95	3.47	0.5	As5-5-10-30
			7.80	7.80	2.21	1.86	2.04	0.06	1.98	直掘	0.00	0.95	0.95	14.67	0.95	0.74	0.30	0.95	0.031	1.98	1.40	0.95	10.37	0.24	IR6-3-10-5
			2.00	1.55	2.21	1.86	2.04	0.1	1.94	直掘	0.00	0.95	0.95	3.69	0.95	0.15	0.30	0.95	0.031	0.39	1.14	0.95	2.17	0.5	As5-5-10-30
2236	M-9	M-10	1.00	0.55	1.44	2.18	1.81	0.1	1.71	直掘	0.00	0.95	0.95	1.62	0.95	0.05	0.30	0.95	0.031	0.14	0.91	0.95	0.86	0.5	As5-5-10-30
			26.00	25.63	1.44	2.18	1.81	0.06	1.75	直掘	0.00	0.95	0.95	43.23	0.95	2.43	0.30	0.95	0.031	6.51	1.17	0.95	28.90	0.24	IR6-3-10-5
	M-10	M-11	28.00	27.31	1.84	2.29	2.07	0.06	2.01	直掘	0.00	0.95	0.95	53.47	0.95	2.59	0.30	0.95	0.031	6.94	1.43	0.95	38.04	0.24	IR6-3-10-5
	M-11	M-12	30.00	29.43	2.29	2.45	2.37	0.06	2.31	直掘	0.00	0.95	0.95	65.84	0.95	2.80	0.30	0.95	0.031	7.47	1.73	0.95	49.31	0.24	IR6-3-10-5
	M-12	M-13	28.00	27.25	2.43	2.39	2.41	0.06	2.35	直掘	0.00	0.95	0.95	62.51	0.95	2.59	0.30	0.95	0.031	6.92	1.77	0.95	47.08	0.24	IR6-3-10-5
	M-13	M-14	27.00	26.63	2.37	2.16	2.27	0.06	2.21	直掘	0.00	0.95	0.95	56.69	0.95	2.53	0.30	0.95	0.031	6.76	1.63	0.95	41.81	0.24	IR6-3-10-5
			1.00	0.55	2.37	2.16	2.27	0.1	2.17	直掘	0.00	0.95	0.95	2.06	0.95	0.05	0.30	0.95	0.031	0.14	1.37	0.95	1.30	0.5	As5-5-10-30
2225	M-14	M-15	3.40	2.95	1.30	1.64	1.47	0.1	1.37	素掘り	0.10	0.89	0.60	3.47	0.62	0.18	0.30	0.68	0.031	0.48	0.57	0.79	1.43	0.5	As5-5-10-30
			28.60	28.23	1.30	1.64	1.47	0.06	1.41	素掘り	0.10	0.89	0.60	30.04	0.62	1.72	0.30	0.68	0.031	4.63	0.83	0.85	18.11	0.24	IR6-3-10-5
	M-15	M-16	49.00	48.63	1.54	1.51	1.53	0.06	1.47	直掘	0.00	0.95	0.95	68.43	0.95	4.62	0.30	0.95	0.031	12.35	0.89	0.95	41.43	0.24	IR6-3-10-5
			1.00	0.63	1.54	1.51	1.53	0.1	1.43	直掘	0.00	0.95	0.95	1.36	0.95	0.06	0.30	0.95	0.031	0.16	0.63	0.95	0.60	0.5	As5-5-10-30
2224	M-16	M-17	4.30	3.93	1.49	1.94	1.72	0.1	1.62	直掘	0.00	0.95	0.95	6.62	0.95	0.37	0.30	0.95	0.031	1.00	0.82	0.95	3.35	0.5	As5-5-10-30
			41.00	41.00	1.49	1.94	1.72	0.06	1.66	直掘	0.00	0.95	0.95	64.66	0.95	3.90	0.30	0.95	0.031	10.41	1.08	0.95	42.07	0.24	IR6-3-10-5
			1.00	0.55	1.49	1.94	1.72	0.1	1.62	直掘	0.00	0.95	0.95	1.54	0.95	0.05	0.30	0.95	0.031	0.14	0.82	0.95	0.78	0.5	As5-5-10-30
2218	M-17	M-18	4.50	3.60	1.92	2.00	1.96	0.1	1.86	直掘	0.00	0.95	0.95	7.95	0.95	0.34	0.30	0.95	0.031	0.91	1.06	0.95	4.53	0.5	As5-5-10-30
2235	M-14	M-38	4.30	3.40	2.14	2.12	2.13	0.1	2.03	直掘	0.00	0.95	0.95	8.29	0.95	0.32	0.30	0.95	0.031	0.86	1.23	0.95	5.02	0.5	As5-5-10-30
2233	M-38	M-39	24.00	23.10	2.10	2.08	2.09	0.05	2.04	直掘	0.00	0.95	0.95	46.51	0.95	2.19	0.30	0.95	0.031	5.87	1.44	0.95	32.83	0.25	As5-10-10
2231	M-39	M-40-1	36.60	35.83	2.06	1.95	2.01	0.05	1.96	直掘	0.00	0.95	0.95	68.15	0.95	3.40	0.30	0.95	0.031	9.10	1.36	0.95	47.29	0.25	As5-10-10
	M-40-1	M-40	1.60	1.03	1.95	1.96	1.96	0.05	1.91	直掘	0.00	0.95	0.95	2.90	0.95	0.10	0.30	0.95	0.031	0.26	1.31	0.95	1.99	0.25	As5-10-10
合計			356.80	344.89									626.58		31.69					84.78			427.06		

区間		区間 延長 L m	掘削幅 m	舗装切断 延長 m	舗装壊し 面積 A1 m ²	舗装 仮復旧 h1 m ²	備考		
下流	上流								
M-7	M-8	3.50	0.95	7.00	3.33	3.33	As5-5-10-30		
M-8	M-9	3.20	0.95	6.40	3.04	3.04	As5-5-10-30		
M-0	M-0	7.80	0.95	15.60	7.41	7.41	IR6-3-10-5		
M-0	M-0	2.00	0.95	4.00	1.9	1.90	As5-5-10-30		
M-9	M-10	1.00	0.95	2.00	0.95	0.95	As5-5-10-30		
M-0	M-0	26.00	0.95	52.00	24.7	24.70	IR6-3-10-5		
M-10	M-11	28.00	0.95	56.00	26.6	26.60	IR6-3-10-5		
M-11	M-12	30.00	0.95	60.00	28.5	28.50	IR6-3-10-5		
M-12	M-13	28.00	0.95	56.00	26.6	26.60	IR6-3-10-5		
M-13	M-14	27.00	0.95	54.00	25.65	25.65	IR6-3-10-5		
M-0	M-0	1.00	0.95	2.00	0.95	0.95	As5-5-10-30		
M-14	M-15	3.40	0.89	6.80	3.03	3.03	As5-5-10-30		
M-0	M-0	28.60	0.89	57.20	25.45	25.45	IR6-3-10-5		
M-15	M-16	49.00	0.95	98.00	46.55	46.55	IR6-3-10-5		
M-0	M-0	1.00	0.95	2.00	0.95	0.95	As5-5-10-30		
M-16	M-17	4.30	0.95	8.60	4.09	4.09	As5-5-10-30		
M-0	M-0	41.00	0.95	82.00	38.95	38.95	IR6-3-10-5		
M-0	M-0	1.00	0.95	2.00	0.95	0.95	As5-5-10-30		
M-17	M-18	4.50	0.95	9.00	4.28	4.28	As5-5-10-30		
M-14	M-38	4.30	0.95	8.60	4.09	4.09	As5-5-10-30		
M-38	M-39	24.00	0.95	48.00	22.8	22.80	As5-10-10		
M-39	M-40-1	36.60	0.95	73.20	34.77	34.77	As5-10-10		
M-40-1	M-40	1.60	0.95	3.20	1.52	1.52	As5-10-10		
合計		356.80		713.60	337.06	683.94			

(路線番号)

管径φ 200

管種: リブ付硬質塩化ビニル管

工区: 2工区 補助

路線 番号	区間		区間距離 (m) m	掘削深			木矢板				軽量鋼矢板Ⅱ型 [建込み] ※根入は20cm程度			軽量鋼矢板Ⅲ型 [打込み]						支保工				
	下流	上流		下流	上流	平均	L=1.50	L=1.80	L=2.10	L=1.50	L=2.00	L=2.50(1段)	L=2.50(2段)	L=3.00	L=2.00	L=2.50	L=3.00	L=3.50	L=4.00	L=4.50	2.0m以下	2.0<h≤3.5		
																					1段	2段		
																						m	m	
2278-2	M-7	M-8	3.50	2.16	2.23	2.20							3.50										3.50	
2238	M-8	M-9	3.20	2.21	1.86	2.04							3.20										3.20	
			7.80	2.21	1.86	2.04							7.80										7.80	
			2.00	2.21	1.86	2.04							2.00										2.00	
2236	M-9	M-10	1.00	1.44	2.18	1.81						1.00										1.00		
			26.00	1.44	2.18	1.81						26.00										26.00		
	M-10	M-11	28.00	1.84	2.29	2.07							28.00										28.00	
	M-11	M-12	30.00	2.29	2.45	2.37							30.00										30.00	
	M-12	M-13	28.00	2.43	2.39	2.41							28.00										28.00	
	M-13	M-14	27.00	2.37	2.16	2.27							27.00										27.00	
			1.00	2.37	2.16	2.27							1.00										1.00	
2225	M-14	M-15	3.40	1.30	1.64	1.47																		
			28.60	1.30	1.64	1.47																		
	M-15	M-16	49.00	1.54	1.51	1.53						49.00											49.00	
			1.00	1.54	1.51	1.53						1.00											1.00	
2224	M-16	M-17	4.30	1.49	1.94	1.72						4.30											4.30	
			41.00	1.49	1.94	1.72						41.00											41.00	
			1.00	1.49	1.94	1.72						1.00											1.00	
2218	M-17	M-18	4.50	1.92	2.00	1.96						4.50											4.50	
2235	M-14	M-38	4.30	2.14	2.12	2.13							4.30										4.30	
2233	M-38	M-39	24.00	2.10	2.08	2.09							24.00										24.00	
2231	M-39	M-40-1	36.60	2.06	1.95	2.01							36.60										36.60	
	M-40	M-40	1.60	1.95	1.96	1.96						1.60											1.60	
	合計		356.80									96.30	33.10	137.40	58.00								129.40	195.40

数量総括表

組立0号マンホール設置工

工区:

2工区 補助

名称	種別	規格	単位	数量	備考
組立0号マンホール設置工			個所	5	平均人孔深=1.93m
マンホール鉄蓋	T-14		組	5	
	T-25		組	0	
調整金具	h=25mm		個	3	
	h=45mm		個	2	
調整リング	H=5cm		個	2	
	H=10cm		個	1	
	H=15cm		個	2	
斜壁ブロック	H=30cm	600×750	個	1	
	H=45cm	600×750	個	3	
	H=60cm	600×750	個	1	
直壁ブロック	H=30cm	φ750	個	1	
	H=60cm	φ750	個	1	
	H=90cm	φ750	個	0	
躯体ブロック	H=60cm	φ750	個	0	
	H=90cm	φ750	個	1	
	H=120cm	φ750	個	3	
	H=150cm	φ750	個	1	
	H=180cm	φ750	個	0	
底版ブロック			個	5	
削孔工	φ200		個所	5	
	φ150		個所	1	
内副管設置工	平均副管高=1.31m		箇所	1	

数量総括表

組立1号マンホール設置工

工区:

2工区 補助

名称	種別	規格	単位	数量	備考
組立1号マンホール設置工			箇所	11	平均人孔深=2.55m
マンホール鉄蓋	T-14		組	7	
	T-25		組	4	
調整金具	h=25mm		個	5	
	h=45mm		個	6	
調整リング	H=5cm		個	3	
	H=10cm		個	4	
	H=15cm		個	4	
斜壁ブロック	H=30cm	600×900	個	0	
	H=45cm	600×900	個	7	
	H=60cm	600×900	個	4	
直壁ブロック	H=30cm	φ900	個	1	
	H=60cm	φ900	個	3	
躯体ブロック	H=60cm	φ900	個	0	
	H=90cm	φ900	個	0	
	H=120cm	φ900	個	4	
	H=150cm	φ900	個	6	
	H=180cm	φ900	個	1	
	H=210cm	φ900	個	0	
底版ブロック			個	11	
削孔工	φ200		個	10	
	φ150 取付管		個	1	
内副管設置工	平均副管高=0.66m		箇所	3	

塩ビマンホール集計表

工区：2工区 補助

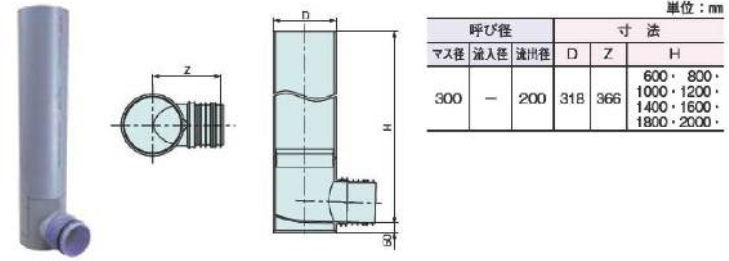
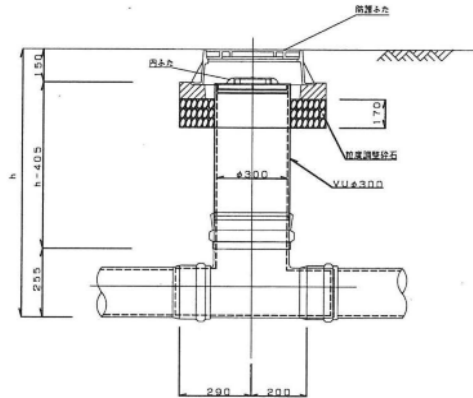
名 称	種 別	単 位	数 量	小運搬数量	備 考	
塩ビマンホール設置		箇所	2			
鉄蓋	T-8	個	0			
	T-14	個	2			
沈下防止板		個	2			
直管(立管)	VUPE φ 300 × 4.0m	本	2			
マンホール本体	ST	個	1			
	15L右	個	0			
	15L左	個	1			
	30L右	個	0			
	30L左	個	0			
	45L右	個				
	45L左	個				
	60L右	個				
	60L左	個	0			
	75L右	個				
	75L左	個				
	90右	個	0			
	90左	個	0			
	KT					
		マルチ				
継手類	マルチ継手	個				
	支管 200-150	個				
	異形ソケット 200-150	個				

塩ビマンホール 集計表 工区：2工区 補助

マンホール No	深さ (m)	本体															立管		マルチ 躯体高 (m)	マルチ 継手 個	支管 200-150 個	異径 ソケット 個	蓋		沈下 防止板 個	備考			
		ST 個	15右 個	15左 個	30右 個	30左 個	45右 個	45左 個	60右 個	60左 個	75右 個	75左 個	90右 個	90左 個	KT 個	マルチ 個	控除長 (m)	立管長 (m)					T-8 組	T14 組					
M-11	2.19	1														0.405	1.79										1	1	
M-40-1	1.85			1												0.405	1.45										1	1	
合計	4.04	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.23										0	2	2	

立て管 $3.23 \div 4.00 = 0.81$ (m)
2 (本)

マンホール躯体高はすべて0.3m
マルチ躯体高は0.6~2.0mまで0.2mピッチ
※右左は下流から見て



※DRマルチマンホールの最小段差は5cmとする

品名(略号・サイズ)	バターン	方向	適合規格 K-13 PRP	品番	価格(個)	梱包数
KDRS-PRP 150-300	-	-	●●	RHGS3HC	8,700円	2
KDRS-PRP 200-300	-	-	●●	RHGS3HD	11,400円	2

受注生産

サイズ	寸法	
	L	Z
150-300	106	50
200-300	114	50

▲注意 製品の隅はエラストマーをご使用ください

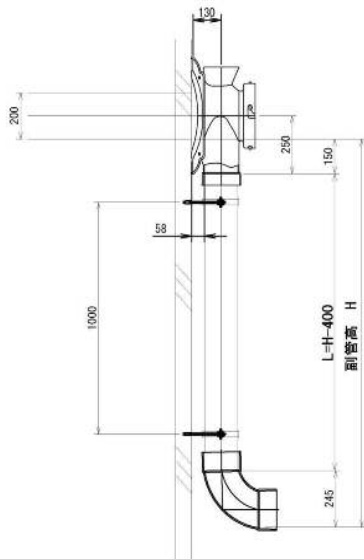
内副管設置工 数量計算書

工区: 2工区 補助

箇所= 2

平均副管高= 0.78 (m)

マンホールNo	単位	M-14	M-18			合計
高さ	m	0.86	0.70			1.56
PE管	控除長	m	0.40	0.40		
	管長	m	0.46	0.30		
1号副管用90° 支管 200-150	個	1	1			2
0号副管用90° 支管 200-150	個					0
カラー継手 φ 150	個					0
90° 曲管 φ 150	個	1	1			2
固定バンド φ 150	個	2	2			4
						0



※副管設置は流入側工区で計上する。

※固定バンド間隔は1m

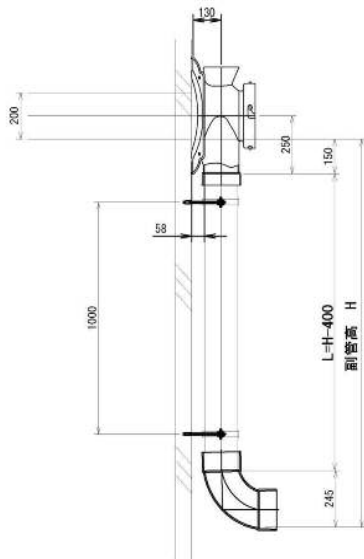
内副管設置工 数量計算書

工区: 2工区 補助

箇所= 1

平均副管高= 1.63 (m)

マンホールNo	単位	M-155				合計
高さ	m	1.63				1.627
PE管	控除長	m	0.40			
	管長	m	1.23			
1号副管用90° 支管 150-100	個	1				1
0号副管用90° 支管 150-100	個					0
カラー継手 φ100	個					0
90° 曲管 φ100	個	1				1
固定バンド φ100	個	3				3
						0



※副管設置は流入側工区で計上する。

※固定バンド間隔は1m

取付管数量総括表

材料・土工舗装・土留

工区：2工区 補助

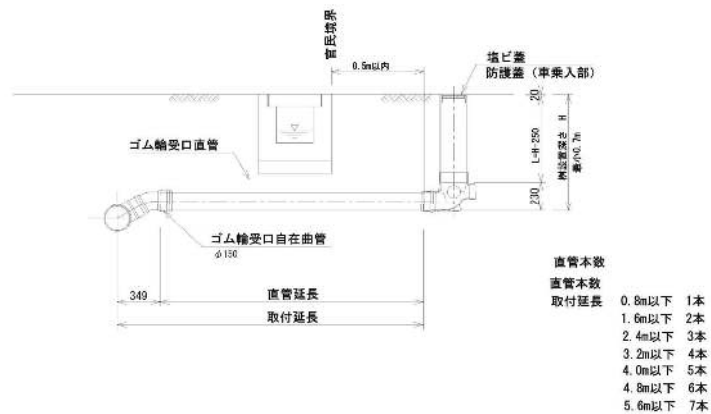
名称	内 訳	単位			
柵蓋	塩ビ蓋	(個)	15		
	防護蓋	(個)	1		
	取付延長	(m)	41.40		
取付管材	SRB (0.8m)	(個)	49		
	90° SRV	(個)	14		
	30° SR	(個)	14		
柵関連材料	公共柵A	(個)	15		
	公共柵B	(個)	0		
	PE200	(m)	12.85		
	PE150	(m)	0		
	90° SR	(個)	0		
土工	掘削	m ³	28.98		
	中詰砂	m ³	6.51		
	埋戻	m ³	23.38		
	残土	m ³	7.25		
舗装	舗装面積	m ²	23.7		
土留工	土留矢板 H=2.0	m	2.92		
	土留矢板 H=2.5	m			
	土留矢板 H=3.0	m			

公共樹及び取付管材料(φ150mm) タイプA

工区: 2工区 補助

路線 マンホールNo	樹位置 左右 上流から	家屋名	宅内から 流入深さ (m)	樹深さ (m)	樹蓋		取付延長 L (m)	接続 支管 人孔直	樹関連材料				備考		
					塩ビ蓋 (個)	防護蓋 (個)			公共樹A (個)	公共樹B (個)	PE200 (m)	PE150 (m)		90° SR (個)	
M-38	M-39	左	西本国繁	0.57	0.70	1		3.2	支管	1		0.45			
		左	阿波村(空家)	0.70	0.70	1		3.2	支管	1		0.45			
		右	武田治郎	0.58	0.70	1		1.9	支管	1		0.45			
M-39	M-40	左	堀友	0.67	0.70	1		2.9	支管	1		0.45			
		左	森岡(駐)	0.58	0.70	1		2.9	支管	1		0.45			
		右	小島	0.63	0.70	1		2.2	支管	1		0.45			
		右	金澤節生	0.73	0.80	1		2.2	支管	1		0.55			
		右	金澤(空)	0.60	0.70	1		2.2	支管	1		0.45			
M-8	~	M-9	右	元谷	1.50	1.50	1		2.3	支管	1		1.25		
M-9	~	M-10	右	倉本	1.70	1.70	1		2.3	支管	1		1.45		
			右	長矢	1.70	1.70	1		2.3	支管	1		1.45		
			右	生信	1.70	1.70	1		2.3	人孔直	1		1.45		
M-15	M-16	右	阿波	1.30	1.30	1		2.3	支管	1		1.05			
		右	堂面(駐)	1.40	1.40	1		2.3	支管	1		1.15			
M-16	M-17	右	本長寺 こども園	1.60	1.60	1		2.3	支管	1		1.35			
M-131	M-155	左	竹原小学校	2.26	3.33		1	4.6	人孔直						0号組立人孔
合計						15	1	41.4		15	0	12.85			

- ・標準樹の深さは0.7m
- ・取付延長は宅内0.5mを加えた距離
- ・90° SR・・・公共樹Bタイプの90° 曲管
- ・PEφ150・・・公共樹Bタイプの立上り管 PE長さ=樹深さ-0.25
- ・SRB本数=L ÷ 0.8



汚水柵取付管計算書

工区: 2工区 補助

路線 マンホールNo	柵位置 左右 上流から	路線-人孔 管上流 管下流	舗装 区分	本管 現状 土被り H	柵 深さ d	取付 管径 φm	取付管 延長 L	本管 掘削幅 箇所当 W'	本管部 控除 延長 W1=W/2	本管平均 掘削深 H	除数 h'	取付管 掘削深 H-h'	土工係数 α 1.2m未満	掘削 体積 V'	砂中詰 0.157×L (m3)	埋戻土量				残土 中詰分 0.175×L (m3)	舗装 延長 L	舗装 幅 W	舗装 厚 t	路盤 厚 t3	舗装 面積 A=L2*W	山留工							
																土留延長 Lo=L×r	山留 係数 r	平均 掘削深 h=(h+1.5)/2	土留矢板														
																			1.5							2.0	2.5	3.0					
M-38	~ M-39	左	西本国繁	1.59	0.70	0.15	3.20	0.95	0.48	1.89	0.21	1.68	0.83	0.70	2.24	0.5	1.30	0.80	1.79	0.56	2.73	0.7	0.05	0.2	1.91	0.58	0.18	1.59		0.58			
		左	阿波村(空家)	1.59	0.70	0.15	3.20	0.95	0.48	1.89	0.21	1.68	0.83	0.70	2.24	0.5	1.30	0.80	1.79	0.56	2.73	0.7	0.05	0.2	1.91	0.58	0.18	1.59		0.58			
		右	武田治郎	1.59	0.70	0.15	1.90	0.95	0.48	1.89	0.21	1.68	0.83	0.70	1.33	0.3	1.30	0.80	1.06	0.33	1.43	0.7	0.05	0.2	1	0.34	0.18	1.59		0.34			
M-39	~ M-40	左	堀友	1.25	0.70	0.15	2.90	0.95	0.48	1.55	0.21	1.34	0.71	0.70	2.03	0.46	1.30	0.80	1.62	0.51	2.43	0.7	0.05	0.2	1.7	-0.73	-0.25	1.42					
		左	森岡(駐)	1.25	0.70	0.15	2.90	0.95	0.48	1.55	0.21	1.34	0.71	0.70	2.03	0.46	1.30	0.80	1.62	0.51	2.43	0.7	0.05	0.2	1.7	-0.73	-0.25	1.42					
		右	小島	1.25	0.70	0.15	2.20	0.95	0.48	1.55	0.21	1.34	0.71	0.70	1.54	0.35	1.30	0.80	1.23	0.39	1.73	0.7	0.05	0.2	1.21	-0.55	-0.25	1.42					
		右	金澤節生	1.25	0.80	0.15	2.20	0.95	0.48	1.55	0.21	1.34	0.71	0.70	1.54	0.35	1.30	0.80	1.23	0.39	1.73	0.7	0.05	0.2	1.21	-0.55	-0.25	1.42					
		右	金澤(空)	1.25	0.70	0.15	2.20	0.95	0.48	1.55	0.21	1.34	0.71	0.70	1.54	0.35	1.30	0.80	1.23	0.39	1.73	0.7	0.05	0.2	1.21	-0.55	-0.25	1.42					
M-8	~ M-9	右	元谷	1.74	1.50	0.15	2.30	0.95	0.48	2.04	0.21	1.83	0.89	0.70	1.61	0.36	1.30	0.81	1.30	0.40	1.83	0.7	0.06	0.18	1.28	0.67	0.29	1.67		0.67			
M-9	~ M-10	右	倉本	1.51	1.70	0.15	2.30	0.95	0.48	1.81	0.21	1.60	0.81	0.70	1.61	0.36	1.30	0.82	1.32	0.40	1.83	0.7	0.08	0.15	1.28	0.25	0.11	1.55		0.25			
		右	長矢	1.51	1.70	0.15	2.30	0.95	0.48	1.81	0.21	1.60	0.81	0.70	1.61	0.36	1.30	0.81	1.30	0.40	1.83	0.7	0.06	0.18	1.28	0.25	0.11	1.55		0.25			
		右	生信	1.51	1.70	0.15	2.30	0.95	0.48	1.81	0.21	1.60	0.81	0.70	1.61	0.36	1.30	0.81	1.30	0.40	1.83	0.7	0.06	0.18	1.28	0.25	0.11	1.55		0.25			
M-15	~ M-16	右	阿波	1.23	1.30	0.15	2.30	0.95	0.48	1.53	0.21	1.32	0.71	0.70	1.61	0.36	1.32	0.84	1.35	0.40	1.83	0.7	0.08	0.15	1.28	-0.67	-0.29	1.41					
		右	堂面(駐)	1.23	1.40	0.15	2.30	0.95	0.48	1.53	0.21	1.32	0.71	0.70	1.61	0.36	1.32	0.83	1.34	0.40	1.83	0.7	0.06	0.18	1.28	-0.67	-0.29	1.41					
M-16	~ M-17	右	本長寺 どもも園	1.42	1.60	0.15	2.30	0.95	0.48	1.72	0.21	1.51	0.77	0.70	1.61	0.36	1.30	0.82	1.32	0.40	1.83	0.7	0.08	0.15	1.28	0.02	0.01	1.51					
M-131	M-155	左	竹原小学校	3.70	3.33	0.15	4.60	0.95	0.48	4.00	0.21	3.79	1.57	0.70	3.22	0.72	1.30	0.80	2.58	0.81	4.13	0.7	0.05	0.2	2.89	3.4	0.74	2.65					3.40
			合計	16	19.93		41.4							28.98	6.51	20.84		23.38	7.25					23.7				0	2.92	0		3.4	

・除数・本管φ200は0.21

・土工係数α 本管土被り1.2m 未満は計算 1.2m以上は0.7

※矢板長さは根入れ0.3mは考慮しない

矢板 2m 延長 掘削 埋戻し 砂基礎
2.92 12.25 9.86 2.74

矢板3m 3.4 3.22 2.58 0.72

取付管延長

~3m 13

3~5m 3

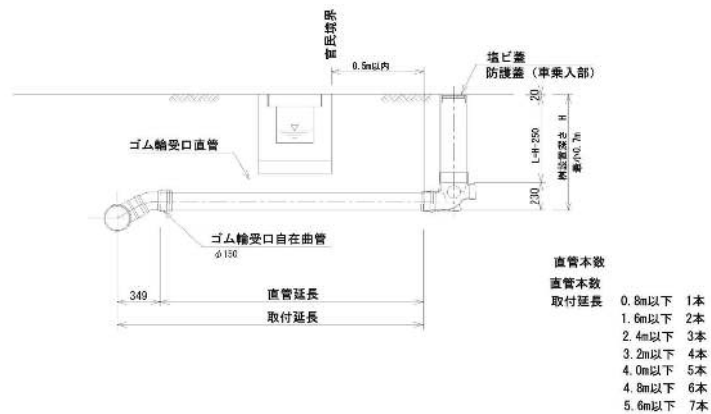
5~12m 0

公共樹及び取付管材料(φ150mm) タイプA

工区: 2工区 補助

路線 マンホールNo	樹位置 左右 上流から	家屋名	宅内から 流入深さ (m)	樹深さ (m)	樹蓋		取付延長 L (m)	接続 支管 人孔直	樹関連材料				備考		
					塩ビ蓋 (個)	防護蓋 (個)			公共樹A (個)	公共樹B (個)	PE200 (m)	PE150 (m)		90° SR (個)	
M-38	M-39	左	西本国繁	0.57	0.70	1		3.2	支管	1		0.45			
		左	阿波村 (空家)	0.70	0.70	1		3.2	支管	1		0.45			
		右	武田治郎	0.58	0.70	1		1.9	支管	1		0.45			
M-39	M-40	左	堀友	0.67	0.70	1		2.9	支管	1		0.45			
		左	森岡 (駐)	0.58	0.70	1		2.9	支管	1		0.45			
		右	小島	0.63	0.70	1		2.2	支管	1		0.45			
		右	金澤節生	0.73	0.80	1		2.2	支管	1		0.55			
		右	金澤 (空)	0.60	0.70	1		2.2	支管	1		0.45			
M-8	~	M-9	右	元谷	1.50	1.50	1		2.3	支管	1		1.25		
M-9	~	M-10	右	倉本	1.70	1.70	1		2.3	支管	1		1.45		
			右	長矢	1.70	1.70	1		2.3	支管	1		1.45		
			右	生信	1.70	1.70	1		2.3	人孔直	1		1.45		
M-15	M-16	右	阿波	1.30	1.30	1		2.3	支管	1		1.05			
		右	堂面 (駐)	1.40	1.40	1		2.3	支管	1		1.15			
M-16	M-17	右	本長寺 とも園	1.60	1.60	1		2.3	支管	1		1.35			
M-131	M-155	左	竹原小学校	2.26	3.33		1	4.6	人孔直						0号組立人孔
合計						15	1	41.4		15	0	12.85			

- ・標準樹の深さは0.7m
- ・取付延長は宅内0.5mを加えた距離
- ・90° SR・・・公共樹Bタイプの90° 曲管
- ・PEφ150・・・公共樹Bタイプの立上り管 PE長さ=樹深さ-0.25
- ・SRB本数=L ÷ 0.8



付帯工 数量総括表

工区

2工区 補助

名称	種別	規格	単位	数量	備考
舗装仮復旧	As5-5-10-30(県道)	As3cm	m ²	26.7	
	As5-10-10(市道)	As3cm	m ²	59.1	
	県道歩道インターロッキング	As3cm	m ²	248.0	
上層路盤	県道部	t=17cm	m ²	26.7	
	市道部	t=12cm	m ²	59.1	
	県道歩道インターロッキング	t=16cm	m ²	248.0	
下層路盤	県道部	t=30cm	m ²	26.7	
	市道部	t=10cm	m ²	59.1	
	県道歩道インターロッキング	t=5cm	m ²	248.0	
舗装切断工	t=10cm(国道)		m	56.6	
	t=5cm(市道)		m	124.4	
	県道歩道インターロック		m	0.0	
舗装版破碎工	t=10cm(県道)		m ²	26.7	
	t=5cm(市道)		m ²	59.1	
インターロッキングブロック	撤去再使用		m ²	248.0	
	撤去再使用		m ²	78.8	視覚障害者誘導ブロック
殻運搬	As殻		m ³	5.6	
	殻処分		t	13.2	
	インターロッキングブロック		m ³	14.9	

視覚障害者誘導用標示 数量

工区

2工区補助

路線番号	延長	面積	備考
	(m)	(m ²)	
2224	41.0	12.3	
2225	49.0	14.7	
	28.6	8.6	
2236	27.0	8.1	
	26.5	8.0	
	28.9	8.7	
	28.0	8.4	
	26.0	7.8	
2238	7.8	2.3	
合計	262.8	78.8	

※誘導板1枚面積 0.3m × 0.3m = 0.09m²

2工区補助 As5-5-10-30

路線番号	番号	平面形状	幅①	幅②	平均幅	延長	面積	舗装切断(m)		舗装殻	備考	
			m	m		m		m	計算			小計
2218	1	四角	0.95	0.95	0.95	4.50	4.28	9.00		9.00	0.43	
2224	2	四角	0.95	0.95	0.95	1.00	0.95	2.00		2.00	0.10	
	2	四角	0.95	0.95	0.95	4.30	4.09	8.60		8.60	0.41	
2225	2	四角	0.95	0.95	0.95	1.00	0.95	2.00		2.00	0.10	
	2	四角	0.86	0.93	0.90	3.40	3.06	6.80		6.80	0.31	
2235	3	四角	0.95	0.95	0.95	4.30	4.09	8.60		8.60	0.41	
2236	4	四角	0.95	0.95	0.95	1.00	0.95	2.00		2.00	0.10	
	4	四角	0.95	0.95	0.95	2.60	2.47	5.20		5.20	0.25	
	4	四角	0.95	0.95	0.95	1.00	0.95	2.00		2.00	0.10	
2238	4	四角	0.95	0.95	0.95	2.00	1.90	4.00		4.00	0.19	
2238	4	四角	0.95	0.95	0.95	3.20	3.04	6.40		6.40	0.30	
小計							26.73			56.60	2.67	

2工区補助 As5-10-10

路線番号	番号	平面形状	幅①	幅②	平均幅	延長	面積	舗装切断(m)		舗装殻	備考	
			m	m		m		m	計算			小計
2231	3	四角	0.95	0.95	0.95	1.60	1.52	3.20		3.20	0.08	
	3	四角	0.95	0.95	0.95	36.60	34.77	73.20		73.20	1.74	
2233	3	四角	0.95	0.95	0.95	24.00	22.80	48.00		48.00	1.14	
小計							59.09			124.40	2.95	

2工区補助 IR6-3-10-5(インターロッキング) 県道歩道通常

路線番号	番号	平面形状	幅①	幅②	平均幅	延長	面積	舗装切断(m)		舗装殻	備考	
			m	m		m		m	計算			小計
2224	2	四角	0.95	0.95	0.95	41.00	38.95			0.00	2.34	
2225	2	四角	0.95	0.95	0.95	49.00	46.55			0.00	2.79	
	2	四角	0.89	0.89	0.89	28.60	25.45			0.00	1.53	
2236	4	四角	0.95	0.95	0.95	27.00	25.65			0.00	1.54	
	4	四角	0.95	0.95	0.95	26.50	25.18			0.00	1.51	
	4	四角	0.95	0.95	0.95	28.90	27.46			0.00	1.65	
	4	四角	0.95	0.95	0.95	28.00	26.60			0.00	1.60	
	4	四角	0.95	0.95	0.95	26.00	24.70			0.00	1.48	
2238	4	四角	0.95	0.95	0.95	7.80	7.41			0.00	0.47	
小計							247.95			0.00	14.90	

2工区 補助 工程表(本管)

鋼材運搬算定表

(補助)

	仮設リース材		備 考
	往路(t)	復路(t)	
軽量鋼矢板(l=2.0)	4.992	4.992	軽量鋼矢板 損料計算書
軽量鋼矢板(l=2.5)	6.240	6.240	軽量鋼矢板 損料計算書
軽量鋼矢板(l=3.0)	7.488	7.488	軽量鋼矢板 損料計算書
軽量鋼矢板(l=3.5)			軽量鋼矢板 損料計算書
軽量金属支保(1段支保)	0.659	0.659	軽量金属支保 損料算定
軽量金属支保(2段支保)	1.317	1.317	軽量金属支保 損料算定
計	20.696	20.696	
合 計	往復路計 20.7 t		

軽量鋼矢板損料計算書

軽量鋼矢板長さ		L=2.0m		1段		
補助延長＝	96.30m	1回当り使用延長＝	30.00m			
単独延長＝		転用回数＝	4回			
全体延長＝	96.30m					
1回当りの重量＝	(30.00m ÷ 0.25) × 2 ×	2.0m	× 10.4 kg/m	=	4992kg	
				=	4.992 t	
全体矢板損料＝	4.992 t	×	20日	×	132円/ t	
補助矢板損料＝	13,178	×	(96.30m ÷	96.30m)	= 13,178 円	
単独矢板損料＝	13,178	−	13,178	=	円	
全体矢板修理損耗費＝	4.992 t	×	{1/2×(4回	+1)}	×	5750円/ t
補助修理損耗費＝	71,760	×	(96.30m ÷	96.30m)	= 71,760 円	
単独修理損耗費＝	71,760	−	71,760	=	円	
全体矢板運搬重量＝	4.992 t					
補助運搬重量＝	4.992 t	×	(96.30m ÷	96.30m)	= 4.992 t	
単独運搬重量＝	4.992 t	−	4.992	=	t	
軽量鋼矢板長さ		L=2.5m		1段		
補助延長＝	33.10m	1回当り使用延長＝	30.00m			
単独延長＝		転用回数＝	2回			
全体延長＝	33.10m					
1回当りの重量＝	(30.00m ÷ 0.25) × 2 ×	2.5m	× 10.4 kg/m	=	6240kg	
				=	6.240 t	
全体矢板損料＝	6.240 t	×	14日	×	132円/ t	
補助矢板損料＝	11,531	×	(33.10m ÷	33.10m)	= 11,531 円	
単独矢板損料＝	11,531	−	11,531	=	円	
全体矢板修理損耗費＝	6.240 t	×	{1/2×(2回	+1)}	×	5750円/ t
補助修理損耗費＝	53,820	×	(33.10m ÷	33.10m)	= 53,820 円	
単独修理損耗費＝	53,820	−	53,820	=	円	
全体矢板運搬重量＝	6.240 t					
補助運搬重量＝	6.240 t	×	(33.10m ÷	33.10m)	= 6.240 t	
単独運搬重量＝	6.240 t	−	6.240	=	t	
軽量鋼矢板長さ		L=2.5m		2段		
補助延長＝	137.40m	1回当り使用延長＝	30.00m			
単独延長＝		転用回数＝	5回			
全体延長＝	137.40m					
1回当りの重量＝	(30.00m ÷ 0.25) × 2 ×	2.5m	× 10.4 kg/m	=	6240kg	
				=	6.240 t	
全体矢板損料＝	6.240 t	×	27日	×	132円/ t	
補助矢板損料＝	22,239	×	(137.40m ÷	137.40m)	= 22,239 円	
単独矢板損料＝	22,239	−	22,239	=	円	
全体矢板修理損耗費＝	6.240 t	×	{1/2×(5回	+1)}	×	5750円/ t
補助修理損耗費＝	107,640	×	(137.40m ÷	137.40m)	= 107,640 円	
単独修理損耗費＝	107,640	−	107,640	=	円	
全体矢板運搬重量＝	6.240 t					
補助運搬重量＝	6.240 t	×	(137.40m ÷	137.40m)	= 6.240 t	
単独運搬重量＝	6.240 t	−	6.240	=	t	

軽量鋼矢板長さ L=3.0m 2段

補助延長 = 58.00m 1回当り使用延長 = 30.00m
単独延長 = 転用回数 = 2回
全体延長 = 58.00m

1回当りの重量 = (30.00m ÷ 0.25) × 2 × L=3.0m × 10.4 kg/m = 7488kg
= 7.488 t

全体矢板損料 = 7.488 t × 17日 × 132円/t = 16,803 円
補助矢板損料 = 16,803 × (58.00m ÷ 58.00m) = 16,803 円
単独矢板損料 = 16,803 - 16,803 = 円

全体矢板修理損耗費 = 7.488 t × {1/2 × (2回 + 1)} × 5750円/t = 64,584 円
補助矢板損料 = 64,584 × (58.00m ÷ 58.00m) = 64,584 円
単独矢板損料 = 64,584 - 64,584 = 円

全体矢板修理損耗費 = 7.488 t
補助運搬重量 = 7.488 t × (58.00m ÷ 58.00m) = 7.488 t
単独運搬重量 = 7.488 t - 7.488 = t

軽量金属支保材損料算定 1段支保

補助

腹起し 110×130
水圧サポート 70タイプ

矢板長

(参考)
2.0~2.5 m

1. アルミ製腹起し・水圧式サポートの全体賃料計算式は
全体賃料 = 1日1本当り賃料 × 1ブロック当り支保本数 × 供用日数

2. 水圧ポンプ1m当り賃料計算式は
全体賃料 = 1日1台当り賃料 × 供用日数

・アルミ製腹起し1日1本当り賃料及び基本料
1日1本当り賃料(4m/本)
基本料

・水圧式サポート1日1本当り賃料及び基本料
1日1本当り賃料
基本料

・水圧ポンプ1日1台当り賃料及び基本料
1日1本当り賃料
基本料

	2026	P.819	P.297
	建設物価	積算資料	平均価格
68円	68円	68円	68円
500円	500円	500円	500円
110円	110円	110円	110円
500円	500円	500円	500円
154円	158円	150円	154円
500円	500円	500円	500円

※賃料単位は、適時確認する事。

	矢板長		
	2.0m	2.5m	
1ブロック延長	30.00m	30.00m	
支保工本数	15本	15本	0本
供用日数	20日	14日	

全体賃料
アルミ製腹起し = 68円 × (15本 × 20日 + 15本 × 14日 + 0本 × 日) = 34,680 円
水圧式サポート = 110円 × (15本 × 20日 + 15本 × 14日 + 0本 × 日) = 56,100 円
水圧ポンプ = 154円 × (20日 + 14日 + 日) = 5,236 円

基本料
アルミ製腹起し = 15本 × 1段 × 500円 = 7,500円
水圧式サポート = 15本 × 1段 × 500円 = 7,500円
水圧ポンプ = 500円

合計 15,500円

全体延長 = 129.40 m
補助延長 = 129.40 m

補助賃料(腹起し) = 34,680円 × (129.40 ÷ 129.40) = 34,680 円
単独賃料(腹起し) = 34,680円 - 34,680円 = 0 円

補助賃料(水圧サポート) = 56,100円 × (129.40 ÷ 129.4) = 56,100 円
単独賃料(水圧サポート) = 56,100円 - 56,100円 = 0 円

補助賃料(水圧ポンプ) = 5,236円 × (129.40 ÷ 129.4) = 5,236 円
単独賃料(水圧ポンプ) = 5,236円 - 5,236円 = 0 円

補助基本料 = 15,500円 × (129.40 ÷ 129.4) = 15,500 円
単独基本料 = 15,500円 - 15,500円 = 0 円

運搬重量
腹起し材 = 15本 × 38.6kg/本 = 579 kg
サポート材 = 15本 × 5.3kg/本 = 80 kg
重量合計 659 kg

補助運搬 = 659kg × (129.40 ÷ 129.4) = 659kg
単独運搬 = 659kg - 659kg = 0kg

軽量金属支保材損料算定 2段支保

補助

腹起し 110×130
水圧サポート 70タイプ

(参考)
矢板長 2.5~3.0 m

1. アルミ製腹起し・水圧式サポートの全体賃料計算式は
全体賃料 = 1日1本当り賃料 × 1ブロック当り支保本数 × 供用日数

2. 水圧ポンプ1m当り賃料計算式は
全体賃料 = 1日1台当り賃料 × 供用日数

・アルミ製腹起し1日1本当り賃料及び基本料
1日1本当り賃料(4m/本)
基本料

・水圧式サポート1日1本当り賃料及び基本料
1日1本当り賃料
基本料

・水圧ポンプ1日1台当り賃料及び基本料
1日1本当り賃料
基本料

	建設物価	積算資料	平均価格
68円	68円	68円	68円
500円	500円	500円	500円
110円	110円	110円	110円
500円	500円	500円	500円
154円	158円	150円	154円
500円	500円	500円	500円

※賃料単位は、適時確認する事。

	矢板長		
	2.5m	3.0m	
1ブロック延長	30.00m	30.00m	
支保工本数	30本	30本	0本
供用日数	27日	17日	

全体賃料
アルミ製腹起し = $68円 \times (30本 \times 27日 + 30本 \times 17日 + 0本 \times 日)$ = 89,760 円
水圧式サポート = $110円 \times (30本 \times 27日 + 30本 \times 17日 + 0本 \times 日)$ = 145,200 円
水圧ポンプ = $154円 \times (27日 + 17日 + 日)$ = 6,776 円

基本料
アルミ製腹起し = $30本 \times 2段 \times 500円$ = 30,000円
水圧式サポート = $30本 \times 2段 \times 500円$ = 30,000円
水圧ポンプ = $500円$ = 500円

合計 60,500円

全体延長 = 195.40 m
補助延長 = 195.40 m

補助賃料(腹起し) = $89,760円 \times (195.40 \div 89,760円)$ = 89,760 円
単独賃料(腹起し) = $89,760円 - 89,760円$ = 0 円
補助賃料(水圧サポート) = $145,200円 \times (195.40 \div 145,200円)$ = 145,200 円
単独賃料(水圧サポート) = $145,200円 - 145,200円$ = 0 円
補助賃料(水圧ポンプ) = $6,776円 \times (195.40 \div 6,776円)$ = 6,776 円
単独賃料(水圧ポンプ) = $6,776円 - 6,776円$ = 0 円
補助基本料 = $60,500円 \times (195.40 \div 60,500円)$ = 60,500 円
単独基本料 = $60,500円 - 60,500円$ = 0 円
運搬重量 腹起し材 = 30本 × 38.6kg/本 = 1158 kg
サポート材 = 30本 × 5.3kg/本 = 159 kg
重量合計 1317 kg
補助運搬 = $1317kg \times (195.40 \div 1317kg)$ = 1317kg
単独運搬 = $1317kg - 1317kg$ = 0kg

工程表（軽量鋼矢板）

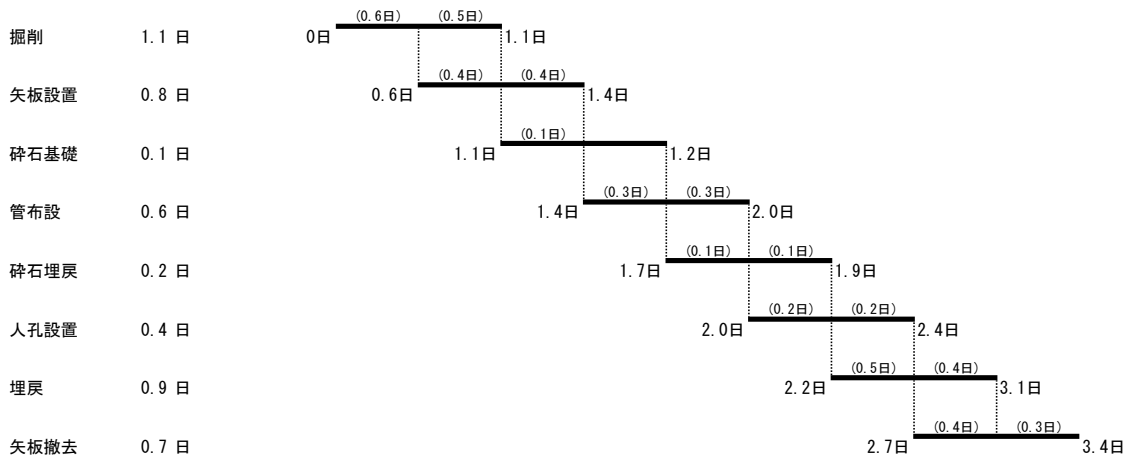
◎矢板の種類	軽量鋼矢板（10.4kg/m）	◎矢板長	L=2.50m B=0.25m	1段	
◎転用回数	2回	◎不稼働率	1.70	◎水替路線延長	L=33.10m
◎人孔全体数	3基	◎17'ロック延長	L=30.0m	◎転用回数（水替路線）	2回
塩ビ人孔	1基	◎17'ロック重量	6.24 t		
組立0号					
組立1号	2基				

◎算出諸元

水替 有無	路線番号	人孔（基）			路線延長 (m)	管体延長 (m)	掘削幅 (m)	掘削工（m ³ ）			砕石基礎 (m ³)	砕石埋戻 (m ³)	埋戻工（m ³ ）			備考
		塩ビ製	組立0号	組立1号				BH0.10m3	BH0.20m3	BH0.35m3			BH0.10m3	BH0.20m3	BH0.35m3	
有り		1		2	33.10	30.80	0.95			55.7	2.9	7.8			36.3	
	計	1		2	33.10	30.80	0.95			55.7	2.9	7.8			36.3	

		全体数量	1回当り数量 全体/転用回数	日当り施工量	実働日数	供用日数
・掘削	BH0.10m3	m3	m3	32 m3	日	日
	BH0.20m3	55.7 m3	27.9 m3	下歩掛P.14 43 m3	0.65 日	1.1 日
	BH0.35m3	m3	m3	下歩掛P.14 60 m3	日	日
・矢板設置		33.10 m	16.55 m	下歩掛P.14 33.9 m	0.49 日	0.8 日
				下歩掛P.37		
・砕石基礎		2.9 m3	1.5 m3	33 m3	0.05 日	0.1 日
・管布設		30.80 m	15.4 m	下歩掛P.18 45.5 m	0.34 日	0.6 日
				下歩掛P.26		
・砕石埋戻		7.8 m3	3.9 m3	33 m3	0.12 日	0.2 日
				下歩掛P.18		
・人孔設置	塩ビ人孔	1 基	0.5 基	25 基	0.02 日	日
	組立0号	基	基	下歩掛（参）P.14 5 基	日	日
	組立1号	2 基	1.0 基	下歩掛（参）P.12 4 基	0.25 日	0.4 日
・埋戻	BH0.10m3	m3	m3	33 m3	日	日
	BH0.20m3	36.3 m3	18.1 m3	下歩掛P.18 33 m3	0.55 日	0.9 日
	BH0.35m3	m3	m3	下歩掛P.18 33 m3	日	日
・矢板撤去		33.10 m	16.55 m	下歩掛P.18 40 m	0.41 日	0.7 日
				下歩掛P.37		

【工程表】



補助延長 = 33.10	単独延長 = 3.4日 × 2回	= 6.8日	= 7日	補助 7日	単独
全体工期					
矢板賃料日数	{0.8日/2 + (2.7日 - 1.4日) + 0.7日/2} × 2回 + 5 + 4	= 13.1日	= 14日	14日	
水替	{(2.7日 - 0.6日) × 2回} / 1.70	= 2.5日	= 3日	3日	
交通整理員	6.8日 × 3人	= 20.4人	= 21人	21人	

工程表（軽量鋼矢板）

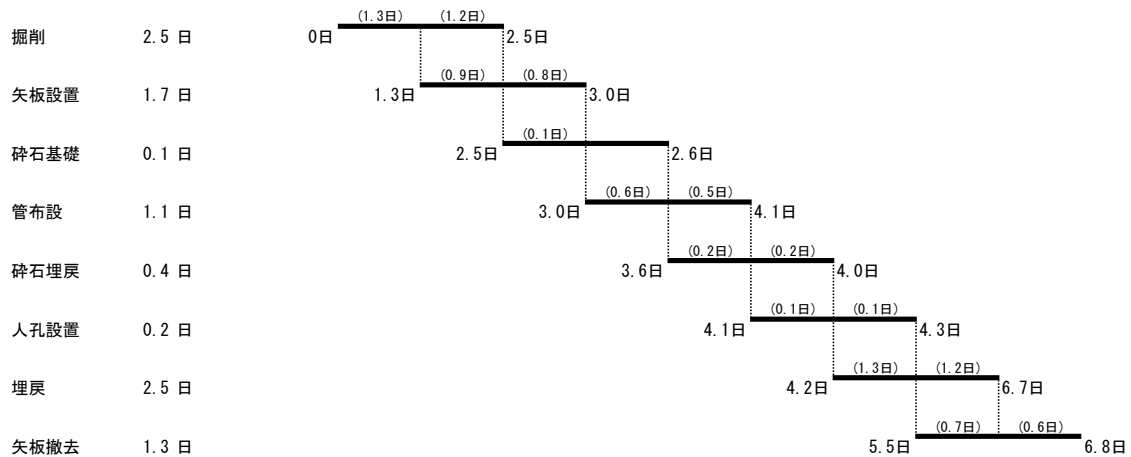
◎矢板の種類 軽量鋼矢板（10.4kg/m） ◎矢板長 L=3.0m B=0.25m 2段
 ◎転用回数 2回 ◎不稼働率 1.70 ◎水替路線延長 L=58.0m
 ◎人孔全体数 2基 ◎17'ロツク延長 L=30.0m ◎転用回数（水替路線） 2回
 塩ビ人孔 1基
 組立0号 1基
 組立1号 ◎17'ロツク重量 7.488 t

◎算出諸元

水替 有無	路線番号	人孔（基）			路線延長 (m)	管体延長 (m)	掘削幅 (m)	掘削工 (m ³)			碎石基礎 (m ³)	碎石埋戻 (m ³)	埋戻工 (m ³)			備考
		塩ビ製	組立0号	組立1号				BH0.10m3	BH0.20m3	BH0.35m3			BH0.10m3	BH0.20m3	BH0.35m3	
有		1	1		58.00	56.68	0.95		128.4		5.4	14.4		96.4		
	計	1	1		58.00	56.68			128.4		5.4	14.4		96.4		

		全体数量	1回当り数量 全体/転用回数	日当り施工量	実働日数	供用日数
・掘削	BH0.10m3	m3	m3	32 m3	日	日
	BH0.20m3	128.4 m3	64.2 m3	下歩掛P.14 43 m3	1.49 日	2.5 日
	BH0.35m3	m3	m3	下歩掛P.14 60 m3	日	日
・矢板設置		58.00 m	29 m	下歩掛P.14 29.7 m	0.98 日	1.7 日
				下歩掛P.37 33 m3	0.08 日	0.1 日
・碎石基礎		5.4 m3	2.7 m3	下歩掛P.18 33 m3	0.08 日	0.1 日
・管布設		56.68 m	28.34 m	下歩掛P.18 45.5 m	0.62 日	1.1 日
・碎石埋戻		14.4 m3	7.2 m3	下歩掛P.26 33 m3	0.22 日	0.4 日
				下歩掛P.18 25 基	0.02 日	日
・人孔設置	塩ビ人孔	1 基	0.5 基	下歩掛（参）P.14 5 基	0.10 日	0.2 日
	組立0号	1 基	0.5 基	下歩掛（参）P.12 4 基	日	日
	組立1号	基	基	下歩掛（参）P.12 33 m3	日	日
・埋戻	BH0.10m3	m3	m3	下歩掛P.18 33 m3	1.46 日	2.5 日
	BH0.20m3	96.4 m3	48.2 m3	下歩掛P.18 33 m3	日	日
	BH0.35m3	m3	m3	下歩掛P.18 37 m	0.78 日	1.3 日
・矢板撤去		58.00 m	29 m	下歩掛P.37		

【工程表】



補助延長 = 58.00	単独延長 = 6.8日 × 2回	= 13.6日	= 14日	補助	単独
全体工期				14日	
矢板賃料日数	{1.7日/2 + (5.5日 - 3.0日) + 1.3日/2} × 2回 + 5 + 4	= 17.0日	= 17日	17日	
水替	{(5.5日 - 1.3日) × 2回} / 1.70	= 4.9日	= 5日	5日	
交通整理員	13.6日 × 3人	= 40.8人	= 41人	41人	

工程表 (素掘り)

水替無し

(補助)

◎人孔全体数 1基
塩ビ人孔 組立0号 1基
組立1号 1基

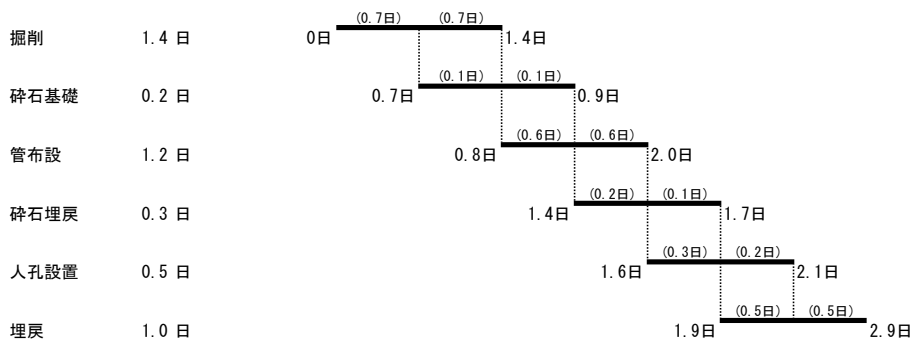
◎不稼働率 1.70

◎算出諸元

路線番号	人孔 (基)			路線延長 (m)	管体延長 (m)	掘削工 (m3)				碎石基礎 (m3)	碎石埋戻	埋戻工 (m3)			
	塩ビ製	組立0号	組立1号			人力	BH0. 10m3	BH0. 20m3	BH0. 35m3			人力	BH0. 10m3	BH0. 20m3	BH0. 35m3
			1	32.00	31.18				33.5	3.0	7.9				19.5
計			1	32.00	31.18				33.5	3.0	7.9				19.5

全体数量			日当り施工量	実働日数	供用日数
・掘削	人力	m3	5.1 m3 国交積P. 45	日 = 日	
	BH0. 10m3	m3	32 m3 下歩掛P. 13	日 = 日	
	BH0. 20m3	33.5 m3	43 m3 下歩掛P. 13	0.8 日 = 1.4 日	
	BH0. 35m3	m3	60 m3 下歩掛P. 13	日 = 日	
・碎石基礎		3.0 m3	33 m3 下歩掛P. 17	0.1 日 = 0.2 日	
・管布設		31.18 m	45.5 m 下歩掛P. 26	0.7 日 = 1.2 日	
・碎石埋戻		7.9 m3	33 m3 下歩掛P. 17	0.2 日 = 0.3 日	
・人孔設置	塩ビ人孔	基	11.1 基 下歩掛P. 78	日 = 日	
	組立0号	基	5 基 下歩掛P. 77	日 = 日	
	組立1号	1 基	4 基 下歩掛P. 77	0.3 日 = 0.5 日	
・埋戻	人力	m3	13 m3 管路施設 (開削) P37	日 = 日	
	BH0. 10m3	m3	33 m3 下歩掛P. 17	日 = 日	
	BH0. 20m3	19.5 m3	33 m3 下歩掛P. 17	0.6 日 = 1.0 日	
	BH0. 35m3	m3	33 m3 下歩掛P. 17	日 = 日	

【工程表】



全体工期		= 2.9 日	= 3 日
交通整理員	2.9 日 × 3人	= 8.7 人	= 9 人

2工区 補助工程表(取付管)

軽量鋼矢板損料計算書

軽量鋼矢板長さ		L=2.0m		1段	
補助延長=	2.92m	1回当り使用延長=	30.00m		
単独延長=		転用回数=	1回		
全体延長=	2.92m				
1回当りの重量=	(30.00m ÷ 0.25) × 2 ×	2.0m	× 10.4 kg/m =	4992kg	
			=	4.992 t	
全体矢板損料=	4.992 t	×	10日	×	132円/ t = 6,589 円
補助矢板損料=	6,589	× (2.92m ÷	2.92m) =	6,589 円
単独矢板損料=	6,589	-	6,589	=	円
全体矢板修理損耗費=	4.992 t	× {1/2 × (1回 + 1) } ×	5750円/ t =	28,704 円
補助修理損耗費=	28,704	× (2.92m ÷	2.92m) =	28,704 円
単独修理損耗費=	28,704	-	28,704	=	円
全体矢板運搬重量=	4.992 t				
補助運搬重量=	4.992 t	× (2.92m ÷	2.92m) =	4.992 t
単独運搬重量=	4.992 t	-	4.992	=	t
軽量鋼矢板長さ		L=3.0m			
補助延長=	3.40m	1回当り使用延長=	30.00m		
単独延長=		転用回数=	1回		
全体延長=	3.40m				
1回当りの重量=	(30.00m ÷ 0.25) × 2 ×	L=3.0m	× 10.4 kg/m =	7488kg	
			=	7.488 t	
全体矢板損料=	7.488 t	×	10日	×	132円/ t = 9,884 円
補助矢板損料=	9,884	× (3.40m ÷	3.40m) =	9,884 円
単独矢板損料=	9,884	-	9,884	=	円
全体矢板修理損耗費=	7.488 t	× {1/2 × (1回 + 1) } ×	5750円/ t =	43,056 円
補助矢板損料=	43,056	× (3.40m ÷	3.40m) =	43,056 円
単独矢板損料=	43,056	-	43,056	=	円
全体矢板修理損耗費=	7.488 t				
補助運搬重量=	7.488 t	× (3.40m ÷	3.40m) =	7.488 t
単独運搬重量=	7.488 t	-	7.488	=	t

軽量金属支保材損料算定 1段支保

補助

腹起し 110×130
水圧サポート 70タイプ

矢板長

(参考)
2.0~2.5 m

1. アルミ製腹起し・水圧式サポートの全体賃料計算式は
全体賃料 = 1日1本当り賃料 × 1ブロック当り支保本数 × 供用日数

2. 水圧ポンプ1m当り賃料計算式は
全体賃料 = 1日1台当り賃料 × 供用日数

・アルミ製腹起し1日1本当り賃料及び基本料
1日1本当り賃料(4m/本)
基本料

・水圧式サポート1日1本当り賃料及び基本料
1日1本当り賃料
基本料

・水圧ポンプ1日1台当り賃料及び基本料
1日1本当り賃料
基本料

	2024	P.819	P.297
	建設物価	積算資料	平均価格
68円	68円	68円	68円
500円	500円	500円	500円
110円	110円	110円	110円
500円	500円	500円	500円
154円	158円	150円	154円
500円	500円	500円	500円

※賃料単位は、適時確認する事。

	矢板長		
	2.0m	2.5m	
1ブロック延長	30.00m		
支保工本数	15本	0本	0本
供用日数	10日		

全体賃料
アルミ製腹起し = 68円 × (15本 × 10日 + 0本 × 日 + 0本 × 日) = 10,200 円
水圧式サポート = 110円 × (15本 × 10日 + 0本 × 日 + 0本 × 日) = 16,500 円
水圧ポンプ = 154円 × (10日 + 日 + 日) = 1,540 円

基本料
アルミ製腹起し = 15本 × 1段 × 500円 = 7,500円
水圧式サポート = 15本 × 1段 × 500円 = 7,500円
水圧ポンプ = 500円

合計 15,500円

全体延長 = 2.92 m
補助延長 = 2.92 m

補助賃料(腹起し) = 10,200円 × (2.92 ÷ 2.92) = 10,200 円
単独賃料(腹起し) = 10,200円 - 10,200円 = 0 円

補助賃料(水圧サポート) = 16,500円 × (2.92 ÷ 2.92) = 16,500 円
単独賃料(水圧サポート) = 16,500円 - 16,500円 = 0 円

補助賃料(水圧ポンプ) = 1,540円 × (2.92 ÷ 2.92) = 1,540 円
単独賃料(水圧ポンプ) = 1,540円 - 1,540円 = 0 円

補助基本料 = 15,500円 × (2.92 ÷ 2.92) = 15,500 円
単独基本料 = 15,500円 - 15,500円 = 0 円

運搬重量
腹起し材 = 15本 × 38.6kg/本 = 579 kg
サポート材 = 15本 × 5.3kg/本 = 80 kg
重量合計 = 659 kg

補助運搬 = 659kg × (2.92 ÷ 2.92) = 659kg
単独運搬 = 659kg - 659kg = 0kg

軽量金属支保材損料算定 2段支保

補助

腹起し 110×130
水圧サポート 70タイプ

矢板長

(参考)
2.5~3.0 m

1. アルミ製腹起し・水圧式サポートの全体賃料計算式は
全体賃料 = 1日1本当り賃料 × 1ブロック当り支保本数 × 供用日数

2. 水圧ポンプ1m当り賃料計算式は
全体賃料 = 1日1台当り賃料 × 供用日数

・アルミ製腹起し1日1本当り賃料及び基本料
1日1本当り賃料(4m/本)
基本料

・水圧式サポート1日1本当り賃料及び基本料
1日1本当り賃料
基本料

・水圧ポンプ1日1台当り賃料及び基本料
1日1本当り賃料
基本料

	建設物価	積算資料	平均価格
68円	68円	68円	68円
500円	500円	500円	500円
110円	110円	110円	110円
500円	500円	500円	500円
154円	158円	150円	154円
500円	500円	500円	500円

※賃料単位は、適時確認する事。

	矢板長		
	2.5m	3.0m	
1ブロック延長		30.00m	
支保工本数	0本	30本	0本
供用日数		10日	

全体賃料
アルミ製腹起し = $68円 \times (0本 \times 日 + 30本 \times 10日 + 0本 \times 日)$ = 20,400 円
水圧式サポート = $110円 \times (0本 \times 日 + 30本 \times 10日 + 0本 \times 日)$ = 33,000 円
水圧ポンプ = $154円 \times (日 + 10日 + 日)$ = 1,540 円

基本料
アルミ製腹起し = $30本 \times 2段 \times 500円$ = 30,000円
水圧式サポート = $30本 \times 2段 \times 500円$ = 30,000円
水圧ポンプ = $500円$ = 500円

合計 60,500円

全体延長 = 3.40 m
補助延長 = 3.40 m

補助賃料(腹起し) = $20,400円 \times (3.40 \div 3.40) = 20,400 円$
単独賃料(腹起し) = $20,400円 - 20,400円 = 0 円$

補助賃料(水圧サポート) = $33,000円 \times (3.40 \div 3.40) = 33,000 円$
単独賃料(水圧サポート) = $33,000円 - 33,000円 = 0 円$

補助賃料(水圧ポンプ) = $1,540円 \times (3.40 \div 3.40) = 1,540 円$
単独賃料(水圧ポンプ) = $1,540円 - 1,540円 = 0 円$

補助基本料 = $60,500円 \times (3.40 \div 3.40) = 60,500 円$
単独基本料 = $60,500円 - 60,500円 = 0 円$

運搬重量 腹起し材 = $30本 \times 38.6kg/本 = 1158 kg$
サポート材 = $30本 \times 5.3kg/本 = 159 kg$

重量合計 1317 kg

補助運搬 = $1317kg \times (3.40 \div 3.4) = 1317kg$
単独運搬 = $1317kg - 1317kg = 0kg$

数量総括表

(補助：推進)

項目 (レベル1)	工種 (レベル2)	種別 (レベル3)	種別 (レベル4)	細別 (レベル5)	積算要素 (レベル6)	単位	計算数量	設計数量	備考
(小口径推進工法) 管路施設									
	管きよ工 (小口径推進)								
		鋼製さや管工法							
			推進用 鋼管	推進用鋼管		式	1.0	1	推進延長45.5m
			発生土処理	汚泥吸排車運転費		m3	5.9	6	
				投棄料	建設汚泥費	m3	5.9	6	
			挿入用塩ビ管	推進用硬質塩ビ管		m	47.2	47	
				推進用硬質塩ビ管		本	1.0	1	
				スペーサー		個	37.0	37	
				塩ビ管挿入工		m	47.2	47.2	
			中込め	中込注入工		m3	3.8	3.8	
		立坑内管布設工							
			硬質塩化ビニル管	硬質塩化ビニル管布設工		m	1.7	1.7	
		仮設備工 (小口径)							
			坑口 (小口径)	坑口工		箇所	4.0	4	
			鏡切り	鏡切り工		箇所	4.0	4	
			推進設備等設置撤去	推進設備工		箇所	1.0	1	
				推進設備据替工		箇所	1.0	1	
				先導体据付撤去工		台	2.0	2	
				先導体搬出工		台	1.0	1	
			中込注入設備工	中込注入設備工		箇所	1.0	1	
		送・排泥設備工							
			送・排泥設備 (小口径泥水)	送排泥管設置撤去工		式	1.0	1	
				送泥ポンプ据付撤去工		台	1.0	1	
				排泥ポンプ据付撤去工		台	1.0	1	
				計測機器類設置撤去工		箇所	1.0	1	
				ポンプ及び計測機器類 機械器具損料等		式	1.0	1	

数量総括表

(補助：推進)

項目 (レベル1)	工種 (レベル2)	種別 (レベル3)	種別 (レベル4)	細別 (レベル5)	積算要素 (レベル6)	単位	計算数量	設計数量	備考
		泥水処理設備工							
			泥水処理設備 (小口径)	泥水プラント据付撤去工		箇所	1.0	1	
				処理設備付帯作業工		箇所	1.0	1	
				処理設備機械器具損料等		式	1.0	1	
				作泥材		式	1.0	1	
		補助地盤改良工							
			薬液注入	薬液注入工	M-130 (上流坑口部)	本	2.0	2	
				薬液注入工	M-131 (下流坑口部)	本	4.0	4	
				薬液注入工	M-131 (上流坑口部)	本	4.0	4	
				薬液注入工	M-157 (下流坑口部)	本	2.0	2	
			注入設備据付・解体工	車上		現場	1.0	1	
	立坑工								
		管路土工							
			管路埋戻	機械投入埋戻		m3	4.9	5	1.28+1.18+2.45
			管路埋戻	再生砂		m3	10.1	10	1.71+2.38+6.02
			埋戻土運搬	購入土		m3	6.5	7	4.9*1.2/0.9
				積込		m3	5.46	5	4.9/0.9
				土砂等運搬	10t	m3	5.46	5	
		鋼製ケーシング式土留工及び土工							
			鋼製ケーシング圧入掘削	ケーシング撤去工	Φ1500mm	箇所	2.0	2	撤去長：1.488+1.49m
				ケーシング撤去工	Φ2000mm	箇所	1.0	1	撤去長：1.477m
				スクラップ		t	2.3	2.3	0.694+0.693+0.908
			円形覆工板						
				円形覆工板撤去工	Φ1500mm	箇所	2.0	2	
				円形覆工板撤去工	Φ2000mm	箇所	1.0	1	
				円形覆工板開閉工	Φ1500mm	回	2.0	2	
				円形覆工板開閉工	Φ2000mm	回	25.0	25	
				円形覆工板賃料等	Φ1500mm	式	2.0	2	
				円形覆工板賃料等	Φ2000mm	式	1.0	1	

数量総括表

小口径管推進工法 鋼管推進工法（泥水方式一工程式）

補助

名称	種別	規格	単位	合計	備考
管路延長	VUφ200		m	49.0	
管渠延長	VUφ200		m	47.2	
推進延長	鋼管φ400		m	45.5	
管渠布設延長（立坑内）	VUφ200		m	1.70	
管材					
推進用鋼管	φ400 STK	L=1.20m	本	39	
硬質塩化ビニル管	接着受口片受直管	φ200	m	47.2	47.2/1=47.2≒48本
スパーサー	φ200用		本	37	
推進工					
推進設備工			箇所	1	
推進用機器据換工			箇所	1	
先導管据付・撤去工			箇所	2	推進1スパンに1回計上
泥水設備工					
泥水輸送設備工			箇所	1	
泥水処理設備工			箇所	1	
鏡切工	鋼管ケーシング		箇所	4	
中込注入工			m ³	3.77	
残土処分工					
泥水運搬処理			m ³	5.86	

小口径管推進管渠計算表

1工区 補助 推進工法用鋼管 $\phi 400\text{mm}$ 鋼管推進工法(泥水方式) ロックマンエース工法 数量計算書

路線 番号	立坑番号	路線延長	人孔減長 L1	管体延長	推進延長 L4=L-L2	管渠布設 延長 (立坑内)	接着受口 受口 片受直管 (S U S R)	接着受口 カラー (WTB) (VP用)	鋼管 $\phi 400$ S T K L=1.20m	スペーサー L=1.33間隔	中詰注入工	残土 処分工 V= Va×L4
		L	立坑減長 L2	L3= L-L1	0<N<10 砂質土 粘性土	L5= L2-L1	L=1.33)					
		(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(本)	(本)	個	(m ³)	(m ³)
2262	M-130~M-131	32.65	0.90 1.75	31.75	30.90	0.85	30.75		26	25	2.56	3.99
2298-2	M-131~M-155	16.30	0.90 1.75	15.40	14.55	0.85	14.4		13	12	1.21	1.88
	合計	48.95		47.15	45.45	1.70	45.15	0	39	37	3.77	5.86

備考 1. () 書きは平均値である。

残土処分工

1 m 当り $V a = \pi / 4 \times D 1^2 \times \text{先導管外径}$ $D 1 = 0.406$
 $= 0.129 \text{ m}^3/\text{m}$

中詰モルタル

1 m 当り $\pi / 4 \times (D 1^2 - D 2^2)$
 $= 0.083 \text{ m}^3/\text{m}$

鋼管内径 $D 1 = 0.390$
 塩ビ管外形 $D 2 = 0.216$

仮設備工

φ 400mm

鋼管推進工法(泥水方式一工程式)

ロックマンエース工法

1工区 補助

立坑番号		No. 131 発進立坑		No. 130 到達立坑		No. 155 到達立坑		合計	単位
		下流	上流	下流	上流	下流	上流		
推進設備工	φ 400mm		1					1	箇所
方向転換工	φ 0mm								箇所
先導管据付・撤去工 発進立坑基礎工	φ 400mm	1	1					2	箇所
到達立坑基礎工	φ 400mm								箇所
坑口工 発進側・到達側	φ 400mm	1	1	1	1			4	箇所
既設マンホール到達工	φ 400mm								箇所
泥水設備工									
泥水輸送設備工			1					1	式
泥水処理設備工			1					1	式
鏡切り工 (止水器設置)	φ 400mm ケーシング t = 12mm	1	1	1		1		4	箇所
鏡切り工 (止水器設置)	φ 400mm ライナー t = 2.7mm								箇所
鏡切り工 (止水器設置)	φ 400mm 鋼矢板Ⅱ型								箇所
鏡切り工 (止水器設置)	φ 400mm 鋼矢板Ⅲ型								箇所

鏡切り工 1箇所当たり数量

φ 400mm

ライナー、鋼矢板
ケーシング

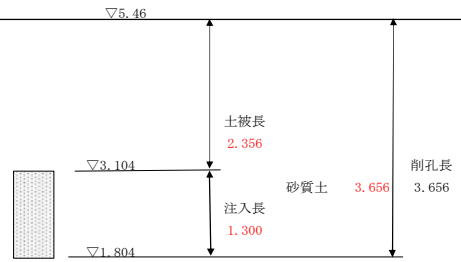
$$L = 1.00 \text{ m}$$

$$L = \pi \times (0.406 + 0.1) = 1.59 \text{ m}$$

M-130 発進立坑 上流坑口部

施工条件 (Bor No. 2)

深度	標高	層厚	土質	N値
-1.0				
-2.0				
-3.0			砂質土	
-4.0				
-5.0				
-6.0				
-7.0				
-8.0				
-9.0				
-10.0				



(1) 薬液注入量の算定(複相方式)

立坑	幅 W(m)	延長 L(m)	面積 A(m ²)	溶液型						
				土質	N値	注入率 %	高さ H(m)	対象土量 (m ³)	薬液量 V(kl)	
	1.30	1.00	1.30							
				粘性土						
					0~4	28.00				
				4~8	24.00					
				砂質土						
					0~30	40.50	1.300	1.690	0.684	
				30以上	31.50					
				粘性土						
					0~50	40.00				
				50以上	28.00					
合計							1.300	1.690	0.684	

薬液注入本数 = 2 (本)
 1本当たりの薬液注入量 $Q_s = V \div P = 0.342$ (kl)

(2) 1本当たりの施工時間 (T s)

機械準備時間 (T1) (分) 14

削孔時間 (T2) 18.3

削孔時間 = 作業時間 × 削孔長

土質	作業時間	削孔長(m)	削孔時間
レキ質土	8		0.0
砂質土	5	3.656	18.3
粘性土	4		0.0
合計		3.656	18.3

注入時間 (T3) (分) 21.4

注入時間 = $Q_s \div q_s$

1本当り注入量 Q_s	時間当り注入量 q_s	注入時間
342 (l)	16.00 (l/m)	21.4

引き抜き時間 (T4) (分) 4.7

引き抜き時間 = 単位時間 × 土被り長

単位作業時間	土被り長	引き抜き時間
2 (分)	2.356 (m)	4.7 (分)

$T_s = T1 + T2 + T3 + T4$ (分)

T1	T2	T3	T4	Ts
14.0	18.3	21.4	4.7	58.4

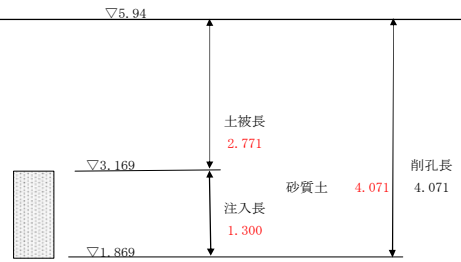
(3) 1日 当り施工本数 1日1台当たり注入量
 $0.342 \times 13.36 = 4.569$ (kl/日)

$N = (60 \times H) / T_s \times 2$
 $= (60 \times 6.5) / 58 \times 2$
 $= 13.36$ (本/日)

M-131 発進立坑 下流坑口部

施工条件 (既存Bor No. 3)

深度	標高	層厚	土質	N値
-1.0				
-2.0				
-3.0			砂質土	
-4.0				
-5.0				
-6.0				
-7.0				
-8.0				
-9.0				
-10.0				



(1) 薬液注入量の算定(複相方式)

立坑	溶液型			土質	N値	注入率 %	高さ H(m)	対象土量 (m³)	薬液量 V(kl)
	幅 W(m)	延長 L(m)	面積 A(m²)						
	1.30	2.00	2.60						
粘性土									
砂質土									
粘性土									
合計							1.300	3.380	1.369

薬液注入本数 = 4 (本)
 1本当たりの薬液注入量 $Q_s = V \div P = 0.342$ (kl)

(2) 1本当たりの施工時間 (Ts)

機械準備時間 (T1) (分) 14

削孔時間 (T2) 20.4

削孔時間 = 作業時間 × 削孔長

土質	作業時間	削孔長(m)	削孔時間
粘性土	8		0.0
砂質土	5	4.071	20.4
粘性土	4		0.0
合計		4.071	20.4

注入時間 (T3) (分) 21.4

注入時間 = $Q_s \div q_s$

1本当り注入量 Q_s	時間当り注入量 q_s	注入時間
342 (l)	16.00 (l/m)	21.4

引き抜き時間 (T4) (分) 5.5

引き抜き時間 = 単位時間 × 土被り長

単位作業時間	土被り長	引き抜き時間
2 (分)	2.771 (m)	5.5 (分)

$T_s = T1 + T2 + T3 + T4$ (分)

項目	時間(分)
T1	14.0
T2	20.4
T3	21.4
T4	5.5
Ts	61.3

(3) 1日 当り施工本数 1日1台当たり注入量

$0.342 \times 12.72 = 4.35$ (kl/日)

$N = (60 \times H) / T_s \times 2$

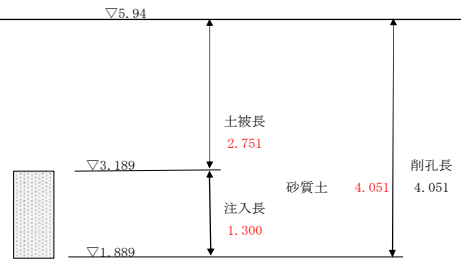
$= (60 \times 6.5) / 61 \times 2$

$= 12.72$ (本/日)

M-131 発進立坑 上流坑口部

施工条件 (既存Bor No. 3)

深度	標高	層厚	土質	N値
-1.0				
-2.0				
-3.0			砂質土	
-4.0				
-5.0				
-6.0				
-7.0				
-8.0				
-9.0				
-10.0				



(1) 薬液注入量の算定(複相方式)

立坑	溶液型			土質	N値	注入率 %	高さ H(m)	対象土量 (m³)	薬液量 V(kl)
	幅 W(m)	延長 L(m)	面積 A(m²)						
	1.30	2.00	2.60						
粘性土									
砂質土									
粘性土									
合計							1.300	3.380	1.369

薬液注入本数 = 4 (本)
 1本当たりの薬液注入量 $Q_s = V \div P = 0.342$ (kl)

(2) 1本当たりの施工時間 (Ts)

機械準備時間 (T1) (分) 14

削孔時間 (T2) 20.3

削孔時間 = 作業時間 × 削孔長

土質	作業時間	削孔長(m)	削孔時間
レキ質土	8		0.0
砂質土	5	4.051	20.3
粘性土	4		0.0
合計		4.051	20.3

注入時間 (T3) (分) 21.4

注入時間 = $Q_s \div q_s$

1本当り注入量 Q_s	時間当り注入量 q_s	注入時間
342 (l)	16.00 (l/m)	21.4

引き抜き時間 (T4) (分) 5.5

引き抜き時間 = 単位時間 × 土被り長

単位作業時間	土被り長	引き抜き時間
2 (分)	2.751 (m)	5.5 (分)

$T_s = T1 + T2 + T3 + T4$ (分)

項目	時間(分)
T1	14.0
T2	20.3
T3	21.4
T4	5.5
Ts	61.2

(3) 1日 当り施工本数 1日1台当たり注入量

$0.342 \times 12.75 = 4.361$ (kl/日)

$N = (60 \times H) / T_s \times 2$

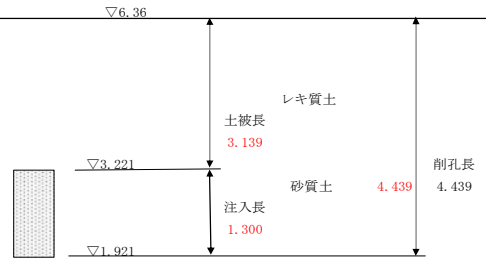
$= (60 \times 6.5) / 61 \times 2$

$= 12.75$ (本/日)

M-155 到達立坑 下流坑口部

施工条件 (Bor No. 2)

深度	標高	層厚	土質	N値
-1.0			レキ質土	
-2.0			砂質土	
-3.0				
-4.0				
-5.0				
-6.0				
-7.0				
-8.0				
-9.0				
-10.0				



(1) 薬液注入量の算定(複相方式)

溶液型

立坑	幅 W(m)	延長 L(m)	面積 A(m ²)	土質	N値	注入率 %	高さ H(m)	対象土量 (m ³)	薬液量 V(kl)
	1.30	1.00	1.30	粘性土		0~4: 28.00 4~8: 24.00			
				砂質土		0~30: 40.50 30以上: 31.50	1.300	1.690	0.684
				砂質土		0~50: 40.00 50以上: 28.00			
合計							1.300	1.690	0.684

薬液注入本数 = 2 (本)
 1本当たりの薬液注入量 $Q_s = V \div P = 0.342$ (kl)

(2) 1本当たりの施工時間 (T s)

機械準備時間 (T1) (分) 14

削孔時間 (T2) 22.2

削孔時間 = 作業時間 × 削孔長

土質	作業時間	削孔長(m)	削孔時間
レキ質土	8		0.0
砂質土	5	4.439	22.2
粘性土	4		0.0
合計		4.439	22.2

注入時間 (T3) (分) 21.4

注入時間 = $Q_s \div q_s$

1本当たり注入量 Q_s	時間当たり注入量 q_s	注入時間
342 (l)	16.00 (l/m)	21.4

引き抜き時間 (T4) (分) 6.3

引き抜き時間 = 単位時間 × 土被り長

単位作業時間	土被り長	引き抜き時間
2 (分)	3.139 (m)	6.3 (分)

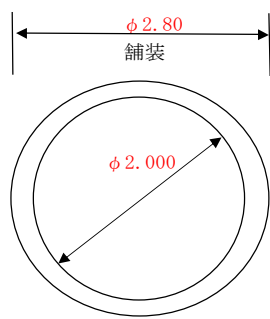
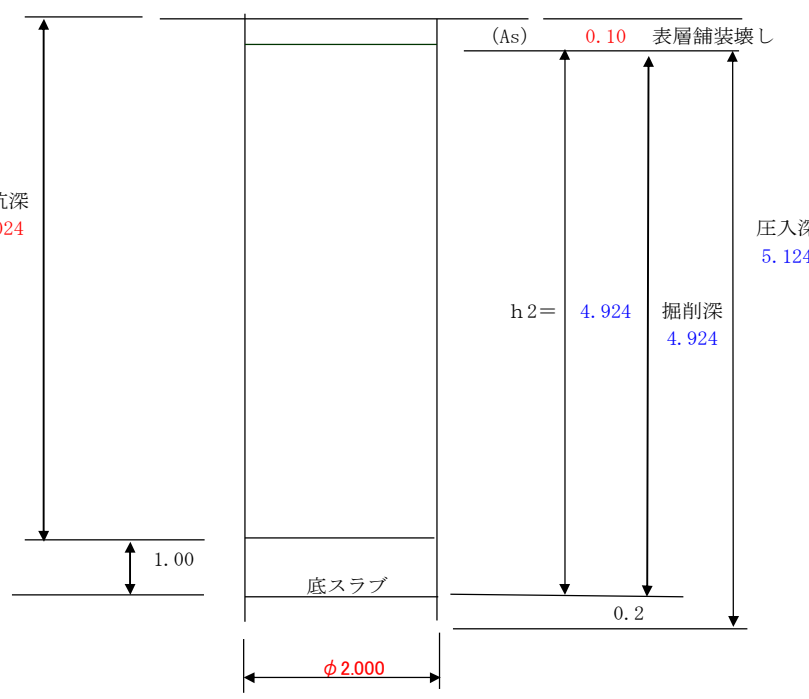
$T_s = T1 + T2 + T3 + T4$ (分)

T1	14.0
T2	22.2
T3	21.4
T4	6.3
Ts	63.9

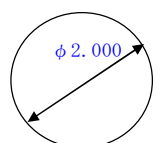
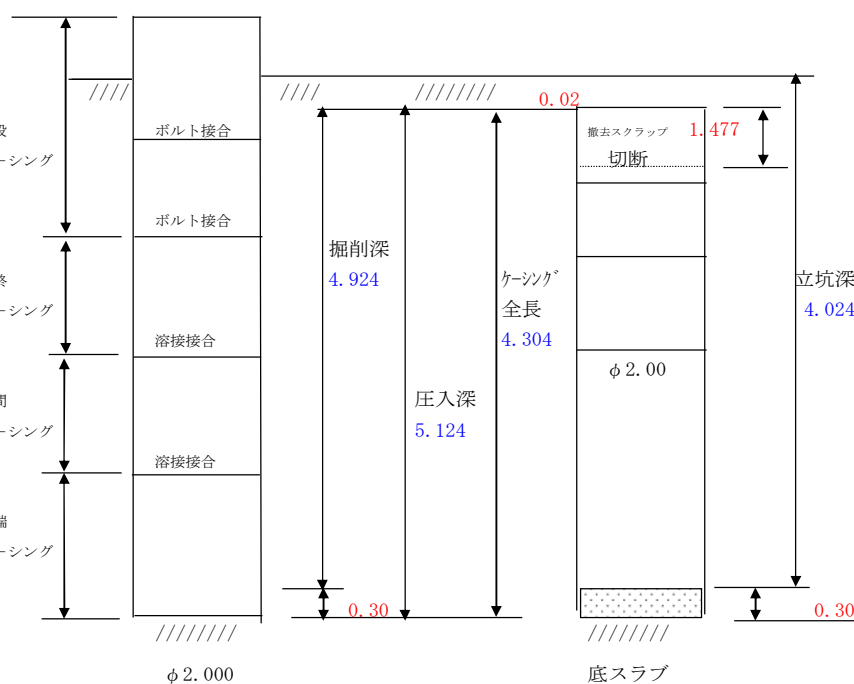
(3) 1日 1台当たり施工本数 $0.342 \times 12.21 = 4.176$ (kl/日)

$N = (60 \times H) / (T_s \times 2)$
 $= (60 \times 6.5) / (64 \times 2)$
 $= 12.21$ (本/日)

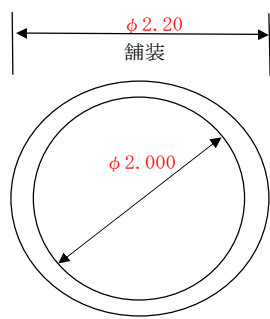
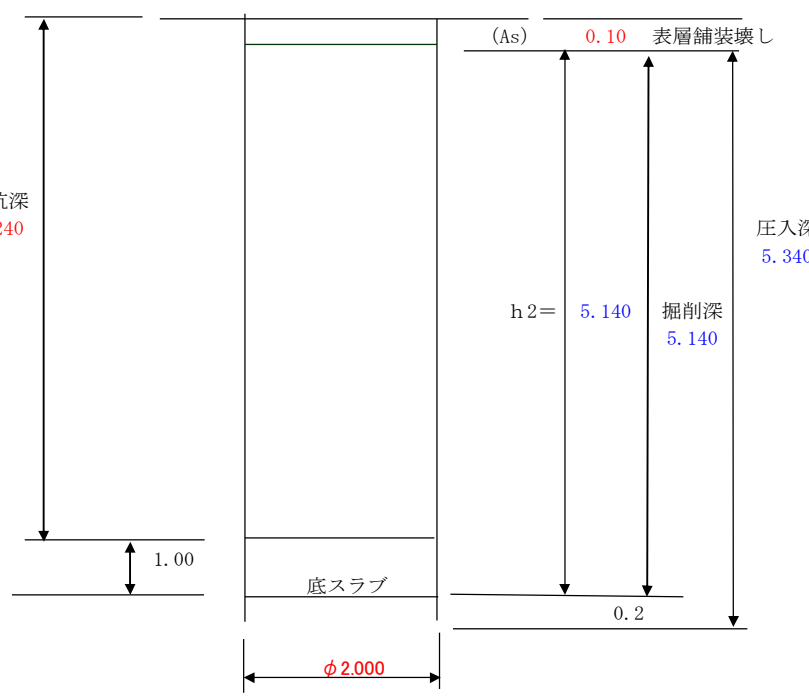
数量計算書

算式根拠となる構造図	対象図番号	名称	規格	算式	単位	数量	
<p>舗装付帯工</p> <p>M-131 発進立坑 φ 2.00</p> 		舗装付帯工					
		舗装面積		$A1 = \pi / 4 \times 2.800^2 = 6.16 \text{ m}^2$			
		立坑面積		$A1 = \pi / 4 \times 2.000^2 = 3.14 \text{ m}^2$			
		舗装切断工	アスファルト t = 5 c m	付帯工にて計上 $A1 = \pi \times 2.800^2 = 8.80 \text{ m}^2$	8.80	m	0.00
		舗装取壊工	アスファルト t = 5 c m	付帯工にて計上		m ²	0.00
		ガラ処分工	アスファルト	付帯工にて計上 舗装厚 $6.16 \times 0.05 = 0.308$		m ³	0.00
		立坑土工	舗装構成 As5-5-10-30				
		舗装の為の掘削 すき取り工	バックホウ 0.35m ³	h1 = 0.05 - 0.03 = 0.02 (A1) $V = 6.16 \times 0.02 = 0.12$		m ³	0.00
		掘削工	揺動圧入 掘削	h2 = 4.924 (A2) (h2) $V3 = 3.14 \times 4.924 = 15.46$		m ³	0.00
		残土処分工	直接搬出	V4 = 0.12 + 15.46 = 15.58		m ³	0.0
							

算式根拠となる構造図	対象図番号	名称	規格	算式	単位	数量	
<p>立坑土工</p> <p>M-131 発進立坑</p> <p>φ 2.00</p> <p>埋戻断面</p>		立坑土工					
		埋戻控除量					
		埋戻(上)	人孔蓋		$V1 = \pi/4 \times 0.82^2 \times 0.000 = 0.00$		
		購入土埋戻	人孔斜壁	(平均)	$V2 = \pi/4 \times 0.90^2 \times 0.280 = 0.18$		
			人孔直壁		$V3 = \pi/4 \times 1.05^2 \times 0.770 = 0.67$		
		汚水本管	VP200		$V4 = \pi/4 \times 0.216^2 \times \dots = 0.00$		
			控除計		$\Sigma V = 0.85$		
					$V2 = 3.14 \times 1.050 - 0.85 = 2.45$	m ³	2.45
		調整	コンクリート (底版部)	(平均)	$V1 = \pi/4 \times \phi 1.10^2 \times 0.160 = 0.15$	m ³	0.15
		再生砂埋戻し	躯体斜壁	(平均)	$V1 = \pi/4 \times \phi 1.05^2 \times 2.384 = 2.06$		
			底版・調整C0	(平均)	$V2 = \pi/4 \times \phi 1.10^2 \times 0.290 = 0.28$		
		汚水本管	VP200		$V3 = \pi/4 \times 0.216^2 \times 0.475 = 0.02$		
		汚水本管	VP200		$V4 = \pi/4 \times 0.216^2 \times 0.475 = 0.02$		
		控除計			$\Sigma V = 2.38$		
		埋戻面積			$A3 = \pi/4 \times \phi 2.00^2 = 3.14 \text{ m}^2$		
バックホウ			$V11 = (A2) + (A3) \times 2.674 = 0.35 \text{ m}^3 + 3.14 \times 2.674 = 8.74 \text{ m}^3$				
			$(V9) - 2.38 = 8.74 - 2.38 = 6.02 \text{ m}^3$	m ³	6.02		

算式根拠となる構造図		対象図番号	名称	規格	算式	単位	数量
M-131 発進立坑 鋼管ケーシング立坑 平面図 $\phi 2.00$ 			鋼管ケーシング立坑				
			ケーシング	呼び径 $\phi 2.00$	$W = 0.000 \times 0.615 \text{ t/m} = 0$ $L = 4.024 - 0.02 + 0.30 = 4.30$	t	0
			先端ケーシング加工	呼び径 $\phi 2.00$		式	0.0
			仮設ケーシング	呼び径 $\phi 2.00$	$0.615 \text{ t/m} \times 2.0\text{m} = 1.230 \text{ t}$	t	0
			圧入掘削積込工			礫質土 砂質土	0.00 5.12 m
			ケーシング撤去				m 1.477
			機械設置撤去工				箇所 1
			ケーシング溶接工		$L = 6.3 \times 0$		箇所 m 0
			底スラブ築造工				m^3 0.00
			レイタンス発生量				m^3 0
			ケーシング切断工		$L = \phi 2.00 \times \pi + 1.477 \times 4$		m 12.19
			スクラップ		$1.477 \times 0.615 \text{ t/m} = 0.908$		t 0.908
			専用覆工板設置撤去工				t 箇所 1
			ケーシング本数	圧入	仮設ケーシング N= 2 本(L= 1000) 最終ケーシング N= 1 本(L= 1500) 中間ケーシング N= 1 本(L= 1000) 先端ケーシング N= 1 本(L= 2100) 合計 N= 5		
先端ケーシング	MAX2.40m	ケーシング寸法			呼び径	1500 1800 2000	
最終ケーシング	0.1mピッチ 最小0.5m	溶接工1箇所当たり (m)			4.7 5.7 6.3		
中間ケーシング	MAX2.40m	底スラブコンクリート量 (m^3)			1.8 2.5 3.1		
		泥水発生量 (m^3)			0.7 1.0 1.2		
		ケーシング重量 (t/m)			0.466 0.555 0.615		
		ケーシング重量 ケコム資料P-7 他令和5年白本P446			引抜	仮設ケーシング N= 2 本(L= 1000)	

数量計算書

算式根拠となる構造図	対象図番号	名称	規格	算式	単位	数量		
<p>舗装付帯工</p> <p>M-132 発進立坑 φ 2.00</p> 		舗装付帯工						
		舗装面積		$A1 = \pi/4 \times 2.200^2 = 3.80 \text{ m}^2$				
		立坑面積		$A1 = \pi/4 \times 2.000^2 = 3.14 \text{ m}^2$				
		舗装切断工	アスファルト As-5-5-10-30	付帯工にて計上 $A1 = \pi \times 2.200 = 6.91 \text{ m}^2$	6.91	m	6.91	
		舗装取壊工	アスファルト As-5-5-10-30	付帯工にて計上		m ²	3.80	
		ガラ処分工		付帯工にて計上 舗装厚 $3.80 \times 0.1 = 0.38$		m ³	0.38	
		立坑土工						
		舗装の為の掘削 すき取り工	バックホウ 0.35m ³	$h1 = 0.00 - 0 = 0.00$ (A1) $V = 3.80 \times 0.00 = 0.00$		m ³	0.00	
		<p>立坑土工</p> <p>立坑深 4.240</p>  <p>舗装構成 As 5-5-10-30</p> <p>(As) 0.10 表層舗装壊し</p> <p>h2 = 5.140 掘削深 5.140</p> <p>圧入深 5.340</p> <p>底スラブ</p> <p>φ 2.000</p>		掘削工	揺動圧入 掘削	$h2 = 5.140$ (A2) (h2) $V3 = 3.14 \times 5.140 = 16.14$	m ³	16.14
				残土処分工	直接搬出	$V4 = 0.00 + 16.14 = 16.14$	m ³	16.1

算式根拠となる構造図	対象図番号	名称	規格	算式	単位	数量		
<p>立坑土工 M-132 発進立坑 φ 2.00 埋戻断面</p>		立坑土工						
		埋戻控除量						
		埋戻(上)	人孔蓋	$V1 = \pi/4 \times 0.82^2 \times 0.000 = 0.00$				
		購入土埋戻	人孔斜壁	$V2 = \pi/4 \times 0.90^2 \times 0.660 = 0.42$	(平均)			
			人孔直壁	$V3 = \pi/4 \times 1.05^2 \times 0.610 = 0.53$				
			汚水本管 VP200	$V4 = \pi/4 \times 0.216^2 \times = 0.00$				
			控除計	$\Sigma V = 0.95$				
				$V2 = 3.14 \times 1.270 - 0.95 = 3.04$		m ³	3.04	
			調整 コンクリート (底版部)	$V1 = \pi/4 \times \phi 1.10^2 \times 0.160 = 0.15$	(平均)		m ³	0.15
			再生砂 埋戻し	躯体斜壁	$V1 = \pi/4 \times \phi 1.05^2 \times 2.380 = 2.06$	(平均)		
				底版・調整C0	$V2 = \pi/4 \times \phi 1.10^2 \times 0.290 = 0.28$	(平均)		
				汚水本管 VP200	$V3 = \pi/4 \times 0.216^2 \times 0.475 = 0.02$			
				汚水本管 VP200	$V4 = \pi/4 \times 0.216^2 \times 0.475 = 0.02$			
			控除計	$\Sigma V = 2.38$				
			埋戻面積	$A3 = \pi/4 \times \phi 2.00^2 = 3.14 \text{ m}^2$				
			バックホウ	$V11 = (A2) \times (A3) \times 2.670 = 0.35 \text{ m}^3$				
				$(V9) - 2.38 = 6.00 \text{ m}^3$		m ³	6.00	

算式根拠となる構造図	対象図番号	名称	規格	算式	単位	数量
M-132 発進立坑 鋼管ケーシング立坑		鋼管ケーシング立坑				
平面図 φ2.00		ケーシング	呼び径 φ2.00	W= 4.500 × 0.615 t/m = 2.768 L= 4.240 - 0.06 + 0.30 = 4.48	t m	2.768 4.500
		先端ケーシング加工	呼び径 φ2.00		式	1.0
圧入掘削完了図	引抜・底スラブ完了図	仮設ケーシング	呼び径 φ2.00	0.615 t/m × 2.0m = 1.230 t	t 回	1.23 1.0
		圧入掘削			礫質土 砂質土	0.00 5.34 m
		最終ケーシング				
		中間ケーシング				
		先端ケーシング				
		撤去				1.440
		機械設置撤去工				箇所 1
		ケーシング溶接工		L= 6.3 × 1		箇所 1 m 6.3
		底スラブ築造工				m ³ 3.10
		レイタンス発生量				m ³ 1.2
		ケーシング切断工		(ケーシング撤去長 × 4) L= φ2.00 × π + 1.440 × 4		m 12.04
		スクラップ		1.440 × 0.615 t/m = 0.886		t 0.886
		専用覆工板設置撤去工				t 箇所 1
		ケーシング本数	圧入	仮設ケーシング N= 2 本(L= 1000) 最終ケーシング N= 1 本(L= 10000) 中間ケーシング N= 本(L=) 先端ケーシング N= 1 本(L= 2200) 合計 N= 4		
先端ケーシング	MAX2.40m	ケーシング寸法	呼び径	1500 1800 2000		
最終ケーシング	0.1mピッチ 最小0.5m	溶接工1箇所当たり (m)		4.7 5.7 6.3		
中間ケーシング	MAX2.40m	底スラブコンクリート量 (m ³)		1.8 2.5 3.1		
		泥水発生量 (m ³)		0.7 1.0 1.2		
		ケーシング重量 (t/m)		0.466 0.555 0.615		
		ケーシング重量	ケコム資料P-7 他令和5年白本P446	引抜	仮設ケーシング N= 2 本(L= 1000)	

鋼管ケーシング立坑 φ2000 数量総括表

立坑No	地盤高	立坑底高	掘削底高	先掘深さ	立坑深さ	掘削深	圧入深	ケーシング長	先端ケーシング	最終ケーシング
	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)
M-1	3.21	-0.560	-1.560	0.18	3.770	4.590	4.790	4.00	2.40	1.60
M-2	3.34	-0.440	-1.440	0.18	3.780	4.600	4.800	4.00	2.40	1.60
M-4	3.55	-0.189	-1.189	0.18	3.739	4.559	4.759	4.00	2.40	1.60
M-6	3.72	0.366	-0.634	0.18	3.354	4.174	4.374	3.60	2.40	1.20
M-8	3.92	0.584	-0.416	0.18	3.336	4.156	4.356	3.60	2.40	1.20
M-10	4.26	1.564	0.564	0.18	2.696	3.516	3.716	2.90	2.40	0.50
M-12	4.62	1.975	0.975	0.18	2.645	3.465	3.665	2.90	2.40	0.50
M-14	4.79	2.196	1.196	0.18	2.594	3.414	3.614	2.80	2.30	0.50
M-21	3.76	0.868	-0.132	0.18	2.892	3.712	3.912	3.10	2.40	0.70
M-32	3.41	0.039	-0.961	0.18	3.371	4.191	4.391	3.60	2.40	1.20

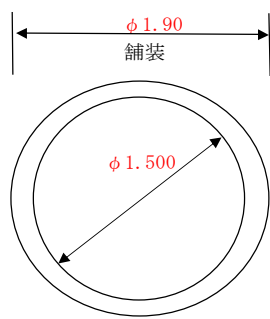
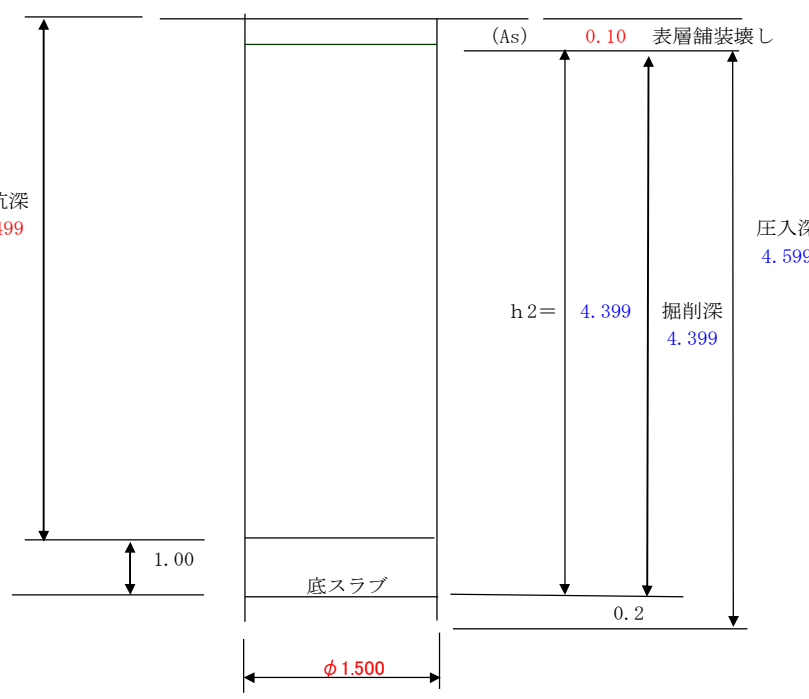
H1	H2	H3	H4	h1	h2	h3	h4
3.77	2.27	0.53	0.97	0.83	0.30	0.67	1.98
3.78	2.28	0.53	0.97	0.80	0.27	0.70	1.99
3.74	2.24	0.53	0.97	0.70	0.17	0.80	1.95
3.35	1.85	0.53	0.97	0.68	0.15	0.82	1.56
3.34	1.84	0.53	0.97	0.65	0.12	0.85	1.55
2.70	1.20	0.53	0.97	0.63	0.10	0.87	0.91
2.65	1.15	0.53	0.97	0.58	0.05	0.92	0.86
2.59	1.09	0.53	0.97	0.80	0.27	0.70	0.80
2.89	1.39	0.25	1.25	0.73	0.48	0.77	1.10
3.37	1.87	0.25	1.25	0.68	0.43	0.82	1.58

鋼管ケーシング立坑 φ1500 数量総括表

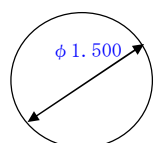
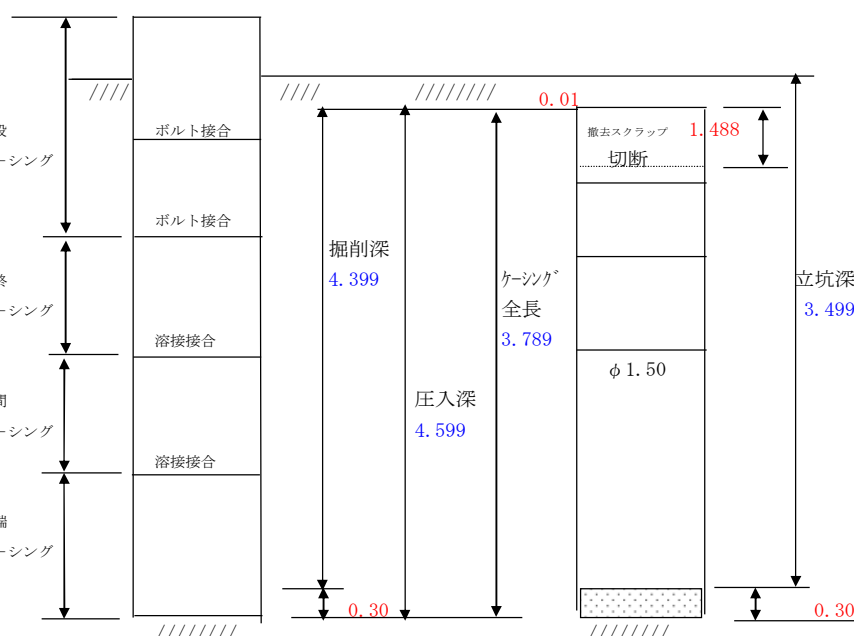
立坑No	地盤高	立坑底高	掘削底高	先掘深さ	立坑深さ	掘削深	圧入深	ケーシング長	先端ケーシング	最終ケーシング
	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)
M-3	3.45	-0.156	-1.156	0.18	3.606	4.426	4.626	3.80	2.40	1.40
M-5	3.66	0.091	-0.909	0.18	3.569	4.389	4.589	3.80	2.40	1.40
M-7	3.78	0.606	-0.394	0.18	3.174	3.994	4.194	3.40	2.40	1.00
M-9	4.05	0.834	-0.166	0.18	3.216	4.036	4.236	3.80	2.40	1.40
M-11	4.46	1.834	0.834	0.18	2.626	3.446	3.646	3.80	2.40	1.40
M-13	4.72	2.216	1.216	0.18	2.504	3.324	3.524	2.70	2.40	0.30
M-15	4.85	2.470	1.470	0.18	2.380	3.200	3.400	2.60	2.60	
M-22	4.40	1.100	0.100	0.18	3.300	4.120	4.320	3.50	2.40	1.10

H1	H2	H3	H4	h1	h2	h3	h4
3.61	2.11	0.53	0.97	0.78	0.25	0.72	1.98
3.57	2.07	0.53	0.97	0.75	0.22	0.75	1.94
3.17	1.67	0.53	0.97	0.65	0.12	0.85	1.54
3.22	1.72	0.53	0.97	0.70	0.17	0.80	1.59
2.63	1.13	0.53	0.97	0.70	0.17	0.80	1.00
2.50	1.00	0.53	0.97	0.58	0.05	0.92	0.87
2.38	0.88	0.53	0.97	0.75	0.22	0.75	0.75
3.30	1.80	0.53	0.97	0.78	0.25	0.72	1.67

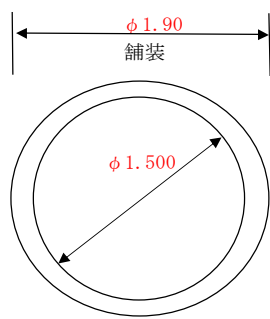
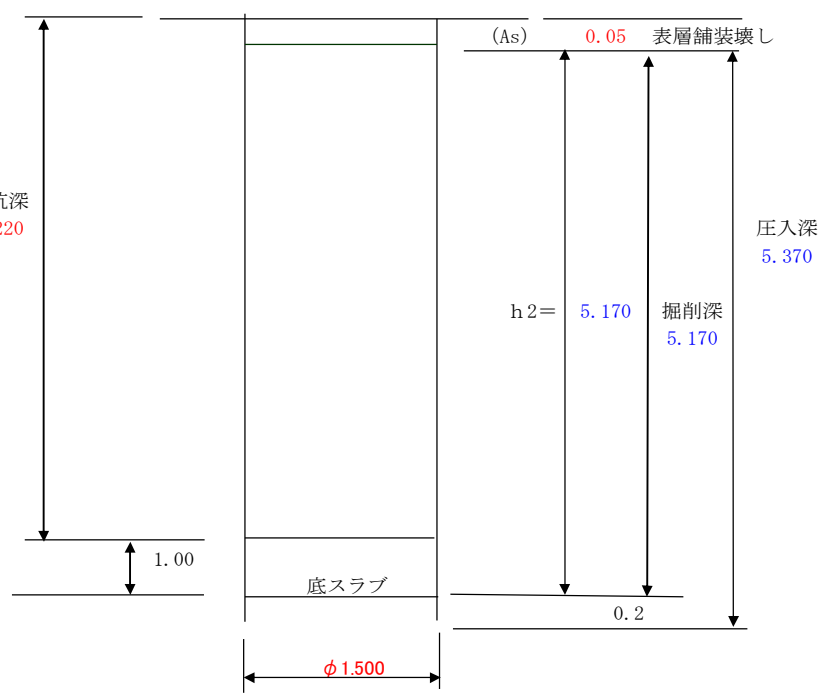
数量計算書

算式根拠となる構造図	対象図番号	名称	規格	算式	単位	数量
<p>舗装付帯工</p> <p>M-130 到達立坑 φ 1.50</p>  <p>立坑土工</p> <p>舗装構成 As5-5-10-30</p> 		舗装付帯工				
		舗装面積		$A1 = \pi/4 \times 1.900^2 = 2.84 \text{ m}^2$		
		立坑面積		$A1 = \pi/4 \times 1.500^2 = 1.77 \text{ m}^2$		
		舗装切断工	車道 As-5-5-10-30	付帯工にて計上 $A1 = \pi \times 1.900^2 = 5.97 \text{ m}^2$ 5.97	m	0.00
		舗装取壊工	車道 As-5-5-10-30	付帯工にて計上	m ²	0.00
		ガラ処分工		付帯工にて計上 舗装厚 $2.84 \times 0 = 0$	m ³	0.00
		立坑土工				
		舗装の為の掘削 すき取り工	バックホウ 0.35m ³	$h1 = 0.00 - 0 = 0.00$ (A1) $V = 2.84 \times 0.00 = 0.00$	m ³	0.00
		土工				
		掘削工	揺動圧入 掘削	$h2 = 4.399$ (A2) (h2) $V3 = 1.77 \times 0.000 = 0.00$	m ³	0.00
		残土処分工	直接搬出	$V4 = 0.00 + 0.00 = 0.00$	m ³	0.0

算式根拠となる構造図	対象図番号	名称	規格	算式	単位	数量	
<p>立坑土工</p> <p>M-130 到達立坑</p> <p>φ 1.50</p> <p>埋戻断面</p>		立坑土工					
		埋戻控除量					
		埋戻 (上)	人孔蓋		$V1 = \pi/4 \times 0.82^2 \times 0.000 = 0.00$		
		購入土埋戻	人孔斜壁		(平均) $V2 = \pi/4 \times 0.90^2 \times 0.550 = 0.35$		
			人孔直壁		$V3 = \pi/4 \times 1.05^2 \times 0.720 = 0.62$		
			汚水本管 VP200		$V4 = \pi/4 \times 0.216^2 \times \dots = 0.00$		
			控除計		$\Sigma V = 0.97$		
					$V2 = 1.77 \times 1.270 - 0.97 = 1.28$	m ³	1.28
			調整 コンクリート (底版部)		(平均) $V1 = \pi/4 \times \phi 1.10^2 \times 0.000 = 0.00$	m ³	0.00
			再生砂 埋戻し	躯体斜壁	(平均) $V1 = \pi/4 \times \phi 1.05^2 \times 1.799 = 1.56$		
				底版・調整CO	(平均) $V2 = \pi/4 \times \phi 1.10^2 \times 0.130 = 0.12$		
				汚水本管 VP200	$V3 = \pi/4 \times 0.216^2 \times 0.225 = 0.01$		
				汚水本管 VP200	$V4 = \pi/4 \times 0.216^2 \times 0.225 = 0.01$		
				控除計	$\Sigma V = 1.70$		
		埋戻面積		$A3 = \pi/4 \times \phi 1.50^2 = 1.766 \text{ m}^2$			
		バックホウ		(A2) + (A3) $V11 = \dots + 1.766 \times 1.929$			
				(V9) $- 1.70$			
				$= 1.71$	m ³	1.71	

算式根拠となる構造図		対象図番号	名称	規格	算式	単位	数量
M-130 到達立坑 鋼管ケーシング立坑 平面図 $\phi 1.50$ 			鋼管ケーシング立坑				
			ケーシング	呼び径 $\phi 1.50$	$W = 0.000 \times 0.466 \text{ t/m} = 0$ $L = 3.499 - 0.01 + 0.30 = 3.79$	t	0
			先端ケーシング加工	呼び径 $\phi 1.50$		式	0.0
			仮設ケーシング	呼び径 $\phi 1.50$	$0.466 \text{ t/m} \times 2.0 \text{ m} = 0.932 \text{ t}$	t	0
			圧入掘削積込工			礫質土 砂質土	0.00 0.00 m
			ケーシング撤去			m	1.488
			機械設置撤去工			箇所	0
			ケーシング溶接工		$L = 0 \times 0$	箇所 m	0 0
			底スラブ築造工			m^3	0.00
			レイタンス発生量			m^3	0
			ケーシング切断工		$L = \phi 1.50 \times \pi + 1.488 \times 4$	m	10.66
			スクラップ		$1.488 \times 0.466 \text{ t/m} = 0.693$	t	0.693
			専用覆工板設置撤去工			t 箇所	1
			ケーシング本数	圧入	仮設ケーシング N= 2 本(L= 1000) 最終ケーシング N= 1 本(L= 1500) 中間ケーシング N= 本(L=) 先端ケーシング N= 1 本(L= 2400) 合計 N= 4		
先端ケーシング	MAX2.40m	ケーシング寸法	呼び径	1500 1800 2000			
			溶接工1箇所当たり (m)	4.7 5.7 6.3			
最終ケーシング	0.1mピッチ 最小0.5m		底スラブコンクリート量 (m^3)	1.8 2.5 3.1			
			泥水発生量 (m^3)	0.7 1.0 1.2			
中間ケーシング	MAX2.40m		ケーシング重量 (t/m)	0.466 0.555 0.615			
			ケーシング重量	ケコム資料P-7 他令和5年白本P446	引抜	仮設ケーシング N= 2 本(L= 1000)	

数量計算書

算式根拠となる構造図	対象図番号	名称	規格	算式	単位	数量	
<p>舗装付帯工</p> <p>M-155 到達立坑 φ 1.50</p> 		舗装付帯工					
		舗装面積		$A1 = \pi/4 \times 1.900^2 = 2.84 \text{ m}^2$			
		立坑面積		$A1 = \pi/4 \times 1.500^2 = 1.77 \text{ m}^2$			
		舗装切断工	アスファルト t = 5 c m	付帯工にて計上 $A1 = \pi \times 1.900^2 = 5.97 \text{ m}^2 \quad 0.00$	m	0.00	
		舗装取壊工	アスファルト t = 5 c m	付帯工にて計上	m ²	0.00	
		ガラ処分工	アスファルト	付帯工にて計上 舗装厚 $2.84 \times 0.05 = 0$	m ³	0.00	
<p>立坑土工</p> <p>舗装構成 As5-10-10</p> 		立坑土工					
		舗装の為の掘削 すき取り工	バックホウ 0.35m ³	$h1 = 0.05 - 0.03 = 0.02$ $(A1)$ $V = 2.84 \times 0.02 = 0.00$	m ³	0.00	
		土工					
		掘削工	揺動圧入 掘削	$h2 = 5.170$ $(A2)$ $(h2)$ $V3 = 1.77 \times 5.170 = 0.00$	m ³	0.00	
		残土処分工	直接搬出	$V4 = 0.00 + 0.00 = 0.00$	m ³	0.0	

算式根拠となる構造図	対象図番号	名称	規格	算式	単位	数量		
<p>立坑土工</p> <p>M-155 到達立坑</p> <p>φ 1.50</p> <p>埋戻断面</p>		立坑土工						
		埋戻控除量						
		埋戻(上)	人孔蓋	$V1 = \pi/4 \times 0.82^2 \times 0.000 = 0.00$				
		購入土埋戻	人孔斜壁	$V2 = \pi/4 \times 0.90^2 \times 0.230 = 0.15$	(平均)			
			人孔直壁	$V3 = \pi/4 \times 1.05^2 \times 1.020 = 0.88$				
			汚水本管 VP200	$V4 = \pi/4 \times 0.216^2 \times \quad = 0.00$				
			控除計	$\Sigma V = 1.03$				
				$V2 = 1.77 \times 1.250 - 1.03 = 1.18$		m ³	1.18	
			調整 コンクリート (底版部)	$V1 = \pi/4 \times \phi 1.10^2 \times 0.000 = 0.00$	(平均)		m ³	0.00
			再生砂 埋戻し	躯体斜壁	$V1 = \pi/4 \times \phi 1.05^2 \times 2.540 = 2.20$	(平均)		
				底版・調整C0	$V2 = \pi/4 \times \phi 1.10^2 \times 0.130 = 0.12$	(平均)		
				汚水本管 VP200	$V3 = \pi/4 \times 0.216^2 \times 0.225 = 0.01$			
		汚水本管 VP200	$V4 = \pi/4 \times 0.216^2 \times 0.225 = 0.01$					
		控除計	$\Sigma V = 2.34$					
		埋戻面積	$A3 = \pi/4 \times \phi 1.50^2 = 1.766 \text{ m}^2$					
		バックホウ	$V11 = (A2) \times (A3) = 0.35 \text{ m}^3 + 1.766 \times 2.670$					
			$(V9) - 2.34 = 2.38$		m ³	2.38		

算式根拠となる構造図		対象図番号	名称	規格	算式	単位	数量
M-155 到達立坑			鋼管ケーシング立坑				
鋼管ケーシング立坑			鋼管ケーシング立坑				
平面図			ケーシング	呼び径 φ1.50	W= 0.000 × 0.466 t/m = 0 L= 4.220 - 0 + 0.30 = 4.52	t	0
			先端ケーシング加工	呼び径 φ1.50		式	0.0
圧入掘削完了図		引抜・底スラブ完了図	仮設ケーシング	呼び径 φ1.50	0.466 t/m × 2.0m = 0.932 t	t	0
			ケーシング撤去			回	0.0
掘削深 5.170		ケーシング全長 4.520	圧入掘削		礫質土 0.00	m	0.00
圧入深 5.370		立坑深 4.220	積込工		砂質土 0.00 m	m	0.00
0.30		0.30	ケーシング撤去			m	1.490
φ1.500		底スラブ	機械設置			箇所	0
			撤去工			箇所	0
			ケーシング溶接工		L= 4.7 × 0	m	0
			底スラブ築造工			m ³	0.00
			レイタンス発生量			m ³	0
			ケーシング切断工		(ケーシング撤去長 × 4) L= φ1.50 × π + 1.490 × 4	m	10.67
			スクラップ		1.490 × 0.466 t/m = 0.694	t	0.694
			専用覆工板設置撤去工			t	1
			ケーシング本数	圧入	仮設ケーシング N= 2 本(L= 1000)		
先端ケーシング	MAX2.40m	呼び径	1500	1800	2000	最終ケーシング N= 1 本(L= 1500)	
最終ケーシング	0.1mピッチ	溶接工1箇所当たり (m)	4.7	5.7	6.3	中間ケーシング N= 1 本(L= 1000)	
	最小0.5m	底スラブコンクリート量 (m ³)	1.8	2.5	3.1	先端ケーシング N= 1 本(L= 2000)	
中間ケーシング	MAX2.40m	泥水発生量 (m ³)	0.7	1.0	1.2	合計 N= 5	
		ケーシング重量 (t/m)	0.466	0.555	0.615		
		ケーシング重量	ケコム資料 P-7 他令和5年白本P446			引抜	仮設ケーシング N= 2 本(L= 1000)

M-131 両発進立坑

M-130(到達)←M-131(発進)→M-155(到達)

工期算定表

工種	種別	作業量		日当り作業量		作業日数(日)			備考
						稼働日数	不稼働係数	工期	
薬液注入工	発進下流部 M-131	4	本	10.25	本	0.4	1.7	0.7	注入量で計算
	発進上流部		本	9.84	本		1.7		
	小計①							0.7	
M-131 立坑設置 合計									0.7 小計 ①+②+③
推進工	準備工		日		日	6.0	1.5	9.0	
	機械据付工(プラント)		日		日	2.5	1.5	3.8	
	付帯工(プラント)		日		日	1.0	1.5	1.5	
	推進工 M-131→M-130	30.90	m	3.2	m	9.7	1.5	14.6	
	塩ビ管挿入工 200mm	31.75	m	16.2	m	2.0	1.5	3.0	
	中込注入工	2.56	m ³	7.2	m ³	0.4	1.5	0.6	
	小計(M-131→M130)							32.5	
	方向転換工		日		日		1.5		
	推進工 M-131→M-155	14.55	m	3.7	m	3.9	1.5	5.9	
	塩ビ管挿入工 200mm	15.4	m	16.2	m	1.0	1.5	1.5	
	中込注入工	1.21	m ³	7.2	m ³	0.2	1.5	0.3	
	小計							7.7	
M-131人孔設置工	1号組立 H=6m以内	1	箇所	3.6	箇所	0.3	1.7	0.5	日当り作業量計算書
調整コンクリート	コンクリート打設(人力)		m ³	6	m ³		1.7		県歩掛P115
	コンクリート養生(別作業と平行)								
小計①							0.5		
※不稼働係数 一般土木作業雨天の影響を受ける作業は1.7 推進、シールドなど影響がない作業は1.5									
埋戻し									
コンクリート	コンクリート打設(人力)		m ³	6	m ³		1.7		県歩掛P115
	コンクリート養生								
土工	機械埋戻	8.5	m ³	33	m ³	0.3	1.7	0.5	県歩掛P107
	小計②							0.5	
舗装復旧	路盤下層	3.1	m ²	1110	m ²	0.1	1.7	0.2	
	路盤上層	3.1	m ²	1110	m ²	0.1	1.7	0.2	
	表層 上層	4.5	m ²	250	m ²	0.1	1.7	0.2	
	小計③							0.6	
M-131 人孔設置工 合計									1.6 小計 ①+②+③

※不稼働係数 一般土木作業雨天の影響を受ける作業は1.7 推進、シールドなど影響がない作業は1.5

※メイン工程とは別同時期作業なる工程は入れていない

M-130到達立坑

M-130(到達)←M-131(発進)

工期算定表

工種	種別	作業量		日当り作業量		作業日数(日)			備考
						稼動日数	不稼働係数	工期	
薬液注入工	到達下流部 M-130	2	本	9.75	本	0.2	1.7	0.3	注入量で計算
	小計①							0.3	
M-130 立坑設置 合計									0.3 小計 ①+②+③
M-130人孔設置工	1号組立 H=6m以内	1	箇所	3.6	箇所	0.3	1.7	0.5	日当り作業量計算書
調整コンクリート	コンクリート打設(人力)		m ³	6	m ³				県歩掛P115
	コンクリート養生(別作業と平行)								
	小計①							0.5	
埋戻し	コンクリート打設(人力)		m ³	6	m ³		1.7		県歩掛P115
	コンクリート養生								
土工	機械埋戻	3.0	m ³	33	m ³	0.1	1.7	0.2	県歩掛P107
	小計②							0.2	
舗装復旧	路盤下層	1.7	m ²	1110	m ²	0.1	1.7	0.2	
	路盤上層	1.7	m ²	1110	m ²	0.1	1.7	0.2	
	表層 上層	2.8	m ²	250	m ²	0.1	1.7	0.2	
	小計③							0.6	
M-130 人孔設置工 合計									1.3 小計 ①+②+③

※不稼働係数 一般土木作業雨天の影響を受ける作業は1.7 推進、シールドなど影響がない作業は1.5

※メイン工程とは別同時期作業なる工程は入れていない

M-155到達立坑

M-131 (発進) → M-155 (到達)

工期算定表

工種	種別	作業量		日当り作業量		作業日数(日)			備考
						稼働日数	不稼働係数	工期	
薬液注入工	到達下流部 M-155	2	本	9.75	本	0.2	1.7	0.3	注入量で計算
	小計①							0.3	
M-155 立坑設置 合計									0.3 小計 ①+②+③
M-155人孔設置工	1号組立 H=6m以内	1	箇所	3.6	箇所	0.3	1.7	0.5	日当り作業量計算書
調整コンクリート	コンクリート打設(人力)		m ³	6	m ³				県歩掛P115
	コンクリート養生(別作業と平行)								
	小計①							0.5	
埋戻し	コンクリート打設(人力)		m ³	6	m ³		1.7		県歩掛P115
	コンクリート養生								
土工	機械埋戻	3.6	m ³	33	m ³	0.1	1.7	0.2	県歩掛P107
	小計②							0.2	
舗装復旧	路盤下層	1.7	m ²	1110	m ²	0.1	1.7	0.2	
	路盤上層	1.7	m ²	1110	m ²	0.1	1.7	0.2	
	表層 上層	2.8	m ²	250	m ²	0.1	1.7	0.2	
	小計③							0.6	
M-155 人孔設置工 合計									1.3 小計 ①+②+③

※不稼働係数 一般土木作業雨天の影響を受ける作業は1.7 推進、シールドなど影響がない作業は1.5

※メイン工程とは別同時期作業なる工程は入れていない

路線名 1工区 補助

工 程 表

項目	作業 日数	加算 日数	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	100	105	110	115	120
M-131発進 M-131ケーシング立坑設置 (発進) (薬注)	0.7	0.7	0.7																							
M-131発進 泥水一工程式推進工 M-131→M-130	32.5	33.2	0.7					33.2																		
M-131発進 泥水一工程式推進工 M-131→M-155	7.7	40.9								40.9																
M-131発進 M-131人孔設置工 (人孔設置+埋戻+舗装復旧)	1.6	42.5									42.5															
M-130到達 M-130ケーシング立坑設置 (到達) (薬注)	0.3	0.3						32.9	33.2																	
M-130到達 M-130人孔設置工 (到達) (人孔設置+埋戻+舗装復旧)	1.3	34.5								34.5																
M-155到達 M-155ケーシング立坑設置 (到達) (薬注)	0.3	0.3							40.6	40.9																
M-155到達 M-155人孔設置工 (到達) (人孔設置+埋戻+舗装復旧)	1.3	42.2									42.2															
水替日数		40.2		40.9		M-131立坑 0.7	=	40.2																		
交通整理員	42.5	127.5		42.5		0	=	42.5																		

※交通整理員は日当たり3人一組とする。

※不稼働係数 一般土木作業雨天の影響を受ける作業は1.7 推進、シールドなど影響がない作業は1.5

M-131 円形覆工板賃料日数	42.5 ÷	30 +	9 (R6-3引継ぎ)	=	10.4 ≒	11 月	円形覆工板開閉工	42.5 ÷	1.7 =	25.0 ≒	25 回
M-130 円形覆工板賃料日数	1.6 ÷	30 +	9 (R6-3引継ぎ)	=	9.1 ≒	10 月	円形覆工板開閉工	1.6 ÷	1.7 =	0.9 ≒	1 回
M-155 円形覆工板賃料日数	1.6 ÷	30 +	9 (R6-3引継ぎ)	=	9.1 ≒	10 月	円形覆工板開閉工	1.6 ÷	1.7 =	0.9 ≒	1 回

数量総括表

(補助：推進)

項目 (レベル1)	工種 (レベル2)	種別 (レベル3)	種別 (レベル4)	細別 (レベル5)	積算要素 (レベル6)	単位	計算数量	設計数量	備考
(小口径推進工法) 管路施設									
	管きよ工 (小口径推進)								
		低耐力泥土圧 一工程推進工							
			推進用 硬質塩化ビニル管	推進用 硬質塩化ビニル管材料費	先頭菅、標準管	本	28.0	28	
				推進用 硬質塩化ビニル管材料費	最終菅	本	1.0	1	
				推進工	低耐力泥土圧	m	28.6	28.6	
				スクリーコンベヤ類撤去工		m	28.6	28.6	
				添加材注入工		m	28.6	28.6	
			発生土処理	発生土運搬工	4t	m3	1.3	1	
				投棄料	土砂	m3	1.3	1	
		立坑内管布設工							
			硬質塩化ビニル管	硬質塩化ビニル管布設工		m	0.6	0.6	
		仮設備工 (小口径)							
			坑口 (小口径)	坑口工		箇所	2.0	2	
			鏡切り	鏡切り工		箇所	2.0	2	1.2m×2か所
			推進設備等設置撤去	推進設備工		箇所	1.0	1	
				先導体据付撤去工		箇所	1.0	1	
		推進水替工							
			推進用水替	ポンプ運転工		日	14.0	14	
				据付・撤去工		現場	1.0	1	
		補助地盤改良工							
			薬液注入	薬液注入工	M-131 (上流坑口部) 削孔長1.7m	本	2.0	2	
				薬液注入工	M-132 (下流坑口部) 削孔長3.4m	本	4.0	4	
			注入設備据付・解体工	車上		現場	1.0	1	
	立坑工								
		管路土工							
			管路埋戻	機械投入埋戻	購入土	m3	3.0	3	

数量総括表

(補助：推進)

項目 (レベル1)	工種 (レベル2)	種別 (レベル3)	種別 (レベル4)	細別 (レベル5)	積算要素 (レベル6)	単位	計算数量	設計数量	備考
			管路埋戻	機械投入埋戻	再生砂	m3	6.0	6	
			発生土処理	発生土運搬工	4t	m3	16.1	16	
			発生土処理	積込		m3	16.1	16	
				土砂等運搬	10t	m3	16.1	16	
				投棄料		m3	16.1	16	
			埋戻土運搬	購入土		m3	4.1	4	3.0*1.2/0.9
				積込み (ルーズ)		m3	3.4	3	3.0/0.9
				土砂等運搬	10 t	m3	3.4	3	
		鋼製ケーシング式土留工及び土工							
			鋼製ケーシング圧入掘削	圧入掘削積込み工	Φ2000mm	m	5.3	5.3	
				ケーシング溶接工	Φ2000mm	箇所	1.0	1	
				ケーシング引上げ工	Φ2000mm	箇所	1.0	1	
				ケーシング撤去工	Φ2000mm	箇所	1.0	1	撤去長：1.440m
				スクラップ		t	-0.9	-0.9	0.886
			底盤コンクリート	底盤コンクリート打設工		m3	3.1	3	
			底部調整コンクリート	底盤コンクリート打設工		m3	0.2	0.2	
			圧入掘削設備	機械設備撤去工	Φ2000mm	回	1.0	1	
			鋼製ケーシング存置	鋼製ケーシング存置	Φ2000mm	式	1.0	1	
			仮設ケーシング損料	仮設ケーシング損料	Φ2000mm	回	1.0	1	
			立坑排水	うわ水排水工		箇所	1.0	1	
			排水運搬処理	スライム処理工		箇所	1.0	1	
				汚泥吸排水車運転費		m3	1.2	1	1.2
				建設汚泥処理費		m3	1.2	1	
			円形覆工板						
				円形覆工板設置工	Φ2000mm	箇所	1.0	1	
				円形覆工板撤去工	Φ2000mm	箇所	1.0	1	
				円形覆工板撤去工		回	14.0	14	22.9-8.5=14.4
				円形覆工板賃料等	Φ2000mm	式	1.0	1	

数量総括表

小口径管推進工法 低耐荷力 泥土圧才一ガー工程 工区：5工区 補助

名称	種別	規格	単位	合計	備考
管路延長	VUφ200		m	30.000	
管渠延長	VUφ200		m	29.100	
推進延長	VUφ200		m	28.55	
管渠布設延長（立坑内）	VUφ200		m	0.55	
管材					
塩ビ推進管SUSR-VPφ200	標準管 L=1.0m		本	27	
〃	先頭管 L=1.0m		本	1	
〃	最終管 L=1.0m		本	1	
推進工			m	28.55	
滑材注入工			m	28.55	
掘削添加剤注入工			m	28.55	
推進設備工			箇所	1	
推進設備据替工			箇所	0	
先導機据付撤去工			箇所	1	
コンパ7類撤去工			m	28.55	
鏡切工			箇所	2	φ200, 1.2m/箇所
坑口工	標準用		箇所	2	
残土処分工			m ³	1.28	

小口径管推進管渠計算表

5工区 補助 推進工法用硬質塩化ビニール管 φ200 mm l= 1.00m 塩ビφ200mm小口径管推進工(オーガ方式-工程式) 数量計算書

路線 番号	立坑番号	路線延長	人孔減長 L1	管体延長	推進延長 L4=L-L2			管布設 延長 (立坑内) L5= L2-L1	塩ビ推進管SUSR-VP SUSカラー付直管(SUSR)			ゴム輪 受口 片受直管 (SRA) (SRA)L=4.00 (調整管)	接着受口 カラー (WTB) (VP用)	スクリー コンベア 撤去工	残土 処分工 V= Va×L4	注入工 L6=L4		
		L	立坑減長 L2	L3= L-L1	A土質 0<N<10 砂質土 粘性土	B土質 10≦N<20 砂質土 粘性土	C土質 N≦50以下 礫混り土	標準管 (VP) L=1.00m	先頭管 (VP) L=1.00m	最終管 (VP) L=1.00m	滑材 注入工					注水工	掘削 添加材 注入工	
		(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(本)	(本)	(本)	(本)					(m ³)	(m ³)	(m)
2260	既設マンホール到達 M-131~M-132	30.00	0.90 1.45	29.10	28.55			0.55	27	1	1			28.55	1.28	28.55		28.55
	合計	30.00		29.10	28.55			0.55	27	1	1			28.55	1.28	28.55		28.55

備考 1. ()書きは平均値である。

残土処分工

1m当たり $Va = \pi / 4 \times D1^2$ 先導管外径 D1 = 0.24

= 0.045m³/m

滑材注入工

V=0.015kL/m

R.5エンピライナー積算資料P.125

添加剤注入工

V=0.049kg/m

R.5エンピライナー積算資料P.117

仮設備工

φ 200mm

塩ビ管推進工法（オーガ方式－工程式）…

1.00 m管

5工区補助

立坑番号		M-131		M-132			M-133		M-134		M-161		M-163		M-165		合計	単位
		到達既設人孔		発進立坑			発進立坑		発進立坑		到達立坑		到達立坑		到達立坑			
		下流	上流	下流	上流①	上流②	下流	上流	下流	上流	下流	上流	下流	上流	下流	上流		
推進設備工	φ 200mm			1													1	箇所
※推進設備工の50% 推進設備据替工	φ 200mm																	箇所
先導管据付工	φ 200mm			1													1	箇所
先導管撤去工	φ 200mm																	箇所
先導管分割撤去工	φ 200mm		1														1	箇所
スクレーコンベア類 撤去工	φ 200mm			28.55													29	m
坑口工 発進側・到達側	φ 200mm			1													1	箇所
坑口工 既設マンホール到達工	φ 200mm		1														1	箇所
鏡切り工 (止水器設置)	φ 200mm ライナー t = 2.7mm																	箇所
鏡切り工 (止水器設置)	φ 200mm 鋼矢板Ⅱ型																	箇所
鏡切り工 (止水器設置)	φ 200mm 鋼矢板Ⅲ型																	箇所
鏡切り工 (止水器設置)	φ 200mm ケーシング t = 12mm		1	1													2	箇所
発進立坑基礎工 2400×4400	φ 200mm																	箇所
到達立坑基礎工 2400×2400	φ 200mm																	箇所

鏡切り工 1箇所当たり数量

φ 200mm

鋼矢板Ⅲ型

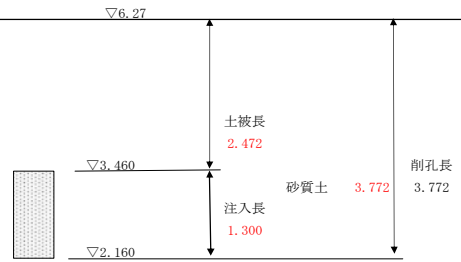
L =

m

M-131 到達既設マンホール 到達坑口部

施工条件 (Bor No. 2部インフラ)

深度	標高	層厚	土質	N値
-1.0				
-2.0			砂質土	
-3.0				
-4.0				
-5.0				
-6.0				
-7.0				
-8.0				
-9.0				
-10.0				



(1) 薬液注入量の算定(複相方式)

立坑	幅 W(m)	延長 L(m)	面積 A(m ²)	溶液型						
				土質	N値	注入率 %	高さ H(m)	対象土量 (m ³)	薬液量 V(kl)	
	1.30	1.00	1.30							
粘性土				0~4		28.00				
				4~8		24.00				
砂質土				0~30		40.50	1.300	1.690	0.684	
				30以上		31.50				
粘性土				0~50		40.00				
				50以上		28.00				
合計							1.300	1.690	0.684	

薬液注入本数 = 2 (本)
 1本当たりの薬液注入量 $Q_s = V \div P = 0.342$ (kl)

(2) 1本当たりの施工時間 (Ts)

機械準備時間 (T1) (分) 14

削孔時間 (T2) 18.9

削孔時間 = 作業時間 × 削孔長

土質	作業時間	削孔長(m)	削孔時間
レキ質土	8		0.0
砂質土	5	3.772	18.9
粘性土	4		0.0
合計		3.772	18.9

注入時間 (T3) (分) 21.4

注入時間 = $Q_s \div q_s$

1本当り注入量 Q_s	時間当り注入量 q_s	注入時間
342 (l)	16.00 (l/m)	21.4

引き抜き時間 (T4) (分) 4.9

引き抜き時間 = 単位時間 × 土被り長

単位作業時間	土被り長	引き抜き時間
2 (分)	2.472 (m)	4.9 (分)

$T_s = T1 + T2 + T3 + T4$ (分)

項目	時間(分)
T1	14.0
T2	18.9
T3	21.4
T4	4.9
Ts	59.2

(3) 1日 当り施工本数 1日1台当たり注入量

$0.342 \times 13.18 = 4.508$ (kl/日)

$N = (60 \times H) / T_s \times 2$

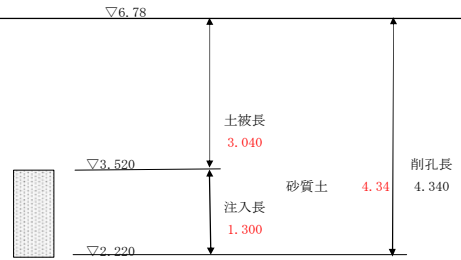
$= (60 \times 6.5) / 59 \times 2$

$= 13.18$ (本/日)

M-132 発進立坑 下流坑口部

施工条件 (R3既存Bor No. 8)

深度	標高	層厚	土質	N値
-1.0				
-2.0				
-3.0			砂質土	
-4.0				
-5.0				
-6.0				
-7.0				
-8.0				
-9.0				
-10.0				



(1) 薬液注入量の算定(複相方式)

立坑	幅		面積 A(m ²)	土質	N値	注入率 %	高さ H(m)	対象土量 (m ³)	薬液量 V(kl)
	W(m)	L(m)							
	1.30	2.00	2.60						
粘性土									
砂質土									
粘性土									
合計							1.300	3.380	1.369

薬液注入本数 = 4 (本)
 1本当たりの薬液注入量 $Q_s = V \div P = 0.342$ (kl)

(2) 1本当たりの施工時間 (Ts)

機械準備時間 (T1) (分) 14

削孔時間 (T2) 21.7

削孔時間 = 作業時間 × 削孔長

土質	作業時間	削孔長(m)	削孔時間
レキ質土	8		0.0
砂質土	5	4.340	21.7
粘性土	4		0.0
合計		4.340	21.7

注入時間 (T3) (分) 21.4

注入時間 = $Q_s \div q_s$

1本当り注入量 Q_s	時間当り注入量 q_s	注入時間
342 (l)	16.00 (l/m)	21.4

引き抜き時間 (T4) (分) 6.1

引き抜き時間 = 単位時間 × 土被り長

単位作業時間	土被り長	引き抜き時間
2 (分)	3.040 (m)	6.1 (分)

$T_s = T1 + T2 + T3 + T4$ (分)

項目	時間(分)
T1	14.0
T2	21.7
T3	21.4
T4	6.1
Ts	63.2

(3) 1日 当り施工本数 1日1台当たり注入量

$0.342 \times 12.34 = 4.22$ (kl/日)

$N = (60 \times H) / T_s \times 2$

$= (60 \times 6.5) / 63 \times 2$

$= 12.34$ (本/日)

M-132両発進達立坑

M-131(到達)← M-132(発進)

工期算定表

工種	種別	作業量		日当たり作業量		作業日数(日)			備考
						稼動日数	不稼働係数	工期	
薬液注入工	発進下流部 M-132	4	本	12.44	本	0.3	1.7	0.5	注入量で計算
	発進上流部 M-132	4	本	12.94	本	0.3	1.7	0.5	
	発進横 M-132	4	本	12.46	本	0.3	1.7	0.5	
	小計①							1.5	
舗装壊し	舗装切断工(As t=5cm)		m	230	m		1.7		
	舗装取壊工(As t=5cm)BH0.35		m ²	260	m ²		1.7		
	小計②								
M-132ケーシング立坑圧入φ2000									
	圧入工 φ2000 砂質土		日		日	1.1	1.7	1.9	サイクル計算
	底版コンクリート養生							5.0	
	小計③							6.9	
M-132 立坑設置 合計								8.4	小計 ①+②+③
塩ビ管推進工	準備工		日		日	4.0	1.7	6.8	
	先導体設置工		日		日	0.4	1.5	0.6	
	推進工 (M-132～M-131)	28.55	m	9.3	m	3.1	1.5	4.7	
	先導体撤去工					0.6	1.5	0.9	
	スクリュウコンベア類撤去工	28.55	m	40	m	0.7	1.5	1.1	
	小計 (M-132→ M-131)							14.0	
M-132 人孔設	1号組立 H=4m以内		箇所	3.7	箇所		1.7		日当たり作業量計算書
調整コンクリート	コンクリート打設(人力)		m ³	6	m ³		1.7		県歩掛P115
	コンクリート養生(別作業と平行)								
	小計①								
埋戻し	コンクリート		m ³	6	m ³		1.7		県歩掛P115
	コンクリート養生								
土工	機械埋戻		m ³	33	m ³		1.7		県歩掛P107
	小計②								
舗装復旧	路盤上層		m ²	1110	m ²		1.7		
	インターロッキング舗装		m ²	28	m ²		1.7		
	小計③								
M-132 人孔設置工 合計									小計 ①+②+③

※不稼働係数 一般土木作業雨天の影響を受ける作業は1.7 推進、シールドなど影響がない作業は1.5
 ※メイン工程とは別同時期作業なる工程は入れていない

路線名 5工区 補助

工 程 表

	項 目	作業 日数	加算 日数												
				5	10	15	20	25	30	35	40	45	50		
M-132 発進	M132ケーシング立坑設置（発進） （立坑・薬注・舗装壊し）	8.4	8.4	●-----● 8.4											
	低耐荷力推進工 M-131←M-132	14.0	22.4		●-----● 8.4				●-----● 22.4						
		0.0	22.4						●-----● 22.4	●-----● 22.4					
	水替日数		14.0		●-----● 22.4				●-----● 22.4						
	交通整理員	22.4	67.2		●-----● 22.4				●-----● 22.4						

※交通整理員は日当たり3人一組とする。

M-132円形覆工板賃料日数

22.4 ÷

30 =

0.74667 ≒

1 月

M-132円形覆工板開閉工

22.4 ÷

1.7 =

13.1765 ≒

14 回

単価・歩掛等算出根拠明細書(/)

代価表No. or 明細書No.	代価表or明細書名称	単 位	単 価	摘 要
	安全費	人		補助 単独 合計
				推進工 0 0 0
	(交通誘導員)			開削工 212.0 0 212.0
				推進工 低耐荷力 67.2 0 67.2
				推進工 鋼製さや管 127.5 0 127.5
				取付管 6.0 0 6.0
				舗装 25.0 0 25.0
				交通誘導員A 0
				交通誘導員B 438.0
				計 437.7 0 437.7 438.0

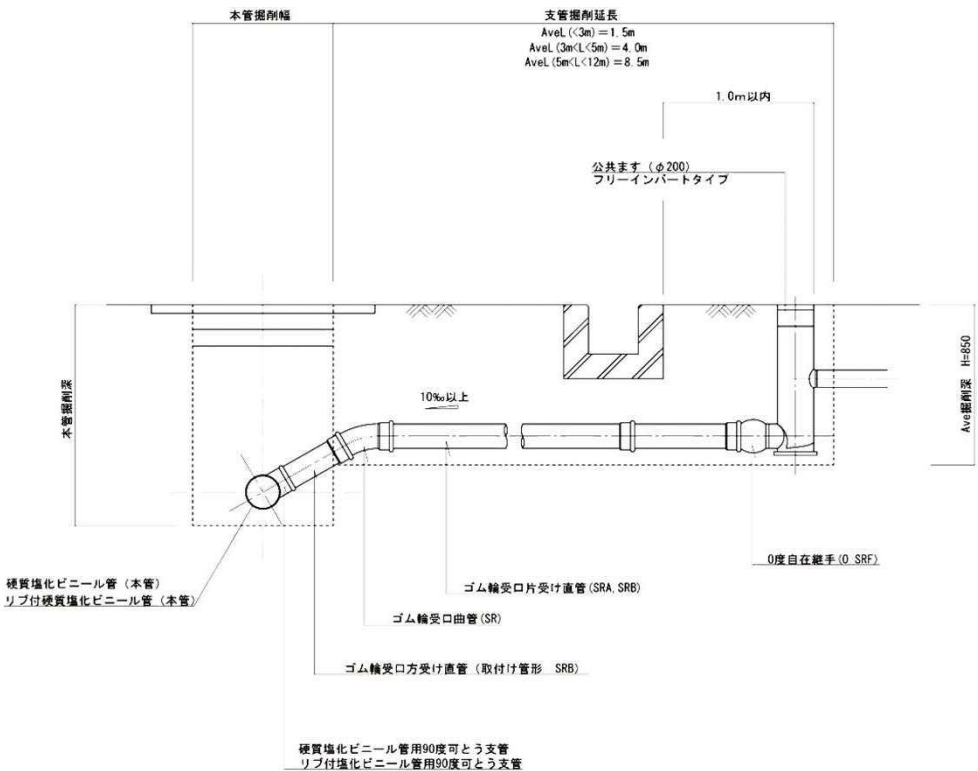
取付管・公共ます設置工1箇所当り標準施工日数

取付管延長		土工				管渠工		ます設置工		施工日数合計
		床堀		埋戻		管渠工		ます設置工		
		日当り施工量	施工日数	日当り施工量	施工日数	日当り施工量	施工日数	日当り施工量	施工日数	
		67m ³ /日		116m ³ /日		59m ³ /日		42個/日		
延長区分 取付管	3m未満	1.00	0.01	1.10	0.01	1.50	0.03	1.00	0.02	0.08 日/箇所
	3m以上5m未満	2.68	0.04	2.92	0.03	4.00	0.07	1.00	0.02	0.16 日/箇所
	5m以上12m未満	5.70	0.09	6.21	0.05	8.50	0.14	1.00	0.02	0.31 日/箇所

取付管・ます設置工施工日数

施工日数算出		箇所当り 施工日数	休業補正	箇所当り 実施工日数	補助分		単独分		小計	施工日数 合計
					箇所数	施工日数	箇所数	施工日数		
延長区分 取付管	3m未満	0.08 日/箇所	1.7	0.14日	13	2日	0	0日	2日	3日
	3m以上5m未満	0.16 日/箇所	1.7	0.27日	3	1日	0	0日	1日	
	5m以上12m未満	0.31 日/箇所	1.7	0.53日	0	0日	0	0日	0日	

補助合計 16箇所 単独合計 0箇所 取付管箇所 16箇所

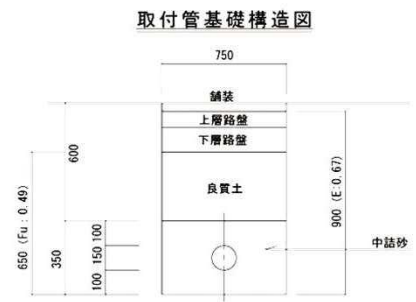


数量算出

	L<3m (Ave1.5m)	3m<L<5m (Ave4.0m)	5m<L<12m (Ave8.5m)
土工			
床堀	1.00	2.68	5.70
埋戻	1.10	2.92	6.21
置換砂	0.36	0.96	2.04
良質土	0.74	1.96	4.17
管渠工			
管渠工(取付管)	1.50	4.00	8.50
ます設置工			
ます設置工(公共側)	1.0	1.0	1.0

ガードマン(人/日当り)	2
ガードマン合計	6人
	0人
	6人

補助
単独
合計



取付管基礎構造図

見積等積算参考資料

コード	名称・規格1・規格2	単位	単価
F000000081	坑口止水版 鋼製さや管工法用	個	138,000
F000000300	自在曲管 φ200 5° 5/8	本	20,600
F000000400	埋設標識シート 150×50	m	94
F000000500	転落防止はしご φ600用	個	22,200
F000000600	塩ビマンホール蓋 T-14	組	44,000
F000000700	内副管用 マンホール継手 1号UFMA φ200×φ150	個	30,200
F000000701	内副官用 マンホール継手 1号UFMA φ150×φ100	個	24,500
F000000800	内副管用固定バンド φ150用	個	3,080
F000000801	内副管用固定バンド φ100用	組	2,800
F0000003700	硬質ポリ塩化ビニル管用 滑剤	L	9
F0000003700	滑剤 スムーズエース	L	9
F0000003800	誘導管推進工 推進機等損料 (固定部) 円形Φ2.0立坑用 出力22.2kW	日	65,500
F0000003800	本管テレビカメラ搭載車 直視側視式小中口径管	時間	15,112
F0000003900	カラーマンホール塗装 φ600	組	129,600
F0000003900	誘導管推進工 推進器具損料 (変動部) 呼び径200	式	4,250
F0000004000	誘導管推進工 推進器具損料 呼び径200	m	181
F0000004100	推進工法用硬質塩ビ管 SUSR VP φ200 L=1.00m 先頭管, 標準管	本	15,800
F0000004200	推進工法用硬質塩ビ管 SUSR VP φ200 L=1.00m 最終管	本	9,440

見積等積算参考資料

コード	名称・規格1・規格2	単位	単価
F000004300	泥水調整剤 ホリダスミニ	kg	4,980
F000004400	機械損料 汚泥吸排車 3.1~3.5t	時間	3,650
F000004600	止水器 標準タイプ 呼び径200用	組	34,500
F000004700	電力料金	kWh	41.04
F000004800	土質安定注入薬剤 溶液型無機瞬結タイプ	L	58
F000004900	円形覆工板 φ2000 T-25 供用賃料 (0ヶ月~1ヶ月)	月	46,700
F000005000	円形覆工板 φ2000 T-25 修理費及び損耗費	枚	13,800
F000005100	圧入機損料(揺動式) φ1500~2000	時間	19,400
F000005200	刃先製作取付費 呼び径2000	個	57,600
F000005300	鋼製ケーシング存置 呼び径2000	m	288,000
F000005400	仮設ケーシング損料	回	36,900
F000005600	推進工 推進機等損料 呼び径400mm鋼管 TRW-400A	供用日	93,700
F000005700	推進反力装置 490kN×2本	供用日	9,190
F000005800	油圧駆動機器 TRO-7.5	供用日	41,900
F000005900	泥水処理プラント 1+2m3	供用日	9,750
F000006100	配管材損料 50 (2B)	m	232
F000006300	立坑バイパス装置損料 50 (2B)	供用日	1,390
F000006500	フレキシブルホース損料 50 (2B)	供用日	555

見積等積算参考資料

コード	名称・規格1・規格2	単位	単価
F000006600	推進用鋼管 JISG3444 Φ400	m	24,100
F000006700	電力料 掘進機 TRW-400A	式	70,211
F000006800	電力料 油圧駆動機 TR-7.5	式	27,356
F000006900	電力料 滑剤注入プラント TSM-300	式	8,487
F000007000	電力料 送泥ポンプ	式	22,819
F000007100	電力料 排泥ポンプ	式	22,819
F000007200	電力料 泥水処理プラント	式	30,805
F000007300	トリコンビット 呼び径400	m	21,500
F000007400	滑材注入プラント TSM-300	供用日	4,940
F000007900	建設汚泥処理費	m ³	20,000
F000008100	水中コンクリート 30-18-20N	m ³	27,200
F000008100	円形覆工板 φ2000 T-25 供用賃料 (6ヶ月～12ヶ月)	枚	25,400
F000008300	円形覆工板 φ1500 T-25 供用賃料 (6ヶ月～12ヶ月)	枚	16,050
F000008400	円形覆工板 φ1500 φ1500 T-25 修理費及び損耗費	枚	8,700
F000008500	借地料 47,900 (円/m ²) × 0.06 × 8/12 × 200 (m ²)	式	383,200